

| | | |
|---|--------------|----|
| 会長のページ 続・医師確保について | 河野 雅行 | 3 |
| 日州医談 介護医療院について | 立元 祐保 | 4 |
| はまゆう随筆 (その1) | | 6 |
| 田畑 直人, 谷口 二郎, 北村 恵子, 北村 和生, 森藤 秀美 丸山洋一郎, 大西 雄二, 石川 誠一, 細見 潤, 坂田 師隣 | | |
| エコー・リレー (527) | 押川 初音, 分田 裕順 | 15 |
| 国公立病院だより (高千穂町国民健康保険病院) | 久米 修一 | 22 |
| メディアの目 「地産地消」で県外から人を呼び込め | 鈴木 豊之 | 25 |
| 宮崎大学医学部だより (機能制御学講座 応用生理学分野) | 丸山 眞杉 | 26 |
| 専門分科医会だより (透析医会) | 藤元 昭一 | 27 |
| 宮崎県社会保険診療報酬支払基金審査委員名簿 (医科) | | 47 |
| 私の本 イラストで学ぶ病気の基礎 | | |
| ～医療従事者や患者さんが病気を理解するために～ | 大塚 伸昭 | 81 |
| 診療メモ 女性アスリートに対する産婦人科的支援について | 明野 慶子 | 82 |
| 宮大医学部学生のページ 音楽祭実行委員長よりご報告 | 北條 琳子 | 84 |
| 叙勲・祝賀 | | 16 |
| 表彰・祝賀 | | 16 |
| あなたできますか? (平成30年度医師国家試験問題より) | | 17 |
| 宮崎県感染症発生動向 | | 18 |
| 各都市医師会だより | | 20 |
| 九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会 | | |
| 第3回九州ブロック災害医療研修会 | | 28 |
| 九州各県医師会診療報酬担当理事連絡協議会 | | 32 |
| 九州医師会連合会第376回常任委員会 | | 37 |
| 令和元年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会 | | 39 |
| 宮崎県医師会医学会役員会 | | 41 |
| 日医インターネットニュースから | | 42 |
| 医師協同組合だより | | 44 |
| 医師国保組合だより | | 46 |
| 理事会日誌 | | 48 |
| ベストセラー | | 53 |
| 県医の動き | | 54 |
| 追悼のことば | | 56 |
| 会員の異動・変更報告 | | 58 |
| ドクターバンク情報 | | 61 |
| 行事予定 | | 67 |
| 医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会 | | 69 |
| あとがき | | 88 |
| <hr/> | | |
| お知らせ | | |
| 令和元年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い | | 14 |
| 第20回宮崎県医師会医家芸術展 | | 24 |
| 第3回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集 | | 31 |
| クールビズについて | | 36 |
| 女性医師の皆様へ (マタニティ白衣) | | 38 |
| 宮崎県医療勤務環境改善支援センター | | 55 |
| 医師資格証を持ちましょう | | 60 |
| 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています | | 65 |
| 医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください! | | 80 |
| 郡市医師会への送付文書 | | 86 |

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：油絵〕

シュタイン城

数年前に娘とドイツ一周旅行に行った時、心に残ったノイシュバンシュタイン城です。

城にまつわる悲しい物語に鎮魂の心を込めて百合の花を添えてみました。昨年、92歳の時にその旅行を思い出しながら描きました。

都城市 谷口 浩子
たに ぐち ひろ こ

会長のページ

続・医師確保について

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

このテーマは我が県にとりましては重要課題の一つですので何回でも取り上げます。毎年秋から春にかけて、研修医数が発表されます。試験結果を待つようで緊張しながら見ています。本年度、宮崎県の研修医数は医師国家試験前のマッチング時には過去最高の67名でしたが、残念ながら医師国家試験後には57名となってしまいました。ちなみに昨年は59名でした。一方、昨年開始された専門医制度で本県専攻医は37名と全国最下位でした。本年は52名と大幅に増加し嬉しい数字となりました。関係各位のご努力の結果と思います。研修を受けた地

域での専攻医としての残留率は高いデータがありますので、研修医の方々は多分、専攻医として残り、専攻医研修が終わった後にも第一線医師として県内に残っていただけるものとの期待が持てます。厚労省の発表によれば、宮崎県の医師偏在指標は全国32位で下位16県に含まれます。あらためて我が県の医療資源の少なさに愕然とします。従いまして将来、宮崎県の医師を増やすには、まず研修医の確保が不可欠です。もちろん、他県で研修・専攻医過程が終わった医師の招聘も欠かせません。以前から県行政、大学、医師会並びに関係諸機関が連携して「オール宮崎」の取組みで、有効と考えられる様々な対策を実施していますので、今後は増加してくるものと期待します。

宮崎県の人口は私が小学生の頃には110万人と習った記憶があります。それが次第に増加して平成8年117万人とピークを迎え、その後減少して平成28年には108万人になりました。実に10万人都市が一つ消滅したことになります。将来は100万人以下になるとも予想されており県では何とか人口を維持したいと取り組んでいます。人口減少の最大要因として出生率の低さが挙げられますが、宮崎県は1.73であり、全国的には決して低い数字ではありません。生まれて成長し、社会に出る頃の若者が大挙して都会へと流れてしまうのが問題です。しかし、人口減少を悲観的のみに捉えるのではなく、視点を変えれば、国土の広さからみて一人当たりの所有面積が広く取れてゆとりが出ますし、一人ひとりを大切に行政サービスが濃厚にできることにもなります。明治維新前の人口は3～4千万人とも言われています。養える人口は国土面積から考えてこの程度かもしれません。地域によって極端な人口集中や過疎になることが問題であると思われま

す。いずれにしても地域社会には地域医療がなくはなりません。人口の多寡に関わらず豊かな社会を築くためにも一定の医師数を確保する更なる工夫を要します。研修医、専攻医を招聘するのは重要なことですが、彼らが一人前になった際に県内で収容できる職場が充分にあるでしょうか？いつまでも新人と同じ待遇では皆逃げ出してしまうでしょう。今後は将来に渡って働ける場所、研修後の受け皿確保も全員で取り組む必要があります。

(令和元年6月12日)

日州医談



介護医療院について

理事 立 元 祐 保

【はじめに】

現在、宮崎県には介護療養病床29施設（816床）医療療養病床81施設（3,188床）がある。このうち介護療養病床は2023年度末で廃止されることが決まっており医療療養病床の今後も不透明である。療養病床が廃止されると、そこに入院していた患者さんの行く先はどうか、介護難民が出るのではないかと…と言う懸念がある。以前は社会的入院と言われていたが、そのような方々を在宅に戻すために様々な方策がとられた。結果、病医院の病床数は大幅に減少し代わりに有料老人ホームが雨後の筍のように増えた。しかし、質の高い介護をしている施設ばかりではなく、介護と言うには程遠い施設も多数ある。医療的にも介護的にも一定のレベルにある介護施設でなければならない。

介護療養病床の患者さんは医療ニーズが高い方も多くいる。そんな方の受け皿として平成30年4月より介護医療院の制度がスタートした。当面は、介護療養病床、医療療養病床、転換型老健(※)から介護医療院への転換が認められる。

また転換推進策として、介護療養病床または医療療養病床から介護医療院に転換する場合には、療養室の床面積や廊下幅などについて施設基準の緩和がある。令和3年3月末までは介護報酬上の優遇措置（移行定着支援加算1日93単位、一年間）も受けられる。

平成30年12月末時点で、介護医療院は全国で113施設（7,414床）が開設している。九州沖縄では23施設（1,401床）であるが宮崎県はゼロである。有床診療所からの転換は全国で7施

設（98床）であった。

今後の転換意向について、本県では4施設が転換の意向を示しているがいずれも中規模以上の施設であり、有床診療所など小規模施設での意向は不明である。

【アンケート調査】

小規模施設の転換意向確認のため、本会では宮崎県有床診療所協議会会員施設（114施設）に対し介護医療院に関する意識についての調査を行ったので報告する。

72施設から回答があり回収率は63%であった。開設者の年齢は60歳代29名、70歳代21名、80歳代7名であった。一方60歳未満は15名であり開設者の高齢化が目立つ。主な診療科は内科35%、整形外科22%、産婦人科14%、外科と眼科は各10%であった。72施設のうち、すでに無床化している施設を除くと有床診療所は58施設であった。

有床診療所のうち介護療養病床を有するものは5施設、医療療養病床を有するものは6施設であった。このうち3施設は介護、医療の両療養病床を有している。

全58施設に転換の意向を聞いたところ、転換の意向ありが2施設、なしが44施設、未定が12施設であった。未定の理由についてはほとんどが「介護医療院の詳細が分からないから」と答えている。

転換の意向なしと答えた44施設に2024年度以降現在の病床をどうするか尋ねたところ、「療養病床はないのでこれまで通りやっていく」が34施設（79.1%）、「これを機会に無床化

する」が4施設(9.3%)であった。

転換を決めかねている理由としては、当直職員確保の問題、メリットが分からない、開設者の高齢化、補助金を受けると一定期間やめられないのではないか、財源が将来的に保証されるのか先行きが不透明、改築なしで可能か、医師は介護にまで手が回らない、などが挙げられた。

以上より、本県においては特に小規模の施設において介護医療院の内容がよく分からず方向性が決められないで見えてくる。

【県との意見交換会】

県医師会は毎年秋に県福祉部局と意見交換会を行っている。昨年は11月13日に行われたがこの中で介護医療院の問題も話し合われた。その中では、現在の療養病床の数、すでに転換済みの施設があるか？各施設に意向調査を行っているか？などの質問を行い前述の回答を得た。本会からは、希望施設は早期に移行完了できるよう説明会を開催するなど周知徹底を図ってもらいたいこと、また医療療養病床から介護医療院に転換すると医療保険から介護保険に移るた

め財源の問題も出てくる、そのため小規模の保険者が転換を渋る懸念がある、財源の確保もしっかりとお願いしたい旨を要望した。

【終わりに】

介護医療院に関しては、不明な点が多くどう動いて良いか迷っている施設も多い。このような状況を受け、本会は宮崎県、宮崎市と協力し介護医療院に関する説明会を行うことになった。対象は介護医療院へ関心のあるすべての医療機関、期日は8月23日、内容は2部構成とし、第1部を施設事務局向けに行政から、第2部は開設者及び事務局向けに日医の介護保険担当の江澤和彦常任理事(日本介護医療院協会副会長)の講演を予定しているのでふるってご参加いただきたい。

(※)転換型老健(=介護療養型老人保健施設)；介護療養病床廃止の受け皿として平成20年に始まり、介護及び医療療養病床からの転換のみを認める。全国に103施設(平成23年)がある、宮崎県にはない。

第1回地域医療構想に関する研修会

～療養病床の転換の選択肢としての介護医療院について～

日時 令和元年8月23日(金) 17:30～

会場 県医師会館(テレビ会議で放映予定)

次 第

第一部(17:30～19:00)

「地域医療構想について」 県医療薬務課(30分)

「介護医療院の施設基準、移行支援策等について」 県長寿介護課、市介護保険課(60分)

第二部(19:00～20:30)

「介護医療院について(仮)」 江澤和彦日医常任理事

参加申込につきましては、別途開催案内をFAXで各医療機関あてに送付しますので、開催案内の申込書をご利用ください。

はまゆう随筆 その1

(7,8月号に分けて掲載いたします)

院長が何を考えているか わかりませんⅢ

宮崎市 宮崎医療センター 病院
たばなとおと 田畑直人

ということで院内ネットワーク「あおぞら」
に書いてきた日々雑感より2話ほど。

①『幸福の鍵は…』

「接待の機会が増えそうなのでいい店を教え
て欲しい」と知人から連絡があり、一緒に繁華
街へ出かけました。私たちは、職場がニシタチ
に近いので夜の世界に詳しいはずだと世間様か
ら思われているようです。

まず、母娘二人で切り盛りしている家庭料理
の店を紹介しました。こじんまりとした雰囲気
とじゃこサラダとかわいい娘さんを気に入り、
嬉々として杜氏潤平をキープしていたので最良
にするだろうと思います。

近々に接待する客はワイン好きだというの
で、二軒目はワインバーに案内しました。「こ
の爽やかさはチリ?」「いえいえカリフォルニ
アです」などとソムリエと会話をはずませてい
たのでここも合格だったと思います。カクテル
も一か所押えておきたいとのたまうので、世の
中がグルグルと回り始めていましたが、対面の
ショットバーに入りました。物静かなバーテン
ダーとはうまが合ったようで、ギムレットを美
味しそうに飲んでいました。ここまできたら締
めに使う店も教えておこうと斜向かいにある居
酒屋に連れて行き、裏メニューのオムライス

半分ずつ食べました。記憶があれば再訪するは
ずです。

別れ際、「半径15m圏内の店店のはしごで済
ますとはさすがだ」と感心されました。見上げ
ればネオンの上には朧月がかかり、たくさんの
喜怒哀楽と記憶をこの狭い路地に置き忘れなが
ら生きてきたんだなとしみじみと想う春の夜半
でした。

“幸福の鍵は、健康と健忘ね”

イングリッド・バーグマン

②『男は顔じゃないぞ…』

刑事ドラマの西島秀俊を観て、日本人にも無
精ひげが似合う男がいるんだなと感心しまし
た。先輩を真似て髭にトライし、コソ泥状態にな
って断念したのは若かりし日のトラウマです。

英語に「ファイブ・オクロック・シャドー」
という言葉があるそうで、訳すと「5時の鬚
り」です。朝に剃ったヒゲが伸びて夕方になる
と顔にうっすら影を作る。その、かすかな鬚り
のことだそうです。これが粹で渋いか、ただの
無精に見られるかはその人次第でしょうが、自
分のfive o'clock shadowを鏡で見ながら、今日
も精一杯頑張ったなと思えるような一日を過ご
していきたいものです。

“男は顔じゃないぞ！中身だぞ!!”

ドラえもん

10連休の過ごし方

宮崎市 たにぐちレディース たにぐち じ ろう
クリニック クリニック 谷 口 二 郎

5月1日から元号が令和になり、それをお祝いして10連休となることになった。働いている人の半分近くの人が10連休とのことだが、それどころではない人も多かったに違いない。

産婦人科医は365日24時間仕事をしているような状態なので、開業して34年になるが、連休に旅行に行ったことはない。だから連休とは無縁だ。今回も10日の内5月1日は通常通りの仕事をし、5月6日は当番医だった。

しかし私も生身の人間、近場に出掛けることにした。連休前半は天気も悪くどこにも出掛けなかった。後半は好天気が続く、日帰りで出掛けることにした。

まず1日目。朝6時に車で出発。大好きな日南海岸を一人でドライブ。この時間帯だとまだ車も少ない。南郷まで気持ち良く走れた。しかし帰りの反対車線はもの凄く混んでいて、まるで高速道路の渋滞を見ているようだった。

2日目は家族で新富に茶摘みに行くことにした。新茶摘みのイベントをやっているという。行ってみると凄い人。茶畑の中に入り、新茶を摘み取ることができるのである。初体験なので要領が分からなかったが、そのうちに上手く摘めるようになった。お茶畑は見たことはあるが、こんな風にお茶ってできるのだなと勉強になった。

3日目は家族で木城町にある川原自然公園遊泳プールでニジマス釣りをすることになった。プールに1,500匹のニジマスが放流され、それを釣るのである。大勢の家族連れで賑わっていた。ウグイスの鳴き声を聞きながら、優雅な時間を過ごした。16匹釣れた。家に帰り早速塩焼きにして食べた。とても美味しかった。

4日目は娘婿がバイクでドライブしようと誘

ってくれた。彼はバイクマニアで、ピカピカに磨かれた400ccバイクにまたがり、娘を後ろに乗せ私と一緒に日南海岸ドライブを楽しんだ。

5日目は久しぶりに私の子ども4人とその家族が集まり、自宅でBBQをした。ワイワイと騒ぎながら食べるBBQは最高だった。

このようにして、10連休を自分なりに楽しんだ。気が付けば10連休も終わってしまっていた。久しぶりにリラックスして休みを楽しんだ。またこういう機会があれば良いなと思う10日間だった。



令和元年GW・ショートトリップ —Rosso編

日南市 北村胃腸科眼科 きた むら けい こ
北 村 恵 子

新天皇のご即位を寿ぎ、家族揃って旅行に行くことになりました。仕事に就いている子どももおり、2泊3日の小旅行です。5月3日博多どんたくが始まる福岡から新幹線で神戸に向かいました。お天気も良く元町中華街を散策し、小籠包や角煮鰻など買い、港近くの公園で食べました。ふと近くに置いたカバンを見ると、ぎょえー!赤いダニを数匹発見、ゾゴゾゴしましたが潰して、神戸港のメリケンパークオリエンタルホテルに向かいました。以前からポートピアの対岸に見える、ネオンの綺麗な観覧車のそばのヨットの形をしたこのホテルに泊ってみたかったのですが、念願が叶いました。せっかく神戸に来たのだからと六甲山にケーブルカーで登山。山上から大阪湾を一望し、震災から復興成った100万ドルの夜景を楽しみました。六甲ガーデンで食べた美味しいチーズフォンデュは、量が物足りなかったと思います。でも子ども達もまだ欲しいとわがまま言わない大人に成長したんだなとちょっぴり感心しました。神戸の復興と開院25周年を祝しRosso vinoで乾杯です。



翌日、ホテルの朝食をお腹に詰め込み、元祖バウムクーヘンの本家「ユーハイム元町店」へ。創始者ユーハイムは、第一次世界大戦後、日本に連れて来られた捕虜だったことを知りました。お土産を買い、一路、倉敷へ向かいました。娘がケータイのナビを駆使してほとんど待ち時間のない快適な移動を可能にしてくれました。我ら年寄は、遅れないよう呑気について行くだけです。倉敷では、吉備団子やアイスを食べ歩きしながら歴史地区を散策しました。紡績業が盛んな城下町の中に『in blue』という紳士服工房があり、織の柄や色合いの深み、モダンなボタンホールのステッチがとても気に入り、息子の成人式用に仕立ててもらうことにしました。

一方、待ちぼうけの娘たちは、城下町をブラリ、皿回しにチャレンジしたり、休みを取って迷惑をかけた仲間たちに吉備団子を土産に買ったりして帰りました。夫はといえば、工房のテラスで寸暇を惜しんで読書に没頭しておりました。Blu編に続く。



令和元年GW・ショートトリップ —Blu編

日南市 北村胃腸科眼科 きた むら まさ お
北 村 和 生

プチ旅行2日目。神戸から新幹線で倉敷へ、さらに特急、普通列車を乗り継ぎ、おく 邑久という油津駅並みにひなびた駅舎に降り立った。列車での旅は本当に久しぶりで、車中では末娘の提案したケータイを使ったゲームで年甲斐もなく一同大いに盛り上がった。また、持参した垣根涼介「室町無頼」、葉室麟「はだれ雪」を読了した。駅前には我々一家のために、“Hotel Limani”が用立てたりムジンバスが待っていた。それにしても全国一斉10連休という馬鹿げた企ては如何なものかと憤りも感じていたのだが、次女の立てた旅行プランを採用して正解だった。飛行機なしの最大2泊3日、旅行場所の決定は連休直前という難条件にもかかわらず、旅行コンサル顔負けの立案能力と、前日まで参加を留保していた長女の座席、宿泊を携帯一本で確保してしまう手際の良さには驚いた。

さて、邑久駅から一山超えると…Oh! Aegean blue! 心は“翔んでエーゲ海”。海育ちで日南海岸を見慣れている我々でも海が見えると血が騒ぐ。なるほど日本の地中海、日本のギリシャと呼ばれるうしまと牛窓か。地名が半端なく個性的だ。地図上、目の前にある小豆島は、私的にはオチンチンがついた立派な牡牛で、勝手に“牛島”と呼んでいる。その牡牛を見る窓に位置しているからだろうと愚考したが、ケータイでググった娘が「そんな説はどこにも載ってない。その昔、神功皇后が牛の怪物を投げ飛ばし、怪物が転がってうしまろび牛転、それが訛って牛窓になったとさ。でもパパの説の方が面白い!」とお褒めにあずかった。クレタ文明ではミノタウロスという牛の怪物が“ラビリントス”に幽閉されていた。神話の類似性が面白い。



この旅の白眉は、海に張り出したテラスでのディナーの時間だ。エーゲ海に沈む夕日を背景に、ギリシャ料理とワインを存分に味わいながら、家族団らん至福の時を楽しんだ。かつてのイタリア旅行ではお子様だった長男も寡黙ながら随分とたくましくなり、東京で頑張っている末娘は相変わらずのハイテンション、今回すべてを取り仕切った次女は親以上のしっかり者だ。研修医を終了し入局したての長女には良い息抜きになったようだ。翌日は抹茶ビールやジェラートを飲み食いしつつ後樂園を散策し、今回の旅行を明日からのエネルギーにしていこうと誓い合って解散した。



遠くトライアルを思いやる

えびの市 えびの市立病院 もり ふじ ひで み
森 藤 秀 美

投稿の理由は、この写真を自慢したかったからです。

令和元年5月12日、矢岳高原。えびの市がやっと開催にこぎつけた全日本トライアル選手権シリーズ第二戦での写真である。

私は唯タダ、西諸医師会とえびの市のためにと、大会ドクターとして参加した。直前に病院の職員に「先生、トライアスロンに出るんですか？」と三度も声をかけられた。

説明しよう。トライアルは、バイクで岩や崖を登ったり降りたり「トライ」する競技である。どれだけ足をつかずに走破できるかを競う。スピード競技でない分、安全である。三十才を過ぎた頃、体を動かす趣味を持つと決めたと。長続きする条件は、①怪我が少ない、②少しづつ上達する、③歳をとってもできる。

70過ぎてでトライアルに熱中する人を見て、「あと40年できる！」と、家内を拝み倒してトライアルバイクを買った。ローカルな大会に出たりもしたが、早々と「勝負より上達を楽しもう」とヘタを開き直った。写真の山本昌也氏はその頃の革命的な天才ライダーだ。私は氏の本やビデオを繰り返し勉強した。今回、大会役員をしておられたので根回ししていたところ、快くツーショットを撮らせていただいた。当時のスーパースターも、今年還暦。ずっとトライアルに献身しておられたわけだ。

一方、私はといえば鹿児島市内からえびのに転居し、昔出場した大会のセクション（競技場所）を巡りながら、周辺の山中を一人で走っていた。が、ついに孤独に負け、十年前にトライアルバイクを手放して、二人乗りでトライアル寄りのトレール車を買って「セロスケ」と名付けた。家内に後部座席に乗ってもらうためだが、

「おしりが痛い」と林道を走らせてくれない。霧島山中でパンクして、3時間かけて歩いて帰宅した時は、点検不十分を家まで叱られ続けた。それでも機嫌のいい時は、ツーリングに付き合ってくれていた。決定的に乗れなくなったのは、今年になって父親の足が立たなくなってきたからである。朝晩のオムツ交換と入浴は私の役目だ。両親とも認知症のため目が離せない。バッテリーを外されたセロスケは車庫で寂しげだ。次に乗れるのは、両親が施設に入れた時だろうか。いつか山道で黄色いカバンをくくりつけたセロスケを見かけたら手を振ってあげてください。



山本昌也氏と親しく談笑する筆者

平成を振り返って

延岡市 丸山クリニック まる やま よういちろう
丸 山 洋一郎

今年5月1日に元号が平成から令和となった。そこで自分自身の平成を振り返ってみた。延岡市に今のクリニックを開院したのが、平成元年4月1日であるから丸30年が過ぎたことになる。父親が銀行員で医師の子息がほぼいない防衛医大卒であったため、開業医というもの

を知らずに随分と苦勞し、悩み悲しみ、怒りを覚えた記憶がある。今となっては懐かしい思い出である。

開業して4年目に長女、その翌年に長男が誕生した。私は小学校を4校、中学校を3校転校した経験から、自分に子どもができれば同じ学校で入学及び卒業させようと決めていた。そのため、二人が小学校卒業後は宮崎市の中高一貫校に進学させた。代わりに私は土日以外は延岡市での単身赴任となった。お陰様でその甲斐あって、長女は昨年東京の薬学部を卒業し薬剤師に、長男は今年宮大医学部を卒業し宮大の研修医になった。私は一切進路について話をしていなかったの、よく言う親の背中を見てそうだったのか、学校の指導なのか判らないが、安心したのは事実である。

延岡での生活が人生の半分近くになり、単身赴任生活が14年目になると、私は宮崎県人であるというより延岡人である。延岡市及びその近郊に港が3つあり魚が美味しい。城山の鐘が時間を教えてくれる。列車でも車でも市外から帰って来て旭化成の赤と白の煙突が見えるとほっとする。30年前に先輩の先生方から郷に入れば郷に従えと言われたが、今や郷に入って郷に染まってしまった自分である。

「闘病記」を書く

宮崎市 大西医院 おおにしゆうじ
大西雄二

発病初期の状況を記録に書き留めようとしても、脳血栓症のため高次脳機能障害や失語症ゆえに病初期には書き留めることはできない。事実の経過や自分の感情や意思を正確に記述し、

それを社会に訴え伝えることができる人は限られている。この本で、脳卒中障害者の苦しみと叫びを代弁してみたい。

入院中から脳卒中の本を読み、また闘病記も読んだ。そして退院後私は闘病記を書こうと思った。書けるものなら書いてやろう。私の苦闘篇を書こう。そのことが私を勇気づけた。

この病気としっかり向きあい、どのような関係をとり続けるべきかを客観的に見ておきたかった。なぜ塞栓症にかかったのか。どのような経過をたどり、また後遺症はどこまで続くのか。なぜ左脳の変化で言語障害が残ったのか。どこまで回復するのか。死んだ細胞は死滅したままなのか、再生するのか。脳血流のバイパスが創られるのか。年齢や身体からくる遅滞性、意欲、リハビリの回復などがどんなふうに関係しているのか。

理学療法士と言語聴覚士と作業療法士のリハビリが始まった。再出発だ。人によって症状は千差万別。動作についてはもと通り戻ったが、言語表現についてはちょっとした言葉を忘れた。健康な時は健常者の思い上がりで生きてきたように感じる。

入院、通院には色々あった。私が経験してきていないことだらけである。私の治療や回復具合を確かめたいから過去に同じ病気を患った人の手記を読んだ。

自分なりの使命感でこれを書いた。私と同じように病気をし、後遺症が体に残った方を励ましたいという一心にある。なかには肉体的な辛さだけでなく、周囲の無理解で精神的にも辛い思いをしている方々にエールを送りたいからである。脳卒中はもう嫌であるが、人の幅を広げる病気といってよい。あらためて多くの人たちのご助力をいただいた。

自分の思いを文章に書ける有難さ、それが今の精一杯の想いである。1年6か月が過ぎてなんとか体裁が整いつつある。

近 詠（自句自解）

宮崎市 石川外科胃腸科医院 石川 誠一

縞馬の影に縞なし春の昼

縞馬ははつきりした黒い縞模様をしています。春の明るい日差しの中で縞馬の影を見ると、縞馬の影には黒い縞模様が見えません。どうしてだろうかと思っただけです。

道問えば遠きはくれん指さしぬ

白木蓮を「はくれん」とも言います。かなりの距離があっても「はくれん」は分かれます。

遠い距離から「はくれん」と分かると嬉しいものです。

佐保姫がやって来たのです。

春愁の手をもてあます手長猿

自然の手長猿は樹頭で生活し、高い樹から樹に跳んで渡っているようです。そのために前肢が長いのでしょう。

動物園では長い前肢をもてあましているようです。

手長猿の空を飛ぶ姿を見たいものです。

切株に東西南北ほととぎす

宮崎では五月中旬ほととぎすの初音を聞きます。毎年ほととぎすの初音を楽しみに待っています。

切株はほととぎすと仲好しで、その年輪はほととぎすに色々の情報を教えてくれるのでしょう。

白菜を割れば整然たる未来

白菜を一刀両断した瞬間、誰でもはっとするでしょう。

断面はまだ生きています。よく見ると白菜の未来の遺伝情報が整然と充滿しています。

死を逃れ老爺涼しく笑ひけり

九十二、三歳の近所のお爺さんが肺炎にかかり、ようやく回復の兆しが見えた朝、「また助けてもらいましたナー」と言って微笑みました。

あの涼しい笑顔が忘れられません。

精神科診療所が全国学会を開催 するとどうなるのか～地域回想法 サミットin宮崎を開催して～

宮崎市 医療法人ハートピア ほそ み じゅん
細見クリニック 細 見 潤

当院では認知症デイケアを併設しており、開院以来回想法を意識したプログラムを実施しています。回想法とはおおざっぱに言えば昔懐かしい話題で話を盛り上げ、脳の活性化と情緒的安定を図ろうとするもので、その有効性を日々実感しているところです。

この回想法を地域に広げるために2014年10月12日と13日の両日、当院として初めての全国学会「地域回想法サミットin宮崎」をシーガイアコンベンションセンターにて開催しました。初日は回想法を初めて日本に紹介した日本福祉大学の野村豊子教授による基調講演、回想法普及のために全国各地でワークショップを開催している同大学健康科学部助教の来島修志先生によるワークショップ、回想法にアートセラピーを取り入れた国際回想法・ライフレビュー学会理事の長坂剛夫先生による講演とワークショップ、そしてポスターセッションでは県内をはじめ、鹿児島、福岡、佐賀、滋賀、愛知、石川各県の大学や施設から合計19演題のエントリーがありました。二日目は午前中に作家の小田豊二氏による特別講演「聞かせてください、あなたの人生」に引き続き、シンポジウム「地域回想法を広げていくために必要なこと」をテーマに国立長寿医療研究センター内科総合診療部長の遠藤英俊先生による基調講および当院をはじめとする県内4施設からの実践報告と意見交換を行い、午後は元ベンチャーズのリードギター奏者ノーキー・エドワーズさんによる懐かしのエレキサウンド・コンサートを開催しました。特にノーキーさんのコンサートは高校時代にベンチャーズにハマっていた私にとっては素晴らしい回想法になりました。

それはそれで良かったのですが、学会当日は南九州を台風が直撃したため、航空をはじめとして鉄道、バスなどの公共交通機関の欠航・欠便が相次ぎ、参加者は歓迎レセプションとコンサートも含めて両日で延663人と予定を大幅に下回りました。

学会開催に伴う支出は会場費や講師や演奏者への謝金など4,923,552円であり、収入は参加費と宮崎コンベンションセンターからの補助金300,000円を加えて2,705,000円となり、2,218,552円の赤字となりました。しかし所期の目的に加えて、本学会開催を通して回想法に熱心に取り組んでいる全国の関係者との密な交流が図られ、また、当院スタッフをはじめとするケアスタッフの技術向上にも資するところがあり、さらに私にとってはカリスマ的存在であったノーキーさんとの出会いなど、収支面でのマイナスを補って余りある多くの成果が得られたものと自己満足しています。

今年11月16日と17日には「第2回 地域回想法サミットin宮崎」を宮崎市民プラザで開催する予定です。今回も内容のあるものにしようと考えていますので、回想法に関心のある皆様には是非参加していただければと考えています。皆様方のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



ノーキーさん愛用と同じHitchHikerにサインを入れて譲っていただきました

検死（検視）

高鍋町 医療法人愛生堂 坂田病院
さか た もろ さと
坂 田 師 隣

私の病院には時々、検死の依頼があります。ほとんど弟が検死に臨みますが、私も立ち会うことがあります。

私の宮崎での検死デビューは、平成2年頃、汲み取り式便所の便槽の中の新生児の検死でした。また、びっくりしたのは、ホテルのベッド下に放置された嬰兒様包装物を検死？包装物を開封すると、中から大きな茄子が出現したこと

でした。

検死に至る異常死は、平成10年代は自殺、平成20年代は独居老人の孤独死が多いように感じます。検死に臨むと係りの方から死者の社会的背景を説明されます。自殺者は、経済的要因、孤独死は家庭内事情が多いようです。

検死に臨むと、鬱々とした気分になります。政治、経済、それに政策がもう少し健全になると、検死に至る異常死は、減少すると勝手に思っています。

最後に、日頃24時間体制で検死の業務に関わってらっしゃる警察署員の方々、ご苦労様です。

お知らせ

令和元年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内3教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内3教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

| | | |
|---|--|--|
| 宮崎学園短期大学 (宮崎市) | 宮崎医療管理専門学校 (宮崎市) | 都城コアカレッジ (都城市) |
| 就職希望者20名 (男1名, 女19名) | 就職希望者16名 (男1名, 女15名) | 就職希望者5名 (女5名) |
| 連絡先: TEL0985-85-0146 宮崎市清武町加納丙1415 担当: 田村 広美 武村 順子 | 連絡先: TEL0985-86-2271 宮崎市田野町甲1556-1 担当: 福元 進 崎田ゆかり | 連絡先: TEL0986-38-4811 都城市吉尾町77-8 担当: 吉原真由美 谷山真菜己 |

エコー・リレー

(527回)

(南から北へ北から南へ)

日々向上

延岡市 県立延岡病院 おし かわ はつ ね
押 川 初 音

最近私は筋トレを始めました。この1年で増えてしまった体重を戻し、そのまま勢いに乗ってもっと締まった体になりたいと思ったからです。基準は昨年5月の自分です。そして、ダイエットを始めるにあたって、この1年の自分

の体型を振り返って見ることにしました。こうして見ると、夏頃から2度目の身体測定があった11月頃までは筋トレや有酸素運動をしていたため比較的マシですが、年を越した頃からどんどん丸くなり、4月は恐ろしい様子になっていました。そこから1か月、再び筋トレや有酸素運動により減量し、今年健康診断でも去年と全く同じ数字に戻すことができました。

長い目で見ると、私の体重は変わっていません。しかし、体重計に乗っていない期間で確実にもっと痩せていた時期もあるだろうと予測されます。

食べることで幸せを感じる私は、体重減少に甘んじて運動や食事制限を少しでも怠けるとすぐに体重増に転じてしまいます。維持のためにはなんでもいいから続ける必要があると気づきました。

これは勉強にも通じると思いました。勉強を怠ると、すぐに記憶の彼方に知識が追いやられて、やがて忘れていってしまいます。国試に受かってもう1年が経ちました。あんなに勉強したことももうかなり忘れていきます。日々の業務で経験は積めるものの、それでは維持は難しいのが本当のところ。専門に入ると、よりそれ以外の分野の知識を失っていくのは目に見えています。

これからも運動でも勉強でも怠らず、維持ではなく向上を目指さねばならないと改めて感じます。

[次回は、宮崎市の小笠原 奈月先生をお願いします]

「食」の思い出

日向市 千代田病院 わけ だ ひろ のぶ
分 田 裕 順

当直の時に「食」の番組を見ていてその店を調べて、行ける予定もないのに最寄駅はどこなのか、メニューのおすすめは何なのかなどを食べログで調べてみたりして、ひとりで「妄想」の世界に入っていることがある。

そんなある日に、NHKの「きょうの料理」を見る機会があった。これはグルメ番組ではなく料理を作るための番組であり、自分が小学生の頃母親と見ていた記憶がよみがえった。昔は録画するのも大変で母はよくメモ帳を片手にして、時には子どもたちの好きそうな料理を作ってくれたものである。

時には兄弟で、母親の料理の手伝いをするのがあった。具体的にはハンバーグのタネをこねたり、ギョーザの具を包んだり、鶏ガラからだしをとったり、エビフライの衣をつけたりといったところだろうか。昭和の時代には随分と手間暇をかけていたのだが、楽しい思い出として残っている。

その中でも一番印象深いのは「とろろ汁」作りである。焼いた魚から出汁をとり、魚の身を手でほぐして小骨を除き、大きなすり鉢で長芋をすって、味付けした出汁でのぼして、さらに魚も加えてすっていくといった手順だったのだろうか。カマスが一番美味で時にはサバを使用していたが、出汁が濃厚で実に美味で、ご飯を何杯もお替わりしたのを覚えている。

今となっては高齢の母は手の込んだ食事は作らなくなり、この味はもう口にはできないのであろうが、テレビを見ながらふと思い出した次第です。

さて皆様の「食」の思い出はいかかでしょうか？

[次回は、宮崎市の関本 朝久先生をお願いします]

叙勲・祝賀

瑞宝双光章

うえ やま せいしろう
上 山 征史郎 先生 (西 都)

令和元年春の叙勲において瑞宝双光章を受章されました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



上山 先生

表彰・祝賀

医療功労により県知事表彰

| | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----------|----|----|----|----|----------|
| わた | よう | ひで | みち | 先生 (宮 崎) | なが | みね | もと | ひさ | 先生 (宮 崎) |
| 濟 | 陽 | 英 | 道 | | 長 | 嶺 | 元 | 久 | |
| さ | さ | こう | じ | 先生 (都 城) | かわ | な | なが | のり | 先生 (延 岡) |
| 佐 | 々 | 幸 | 二 | | 川 | 名 | 修 | 徳 | |
| お | ざ | みね | お | 先生 (日 向) | さ | た | も | ろ | 先生 (児 湯) |
| 尾 | 崎 | 峯 | 生 | | 坂 | 田 | 師 | 隣 | |
| み | ず | よし | ひさ | 先生 (西 都) | | | | | |
| 水 | 田 | 能 | 久 | | | | | | |

令和元年6月15日、医療功労により県知事表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



済陽 先生



長嶺 先生



佐々木 先生



川名 先生



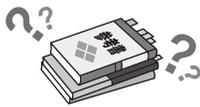
尾崎 先生



坂田 先生



水田 先生



あなたできますか？

—平成30年度 医師国家試験問題より—

(解答は41ページ)

1. 肝硬変を母地として発生した最大径 2 cm, 単発の肝細胞癌に対する治療法針を決定する上で**重要でない**のはどれか。
 - a 腹水の有無
 - b ビリルビン値
 - c 肝硬変の成因
 - d 肝性脳症の有無
 - e プロトロンビン時間
2. 経膈分娩における第 2 回旋の異常はどれか。**2つ選べ**。
 - a 額位
 - b 横位
 - c 高在縦定位
 - d 後方後頭位
 - e 低在横定位
3. 統合失調症を強く示唆する患者の発言はどれか。
 - a 「自分には霊がとりついている」
 - b 「(天井のしみを指さして) 虫が這っている」
 - c 「自分は癌にかかっているので、明日には死ぬ」
 - d 「自分の考えることがすべて周囲の人に伝わっている」
 - e 「外に出ると通行人が自分を見るので、外出できない」
4. へき地医療について正しいのはどれか。
 - a へき地医療支援機構は市町村ごとに設置する。
 - b へき地医療診療所は一次医療圏毎に設置されている。
 - c へき地保健医療計画は地域医療支援病院が策定する。
 - d へき地医療拠点病院は代診医派遣の役割を担っている。
 - e へき地巡回診療車は地域の救命救急センターから派遣される。
5. 急性虫垂炎でみられるのはどれか。**2つ選べ**。
 - a Blumberg徴候
 - b Courvoisier徴候
 - c Grey-Turner徴候
 - d Murphy徴候
 - e Rosenstein徴候
6. 右肺尖に発生した肺癌の患者に、右側のみ眼瞼下垂を認める。他にみられる可能性が高い徴候はどれか。**2つ選べ**。
 - a 嗄声
 - b 右縮瞳
 - c 顔面浮腫
 - d 右眼球突出
 - e 右半顔発汗低下
7. うっ血乳頭に随伴する初期症状はどれか。
 - a 眼痛
 - b 頭痛
 - c 眼精疲労
 - d 視力低下
 - e 求心性視野狭窄
8. 35歳の男性。路上に倒れているところを通行人に発見され、救急車で搬入された。意識レベルはJCSII-30。体温36.0°C。心拍数104/分、整。血圧156/88mmHg。呼吸数16/分。SpO₂99% (マスク5L/分酸素投与下)。対光反射は正常。皮膚は湿潤しており、体表に明らかな外傷を認めない。

まず行うべき検査はどれか。

 - a 血糖測定
 - b 頭部単純CT
 - c 動脈血ガス分析
 - d 胸部エックス線撮影
 - e 尿の薬物スクリーニング
9. COPDでみられるのはどれか。**2つ選べ**。
 - a 残気量増加
 - b 拡散能上昇
 - c A-aDO₂開大
 - d 血清KL-6上昇
 - e fine crackles聴取
10. 妊娠中の放射線被ばくについて正しいのはどれか。**2つ選べ**。
 - a 妊娠早期の被ばくは人工妊娠中絶の適応になる。
 - b 胎児の奇形発生は閾値のある確定的影響とされる。
 - c 放射線業務従事者には線量限度が定められている。
 - d 胎児の奇形発生リスクは妊娠後期の被ばくで高い。
 - e 出生後の精神発達遅滞の発症リスクは妊娠後期の被ばくで高い。

宮崎県感染症発生動向 ～5月～

平成31年4月29日～令和元年6月2日（第18週～第22週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核21例（男性3例・女性18例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりである。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症3例：宮崎市（2例），中央（1例）保健所管内から報告があった。そのうち1例でHUS発症がみられた。0～4歳（1例），50歳代（2例）で，1例は無症状病原体保有者である。主な症状は腹痛，水様性下痢，溶血性貧血，血便，発熱等がみられ，原因菌のO血清型ではO157，O121（各VT不明）が2例である。

4類：○A型肝炎1例：日南保健所管内から報告があった。30歳代で，主な症状として全身倦怠感，発熱，白血球減少がみられた。A型肝炎のワクチン接種歴，海外渡航歴は無い。

○重症熱性血小板減少症候群2例：宮崎市，日南（各1例）保健所管内から報告があった。いずれも60歳代で，ダニの刺し口は確認できなかった。主な症状として全身倦怠感，血小板・白血球減少，リンパ節腫脹，発熱等がみられた。

○日本紅斑熱3例：宮崎市（2例），日南（1例）保健所管内から報告があった。50歳代，60歳代，80歳代（各1例）で，主な症状として発熱，刺し口，発疹，DIC等がみられた。

5類：○カルバペネム耐性腸内細菌感染症2例：宮崎市，都城（各1例）保健所管内から報告があった。いずれも60歳代で，主な症状として肺炎，尿路感染症がみられた。

○急性脳炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。50歳代で，病原体は腸管出血性大腸菌である。主な症状として発熱，意識障害がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例：宮崎市保健所管内から報告があった。40歳代，80歳代（各1例）で，血清群はA群，G群（各1例）である。主な症状としてショック，肝・腎不全，DIC等がみられた。

○後天性免疫不全症候群1例：都城保健所管内から報告があった。30歳代の男性で，病型は無症状病原体保有者である。

○侵襲性肺炎球菌感染症2例：宮崎市保健所管内から報告があった。40歳代，80歳代（各1例）で，主な症状として頭痛，発熱，意識障害等がみられた。いずれもワクチン接種歴は不明であった。

○梅毒3例：宮崎市（2例），高千穂（1例）保健所管内から報告があった。0～4歳，30歳代，40歳代（各1例）で，男性が2例，女性が1例であった。病型は先天梅毒，早期顕症梅毒（I期），早期顕症梅毒（II期）（各1例）である。主な症状として硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹等がみられた。

○百日咳32例（男性18例・女性14例）：保健所別報告数は【図2】，年齢別報告数は【表3】のとおりである。

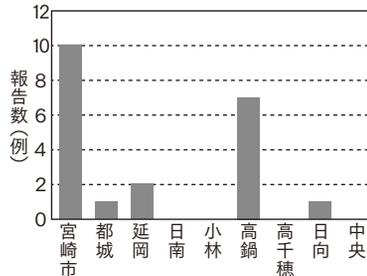


図1 結核 保健所別報告数

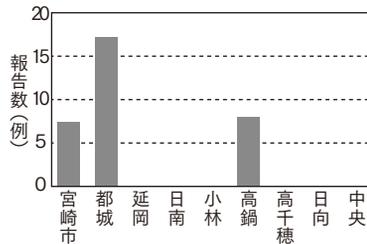


図2 百日咳 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

| | |
|---------------------|----|
| 肺結核 | 3 |
| 肺結核及びその他の結核(結核性髄膜炎) | 1 |
| その他の結核(結核性胸膜炎) | 1 |
| 無症状病原体保有者 | 16 |

表2 結核 年齢別報告数(例)

| 年齢 | 報告数 |
|------|-----|
| 10歳代 | 1 |
| 20歳代 | 2 |
| 30歳代 | 1 |
| 40歳代 | 5 |
| 50歳代 | 5 |
| 70歳代 | 2 |
| 80歳代 | 4 |
| 90歳代 | 1 |

表3 百日咳 年齢別報告数(例)

| 年齢 | 報告数 |
|------|-----|
| 0～4歳 | 2 |
| 5～9歳 | 19 |
| 10歳代 | 6 |
| 20歳代 | 1 |
| 40歳代 | 3 |
| 60歳代 | 1 |

■病原体検出情報(微生物部)

| | 検出病原体 | 件 |
|------|--|---|
| ウイルス | アデノウイルスNot typed | 2 |
| | アデノウイルス 2型 | 1 |
| | インフルエンザウイルスAH1pdm09 | 1 |
| | インフルエンザウイルスAH3 | 8 |
| | インフルエンザウイルスB (ビクトリア系統) | 1 |
| | RSウイルス | 2 |
| | コクサッキーウイルスA 6型 | 1 |
| | コクサッキーウイルスB 4型 | 1 |
| | 麻疹ウイルス | 1 |
| | EPEC (OUT:HUT) | 2 |
| 細菌 | Salmonella Thompson (O7:k:1,5) | 1 |
| | Salmonella Schwarzengrund (O4:d:1,7) | 1 |
| | Salmonella Braenderup (O7:e,h:e,n,z15) | 1 |

主な症状として持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタックート、ウーブ等がみられた。百日咳のワクチン接種歴は有（19例）、無（2例）、不明（11例）である。
 ○麻しん1例：宮崎市保健所管内で報告された。30歳代で、修飾麻しん（検査診断例）である。主な症状として発熱がみられた。海外渡航歴は無く、ワクチン接種歴は不明である。

■ 5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は4,011人（定点あたり115.6）で、前月の122%、例年の93%であった。

前月に比べ増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと流行性角結膜炎である。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は手足口病と伝染性紅斑及びヘルパンギーナである。

手足口病の報告数は1,509人（42.4）で前月の約2.6倍、例年の約2.3倍である。日南（74.7）、延岡（65.3）、日向（46.3）保健所からの報告が多く、1歳が全体の約半数を占めている。

伝染性紅斑の報告数は100人（2.8）で前月の約1.2倍、例年の約1.8倍である。延岡（7.8）、日南、高千穂（7.0）保健所からの報告が多く、2～4歳が全体の約半数を占めている。

ヘルパンギーナの報告数は421人（11.8）で前月の約2.5倍、例年の約9.4倍である。小林（27.5）、延岡（26.3）、日向（19.8）保健所からの報告が多く、1歳が全体の約半数を占めている。

前月との比較

| | 2019年5月 | | 2019年4月 | | 例年との比較 |
|----------------|---------|----------|---------|----------|--------|
| | 報告数(人) | 定点当たり(人) | 報告数(人) | 定点当たり(人) | |
| インフルエンザ | 137 | 2.3 | 393 | 6.8 | |
| RSウイルス感染症 | 39 | 1.1 | 75 | 2.1 | |
| 咽頭結膜熱 | 121 | 3.4 | 78 | 2.2 | |
| ※溶レン菌咽頭炎 | 438 | 12.4 | 551 | 15.7 | |
| 感染性胃腸炎 | 1,020 | 28.8 | 1,014 | 29.0 | |
| 水痘 | 38 | 1.1 | 77 | 2.2 | |
| 手足口病 | 1,509 | 42.4 | 570 | 16.3 | ★ |
| 伝染性紅斑 | 100 | 2.8 | 84 | 2.4 | ★ |
| 突発性発しん | 137 | 3.9 | 101 | 2.9 | |
| ヘルパンギーナ | 421 | 11.8 | 164 | 4.7 | ★ |
| 流行性耳下腺炎 | 20 | 0.6 | 22 | 0.6 | |
| 急性出血性結膜炎 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | |
| 流行性角結膜炎 | 27 | 4.5 | 57 | 9.5 | |
| 細菌性髄膜炎 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | |
| 無菌性髄膜炎 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | |
| マイコプラズマ肺炎 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | |
| クラミジア肺炎 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | 4 | 0.6 | 5 | 0.7 | |

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い
 ※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■ 月報告対象疾患の発生動向〈2019年5月〉

□ 性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

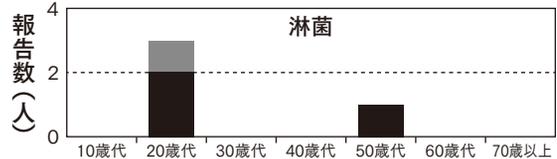
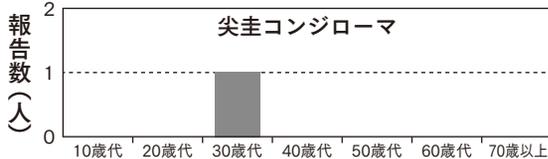
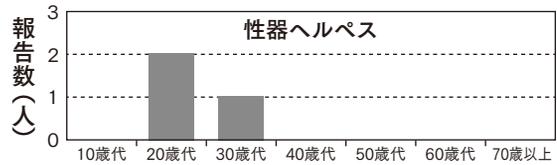
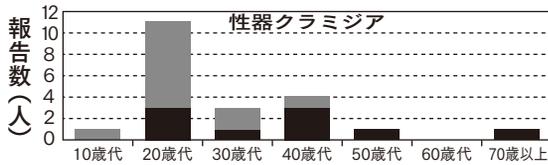
定点医療機関からの報告総数は29人(2.2)で、前月比91%と減少した。また、昨年5月(1.4)の161%である。
 《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数21人(1.6)で、前月の約1.1倍、昨年5月の2.1倍である。20歳代が全体の約半数を占めている。(男性9人・女性12人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人(0.23)で、前月の0.5倍、昨年5月の約0.8倍である。(女性3人)

○尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月と同率、昨年5月の0.5倍である。(女性1人)

○淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月の0.7倍、昨年5月の2.0倍である。(男性3人・女性1人)



■ 男 ■ 女

□ 薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は18人(2.6)で、前月比113%と増加した。また、昨年5月(2.4)の106%である。
 《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数18人(2.6)で、前月の1.2倍、昨年5月の約1.1倍である。70歳以上が全体の約7割を占めている。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

各都市医師会だより

都城市北諸県郡医師会

毎年、医師会共同利用施設についての情報交換や討議を行う、九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会が開催されています。この協議会は、九州沖縄の7県が順番に担当県として開催することになっており、今年は佐賀県が担当で7月に開催されます。

この協議会には3つの分科会があり、各施設での取組みや運営の問題点などについての発表や討論があります。担当理事になって以来毎年出席し、各県の運営の仕方や様々な工夫などを聴いて参考にしていくところです。

宮崎県が担当になるのは令和2年、つまり来年で、都城市北諸県郡医師会が担当することになりました。約1年後の開催に向けて、5月8日に第1回の準備委員会を開きました。開催会場や記念講演の講師の選定、来賓の選定など早い段階で決定しておかなければならない重要事項から、懇親会に出す酒類まで（都城は焼酎霧島など）あらゆる準備が必要になってきます。

毎年出席していた協議会が、このような準備のもとで開催されているのを改めて認識するとともに、今から準備のことで医師会事務と共に戦々恐々の思いですが、出席された方にとって有意義な協議会が開催できればと考えております。

令和2年はこの他に、九州医師会医学会や九州医師会連合会も宮崎県が担当県として開催する予定となっており、例年以上に宮崎県医師会や各都市医師会の協力が必要になると思います。会員の先生方のご協力を何卒よろしくお願いいたします。

(瀬ノ口 洋史)

宮崎市郡医師会

宮崎市夜間急病センターは残り1年ばかりでその使命を終えようとしています。来年8月に開院予定の宮崎市郡医師会病院の中にER型の救急診療部が設けられます。現在2人の医師が医師会病院にて既に待機していますが、順調に機能させるには移転後も医師会員の協力は欠かせません。

今まで当直医は7:00までに来院した患者も診察する義務がありましたが、現在は6:30以降に来院した患者は救急科の医師2名が対応し、終了時刻を上回る診療は避けられます。バックアップ会員の献身的な支えで、他の会員が当直に呼ばれることがないような仕組みとなっている点をご承知おき願います。災害などで急に当直ができなくなる可能性もありますが、穴を開けない方法を考えねばなりません。

(田中 宏幸)

延岡市医師会

延岡市でも、平成31年9月2日～平成32年1月31日の期間で、胃がんリスク検査（ABC検査）を始めることになりました。行政主導で、頑張ってもらっています。51歳・56歳・61歳・66歳・71歳の延岡市民が対象となります。対象者8,820人、実費徴収金1,500円での実施予定です。今後H.P.-IgGの検査キットの制定・カットオフの制定等、細部を煮詰める必要がありますが、精密検査登録医療機関も20医療機関の申請があり、医療機関の協力体制も整ってきています。

(今田 真一)

日向市東臼杵郡医師会

医師会長職を拝命して、一年が経過いたしました。三役も入れ替わり、はじめて理事を経験される先生も5名という体制の中、大過

なく任期の前半を終えることができました。会員の先生方のご協力に心から感謝しているところです。

近年の医療を取りまく環境は、一段と厳しくなりつつあります。会員の先生方のご理解・ご協力がなければ解決しない課題も多くあります。会員が一丸となって当たっていくことが大事であると考えています。

令和元年度の事業も既にスタートしました。少子化、人手不足に起因する看護学校志願者の減少は、前途を憂慮する事態となっています。知恵を出し合って難局を突破していきたいと思っています。

また、地域においては、少子高齢化社会を迎え、各医療機関に医療提供体制の再構築が求められています。今後の当地域の医療はどうあったらよいのか地域の現状を十分把握した上で、地域医療調整会議に臨んでいきたいと考えています。

(千代反田 晋)

児 湯 医 師 会

児湯医師会では、5月に眼科、6月に耳鼻咽喉科と開業が続き、勤務医の先生にも少し異動がありました。ここ数年の小児科の開業もあり、高齢化が進む医師会に若い先生方が加入され会員の平均年齢が少し若返っています。耳鼻咽喉科は児湯郡内で久しぶり、かつ唯一の開業となり町民からの期待が高まっています。

先日、ある理事が永友児湯医師会長にお会いした際、会長職は死ぬまでかぼけるまでやり遂げるとおっしゃっていたそうです。そんな会長の心意気を受け止め、理事全員でしっかり医師会運営に当たっていきます。

(大森 史彦)

西 都 市 西 児 湯 医 師 会

令和おめでとうございます。この機会にお世話になっております皆様方に改めてお礼申

しあげます。「新病院」の建設予定地は妻地区（西都児湯医療センター周辺）に決定（まだ確定している訳ではない）。（病院事業債約41億円）の本申請が今年5月中に県から国へ提出された。今後、国の審査を受け、病院事業債の申請手続きを進めても良いとの同意があれば、建設に向け、用地取得、基本設計等と作業が進められる。

(水田 能久)

南 那 珂 医 師 会

南那珂医師会には3つの公立病院があり、救急医療を担っています。串間市には串間市民病院があり、串間市の救急医療機関としての役割を果たしています。4月1日より病床数を30床休床して120床から90床へ減床して診療にあたっています。医師数は1年前まで11名でしたが、本年5月より8名体制となっています。さらに医師数が減少するようだと救急医療体制がとれなくなる可能性もあります。県立日南病院など他の医療機関と連携をとりながらなんとか医療崩壊にならないように努力していきます。

(黒木 和男)

西 諸 医 師 会

少子超高齢化を迎える2025年問題への対策として、西諸医師会では、地域医療構想と地域包括ケアシステムの体制構築を見据えた少子化対策では、小林市立病院産婦人科の再開を宮崎大学、県立宮崎病院をはじめ多くの医療機関のご助力でなすことができました。一方で、超高齢化対策は、在宅医療や介護連携推進事業の地域における問題が、医師不足、小林准看護学校における生徒数減少、各介護施設での介護職不足など、地域の医療職人材不足からくる問題も多く、今後も近隣医療圏と連携し問題解決への活動を続けていく必要があると考えています。

(竹之内 剛)

国公立病院だより

高千穂町国民健康保険病院



くめしゅういち
久米 修一 院長

高千穂町は宮崎県の北端、熊本県との県境にあって、人口は約1万2千人です。西の五ヶ瀬町、東の日の影町に挟まれて、人口約2万人の西臼杵郡を形成しています。主な産業は農業、観光業です。観光では

夏は高千穂峡や様々な神社、冬は神楽などが有名で、高千穂町観光協会のホームページを見ていただければ、様々な観光スポット、モデルコースなどが紹介されています。

高速道路が整備されて宮崎市へは2時間ほどで行けるようになりました。また、熊本市へは約1時間半で着きます。熊本県との関係も深く、Wikipediaによれば、空港は熊本空港利用が一般化しており、熊本市の繁華街や郊外ショッピングモールに買い物に行く町民も多いようです。

当院は昭和26年の創立です。最初の病院は高千穂町の街中にありましたが、平成11年に現在地に新築移転し、平成23年には電子カルテも導入されました。平成24年に前任の箕田先生が院長に就任され、急性期医療だけでなく、120床のうち60床を療養病棟に転換し、ケアミックス病院へと病院の役割を明確化されました。平成27年4月から私が院長となり、同年11月に地域包括ケア病床を設置しています。80列のMD-CT、1.5テスラのMRIを備えています。

平成31年4月現在の病院の状況ですが、1日当たりの外来患者数は約300~470名、一般病床60床（病床利用率約89%）、療養病床60床

（病床利用率約89%）、9診療科（内科、外科、整形外科、小児科、耳鼻咽喉科、循環器科、神経内科、眼科、泌尿器科、皮膚科）を有しています。人工透析も約65名の患者さんの維持透析を行っております。

常勤医は内科4名、外科1名、整形外科2名、小児科1名、耳鼻咽喉科1名です。循環器科、眼科、泌尿器科、皮膚科、神経内科、透析科が非常勤医による診療です。昨年は整形外科が193例、眼科が202例の手術を行っています。外科も2年半ほど前までは手術をしていましたが、外科医の減少のため、今は行っていません。

簡単に自己紹介します。出身は熊本県で熊本大学医学部を昭和63年に卒業し、当時の第1外科に入局しました。その後、熊本大学医学部附属病院、済生会熊本病院（心臓血管外科および外科）勤務の後、熊本大学の大学院で研究し、熊本労災病院、人吉総合病院、熊本市立植木病院で勤務しました。専門は消化器外科を中心とした外科一般です。

最近は研修医の数が減りましたが、多い時は年間10名ほど、当院で研修を受けてもらいました。昨年度からはクリニカルクラークシップの学生さん達が来ています。高千穂を選ぶ人たちは、地域医療に対する関心が高いようで、実習終了時のアンケートを見ると、訪問看護や訪問リハビリ、地域の医院での実習を喜んでいました。また、病棟での採血や血管確保なども評価が高いようです。そして、実習中あるいは実習の前後の休みを使って、高千穂峡や神社での観光、夜神楽などを楽しんでいました。地域で教育を受けた学生さんが、将来、地域に帰ってきてくれたらと思っています。

病院に隣接する保健福祉総合センターで、年に4回、生活習慣病における医療・地域連携会議を開いています。これには当院から院長、内科医4名、看護師、管理栄養士、保健福祉センターから所長、事務系職員、保健師、管理栄養

士、役場から福祉保健課の職員が参加しています。ここでは、高千穂町の検診結果の分析、町における健康課題の明確化、課題に対する取り組みなどを話し合います。保健センターの保健師たちは、豊富な検診データを持っており、それらを集計してこの会議で報告してくれます。また、糖尿病や高血圧の患者さんや、その予備軍の方に生活指導を行っています。高千穂町は、検診のデータで、ヘモグロビンA1cの平均値が、宮崎県内の市町村で最も高くなっていました。町では上記の専門職の協力により、病気になる前の段階で、生活習慣病を食い止めたいと努力しています。

私が高千穂に来て、3月で4年になりました。教授から少なくとも3年はいて欲しいと言われて、最初は、それくらいかなと思っていましたが、長くなりました。一昨年には新しい会議室ができましたし、電子カルテも更新され、昨年はCTが新しくなりました。田舎の病院ではありますが、自由度が高いと思います。この4年の間に、宮崎市からも熊本市からも交通アクセスが良くなりました。当院に興味を持たれ

た方は、病院のホームページもご覧になってください。

高千穂町の高齢化率は、昨年40%を超えました。4年前は38%でしたので、確実に上昇してきています。そして、人口は減っています。地域医療にとっては新研修医制度、新専門医制度等の逆風が吹いており、医師確保が難しい状態です。医師だけでなく、看護師や薬剤師、その他のコメディカルも同様です。西臼杵郡の他の国保病院（五ヶ瀬町国民健康保険病院、日之影町国民健康保険病院）及び自治体、医師会とも協議して、医療機関の集約、経営統合等についても話し合っていきたいと思っています。

医師不足、診療科の不足のために、県立延岡病院を始め、延岡市、日向市、宮崎市などの病院に搬送や紹介をお願いしています。宮崎大学医学部附属病院の救命救急センターからは、時々、ドクターヘリを飛ばしてもらっています。緊急になることも多く、さらに搬送時間も長くてご迷惑をおかけしますが、これからもよろしく願いいたします。



お知らせ

第20回 宮崎県医師会医家芸術展

会員先生方並びにご家族の優秀な作品を一堂に展示した、医家芸術展がいよいよ9月4日(水)より5日間、宮崎県立美術館にて開催されます。

今年は110点の作品が展示される予定となっております。

多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

展示期間：9月4日(水)～8日(日) 10時～18時(8日のみ15時まで)

場 所：宮崎県立美術館 2F県民ギャラリー

(宮崎市船塚3-210 県総合文化公園内)

部 門：書道, 絵画, 写真

出 展 者：宮崎県医師会会員・ご家族(高校生以上)

問合せ先：宮崎県医師会 学術広報課 医家芸術展事務局

(TEL：0985-22-5118 FAX：0985-27-6550)

書道部門

| | | | | | |
|----|---------|----|---------|----|----------|
| 大迫 | 文子(宮崎市) | 岡村 | 公子(延岡市) | 田畑 | 直人(宮崎市) |
| 山内 | 励(宮崎市) | 弓削 | 和子(宮崎市) | 弓削 | 三重子(宮崎市) |

絵画部門

| | | | | | |
|----|---------|----|----------|----|----------|
| 浅見 | 鳴子(宮崎市) | 新木 | るり(日南市) | 安藤 | 宣(西都市) |
| 内田 | 攻(宮崎市) | 大塚 | 早智(宮崎市) | 大西 | 敦子(宮崎市) |
| 黒川 | 基樹(宮崎市) | 竹村 | 龍之助(宮崎市) | 谷口 | 飛鳥(宮崎市) |
| 谷口 | 二郎(宮崎市) | 谷口 | 浩子(都城市) | 長沼 | 弘三郎(延岡市) |
| 藤木 | 浩(宮崎市) | 淵脇 | 和男(都城市) | 丸田 | 眞美(宮崎市) |

写真部門

| | | | | | |
|-----|---------|-----|----------|-----|----------|
| 井ノ口 | 晶子(宮崎市) | 井ノ口 | 信子(宮崎市) | 井ノ口 | 麻利子(宮崎市) |
| 木佐貫 | 冬星(宮崎市) | 楠元 | 正輝(宮崎市) | 桑原 | 淑子(小林市) |
| 佐々木 | 究(宮崎市) | 佐藤 | 秀子(高千穂町) | 末岡 | 常昌(延岡市) |
| 竹尾 | 康男(宮崎市) | 田崎 | 高伸(宮崎市) | 田中 | 宏幸(宮崎市) |
| 谷口 | 飛鳥(宮崎市) | 谷口 | 二郎(宮崎市) | 谷口 | 美喜子(宮崎市) |
| 西村 | 篤乃(宮崎市) | 原 | 政樹(宮崎市) | 藤浦 | 富子(日南市) |
| 丸田 | 茂徳(都城市) | 丸田 | 英夫(宮崎市) | 丸田 | 眞美(宮崎市) |
| 康田 | 明照(日向市) | 山路 | 健(都城市) | | |

(敬称略・各部門50音順・令和元年7月2日現在)

メディアの目



「地産地消」で県外から人を呼び込め

日本経済新聞社 宮崎支局長
すず き とよ ゆき
鈴木 豊 之

クラフトビール「YAHAZU（やはず）」を飲んだことがありますか。スーパーや酒販店などの店頭では買えません。飲むには宮崎県内の飲食店に足を運ぶしかありません。発売は2016年10月で、今では扱っている飲食店は400店以上ということです。

先日、私ども日本経済新聞の会員組織、宮崎日経懇話会で、宮崎ひでじビール（延岡市）の永野時彦社長に講演してもらいました。そのときに聞いた話です。

「YAHAZU」を売り出すにあたり、どういう戦略で、誰に売るか。永野社長が出した結論が「県内の飲食店限定で提供する」ということでした。今も変わらず、小売りは一切していません。県内の卸、酒販店を通じて県内の飲食店だけに流してもらっています。卸、酒販店には「ルール違反はしません」と覚書を書いているという徹底ぶりです。

目的はひとつです。「このビールが飲みたければ、宮崎県に来てください」ということです。宮崎に来て、宮崎の飲食店にお金を落としてください。観光してください。泊まってください——ということです。

いわゆる「地産地消」です。地産地消は何も農産物に限ったことではありません。加工食品でも同じです。たかが地ビール会社のすることが宮崎県に大きな経済効果をもたらさないだろう、と永野社長ももとより承知です。しかしこの取組みに他の生産物、他の会社が賛同し、同じような戦略で県内にいくつも生まれれば、「わざわざ宮崎に足を運ぶ価値がある」ということになると思います。

同じように3月に懇話会で講演してもらった緒方哲・宮崎県産業振興機構理事長（当時）は「県全体でみると、県内のものを県外に売って得た収入より、県外のものを買った支出の方が、4,779億円も多い（赤字）状態です（2015年度）」と指摘しています。

宮崎県は農業産出額全国5位の農業県です。しかし付加価値の高い食料品・飲料等出荷額は低く、県外で加工された付加価値の高い食料品などを買っている状況です。農産物を素材のまま県外に売り、県外に「いいとこ取り」されているようなものです。県内で付加価値の高い食料品を生み出し、「地産地消」を進めれば、県外から人を呼び込むことにもつながるでしょう。

宮崎大学医学部だより

機能制御学講座 — 応用生理学分野 —



まるやま まさし
丸山 眞杉 教授

医師会の皆様こんにちは。宮崎大学医学部機能制御学講座応用生理学分野の近況をご報告いたします。現在、教室のスタッフとしては、教授の丸山眞杉，中島融一准教授，とハリッシュ・ラダ (Radha Madhyastha)，

の両助教，そして，平成30年に研究室の事務担当兼技術スタッフとして新規加入した丸山智子の5名です。これに加えて，インドネシアからの留学生のクィーンとベタ2名が医学獣医学総合研究科博士課程に在籍し研究を行っています。薬剤師のクィーン (Queen Intan Nurrahmah) は修士の学位も当講座で取得し，引き続き博士課程に挑戦しています。ベタ (Bethasiwi Purbasari) は，神経内科の医師で，当然のように神経細胞を指向した研究を進めています。2人の女性とも頑張り屋で，クィーンは修士課程修了後結婚をし，子どもが生まれました。ベタも幼い子どもを連れての研究生生活です。最近息子が遠方に行ってしまって，胸にポッカー穴が空いたような丸山家では喜んでベビーシッターをするのですが，そして，そうとも言っているのですが，未だに仰せつかっておりません。信用がないのかもしれませんが。それからもう一人，エジプト人研究者のオベイド (Obeid Mahmoud Mohammed Ahmed) も当講座で研究に参加しています。オベイドはエジプトのルクソールの出身ですが，ルクソールは丸山が新婚旅行で?年まえに訪れ，妻と二人して自転車で砂漠にある王家の谷に行こうと試み，日射病で死にかけた思い出深い土地です。中島准教授は講座の責任者であるべき丸山が国際連携センターやら，学部長やらと，その責任を放棄しているような環境下でもハリッシュとラダと協力し講座を切り回し，崩壊を阻止して来ました。頭が下がります。ハリッシュとラダはインド人ですが，ラダは平成10年に文科省の奨学金を

獲得して応用生理学教室の前身である生理学第二講座に身を寄せて現在に至ります。二人は夫婦で，二人の結婚式には，はるばるインドのチェンナイまで行って参加することができ，良い思い出となっています。兎に角，お祝いの爆竹の音が大きくテロじゃないかと驚いたことと，オクラのカレー (腰巻一つのオジサンがバケツとヒシャクを持って，わんこ蕎麦状態で食べさせてくれます) が素晴らしく美味であったことは記憶に刻まれています。ハリッシュとラダのお蔭で，インドの大学や研究所との交流が濃密に発展し，文科省が主催しているさくらサイエンスプラン (日本と外国との交流を発展させるためのプロジェクト) で23の大学や研究所から111人も研究者をインドから招聘し，短期間ではありますが交流を深めることができました。さらに，この交流を基に4人の修士の学生 (全員女性) が6か月間の研究留学でインドから訪れ，当講座で研究を行いました。最近の当講座の研究テーマとしては，創傷治癒 (特に糖尿病性の創傷遅延機序)，骨再生，ヒ素の慢性中毒の病態生理，癌の微小環境の解析などですが，国際交流を生かして，インドやインドネシアの研究者との共同執筆論文も生み出しています。

丸山は昭和49年に宮崎大学医学部の前身である宮崎医科大学に黒髪の時代に入学し，今日，白髪 (薄髪) になるまで宮崎医科大学，宮崎大学にこの身を捧げ?て来ましたが，令和元年度をもって定年退職をいたします。去年の10月に医学部長の職を終了し，現在は身辺整理に励んでおりますが，学部長在職中は医師会の皆様の温かいご支援をいただき，この場を借りて感謝を申し上げます。声が大きいためか，学部長終了後も来年5月までは全国医学部長病院長会議の地域における医師養成の在り方に関する調査実施委員会，医学教育委員会，卒後臨床研修検討ワーキンググループなどの委員や座長を仰せつかっています。医師の地域偏在対策や臨床研修制度の改革などを通じて宮崎県の地域医療向上のために頑張るつもりです。宮崎県は大学と医師会，そして県との関係が緊密良好であることは文科省，厚労省や全国の医学部の間がかねてより，よく知られています。ホントです。これも偏に医師会の皆様や県庁関係諸官のお蔭と考えています。これは実に，宮崎の良さであるとも思っております。

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(透析医会)

ふじもと しょういち
藤元 昭一 会長

最近、透析医療関連で社会的に取り上げられる問題としては、「透析中止」と「災害時透析」の2つが目立つ。両者ともに、以前の本医会だよりでも取り上げてきている内容である。すなわち、我々透析医はこれらの難解な問題と常に対面しているとも言えるかもしれない。関東の病院で長期透析患者の透析継続を終了し、患者が亡くなった事例が、平成31年3月7日に新聞報道された。日本透析医学会も当病院からの要請を受け、調査委員会を発足させ現地調査に乗り出し、5月31日に「意思決定に至るプロセス・多職種による話し合いの内容の対応を具体的に診療録に記載することだけでなく、医療チームと患者・家族間で人生会議や緩和ケアプランを検討し、その内容を詳細に診療録に残すことが望ましい」との学術的判断としてのステートメントを出した(<https://www.jsdt.or.jp/info/2565.html>)。2014年に日本透析医学会は「維持血液透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言」を公表し、透析非導入と継続中止を考える際、患者の尊厳を大事にし、医療チームとして対応するための手順なども示したが、現場との乖離はある程度あると思われる。提言公表2年後の全国規模の実態調査では、透析を見合わせた患者の90%が高齢者で、50%が認知症患者であった。一方、災害に関しては、2015年に熊本地震、2017年に九州北部豪雨により、透析不能となった被災施設があった。宮崎県でも比較的大きな地震が去る5月にあり、南海トラフの問題もあり、他人事ではない。

本医会では「透析療法と安全管理セミナー」を毎年1回開催しているが、本年6月1日に第16回目を開催した。一つ目は「認知症患者の安全管理」と題して、宮崎大学精神医学分野教授の石田康先生のご講演を拝聴した。病態や問題点、対応の仕方、薬剤の問題など広い範囲にわたってお話いただき、大変勉強となった。県内には5つの認知症を含む精神疾患に関する拠点病院があり、専門家の意見がうかがえる状況であるとのことで、有難いお話であった。二つ目は、久留米大学森山智文先生による、九州北部豪雨により透析不可となった被災施設の実体験のお話であった。写真や動画を見ることで、宮崎の施設でも起こり得るのではないかと思った。我々が危惧しているように、災害時に透析を施行できるか否かは「水」の問題が一番大きいと再認識した。また、各施設間の連絡網、協力体制の構築も必要だと感じた。幸い、宮崎県透析医会では盛田幹事を中心に災害対策を進めているが、災害時には行政や県医師会の応援は必須だと思っている。

透析が必要とされる患者、高齢者や合併症を有する透析患者、長期の透析患者が増加し、透析療法は大変に手間隙のかかる治療となっており、単に週3回の透析治療を行うだけでは難しくなってきた。例えば、大学病院へ入院されてくる透析患者の多くは、合併症の治療が目的であり、多くの診療科の先生方に手術や内科的治療でお世話になっている。まさに透析患者の診療では多診療科・多職種連携が大変重要であると感じている。今後とも、県医師会の各診療科の先生にご指導をいただき、50年を過ぎた透析医療が延命だけでなく透析患者のQOLに繋がっていけばと願っている。

九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会 第3回九州ブロック災害医療研修会

と き 平成31年4月6日(土)

ところ 鹿児島県医師会館（鹿児島市）

野村副会長（鹿児島県医）の進行により開会し、池田会長（鹿児島県医）、石川常任理事（日医）の挨拶後、座長に野村副会長（鹿児島県医）が選出され、協議に入った。

協議は、各県から提案された7項目をもとに行われ、石川常任理事（日医）よりコメントが加えられた。なお、(3)～(5)は、最後に一括協議とされた。

(1) 災害時の非常電源について（長崎県）

<提案要旨>

長崎県では、小児や難病患者などで人工呼吸器、吸引機など使用し災害に伴う停電時などに生命の危険を招く人たちの避難先に災害が起こる前より提携避難医療機関を決め、連携を図っておく仕組みが作られつつあるが、予測できない災害の場合はその医療機関に行くことさえもできない事態が容易に推測される。

持ち運び可能なポータブル発電機を貸し出せるよう在宅医が積極的に保有したり、症例に対して有用な発電機の斡旋や補助など勧めている地域、またその機種についてご知見があればご教示いただきたい。

各県回答 沖縄、福岡では在宅療養の難病患者に対して、予備電源等の貸出ができるような補助事業を行っている。また、災害時にしっかりと使用できるように停電対応について普及啓発を行うことが必要であるとの意見があった。

石川日医常任理事 沖縄県医から紹介があっ



たPHVの車などを電源として活用した実験は、目から鱗の取組みであった。北海道の震災で、呼吸器等の機器を使用していた在宅患者を196名持っていた医療機関では、北海道全域がブラックアウトした中、1日目に43名の患者を緊急避難させたが、多くの患者は発電機を使用したり、車の蓄電池を使用するなど自衛手段を取っていたとの報告があった。しかし、このような対応ができるのは、非常に稀であり、日頃からの備えが必要である。国にもこのような予算が必要であることを働きかけていきたい。

(2) 災害時における他団体との連携体制について （佐賀県）

<提案要旨>

昨年、熊本県医より被災地での多機関・多職種の連携体制について提案されていたが、災害時の支援活動は、行政を中心として、医師会やその他の関係団体（歯科医師会、薬剤師会、看護協会、理学療法士会等）との連携が重要だと考える。災害時の他団体との連携体制について、各県の現状を伺いたい。

各県回答 各県ともに災害時には多職種と連携することは重要と考えており、災害時のマニュアルを共同で作成したり協定を結ぶなどしていた。また、今後協定を検討している県もあった。

石川日医常任理事 大きな災害の場合、災害関連死をなくすためには、多職種の協力は不可欠である。歯科の先生方も、非常に熱心である。避難所等での口腔ケアを行い、災害関連死を防ぎたいという思いがある。また、DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）も非常に熱心に活動されている。その他ロジスティックも非常に重要な役割となることから事務局の連携も強固にしていけないといけない。

(3)九州医師会連合会災害時医療救護協定の見直しについて（福岡県）

<提案要旨>

鹿児島県医より「熊本地震での医療支援活動の気づき等を踏まえ、協定の実質的な運用をより具体的に進めるべき」との提案があり、各県において本協定や細目の内容及び運用（以下、「協定等」とする）の改定案等に関する協議を行っていただくことを決定したところであるが、各県における協定等に関する検討状況をお伺いしたい。

(4)南海トラフ地震における九州各県医師会の行動計画について（熊本県）

<提案要旨>

南海トラフ地震では主に九州東部地域での被害が甚大と想定されており、医療救護活動においては相当な準備が必要である。

九医連として医療救護班の派遣元と派遣先など被害に柔軟に対応でき、派遣された様々な救護班が同一県による活動となるよう九州各県の行政等とも共有された行動計画の策定

が必要と考える。

(5)九州医師会連合会災害時医療救護協定の運用について（鹿児島県）

<提案要旨>

緊急時連絡体制については、災害医療担当役職員の連絡網を作成したいのでご協力をお願いしたい。その他、本協定に基づく幹事医師会の初動基準、先遣JMATとなりうる隣県同士を予めカウンターパートとして定めておくことは如何か。

下記に提示する案について各県のご意見を伺いたい。

各県回答 各県ともに九医連災害時医療救護協定の見直しは必要と感じており、幹事県である鹿児島県医で改訂案を作成し、各県に意見を求めることとした。九州各県の行動計画についても行政等と共有された策定が必要との意見がほとんどであり、鹿児島県医より提案があった初動基準やカウンターパートについても賛成の意見が多かった。ただし、幹事県としての初動基準の策定など具体的な活動内容を検討することも必要との意見があった。

石川日医常任理事 熊本地震の際は、九州医師会連合は幹事県があるため、日本医師会としては十分に幹事県と相談していかなければならないと考えていた。現在は保健医療調整本部が設置されるため、そこに全ての組織が入り、ミーティング等を行うことが正しいと考える。

九州の協定をしっかりと作成いただき、他の地区の模範となっていたいただきたい。

(6)「南海トラフ大地震」への対応の準備は万全か（大分県）

<提案要旨>

太平洋に面した都府県に広範な被害が同時に及び、九州の場合、宮崎、大分の津波の被

害が極めて甚大で、次に鹿児島、沖縄が想定されている。九州の他4県も無傷というわけではなく、交通手段も限られ、短期間に支援に行けるのであろうか。南海トラフ大地震対策としてぜひやっておくべきだという具体的な研修内容があれば、ご教授いただきたい。

各県回答 現状において南海トラフ大地震に特化した研修会を実施しているところは熊本県医だけであったが、各県それぞれ総合防災訓練に参加されたり、EMIS入力訓練や机上訓練を行っている。南海トラフ大地震に特化した具体的な研修については、医療本部の立ち上げや運営訓練、支援を受ける際のマネージメント等のシミュレーション訓練が挙げられた。

石川日医常任理事 高知では南海トラフ大地震が発生した場合、急性期にはDMATのチームが2,000チーム必要との報告があった。和歌山も被害が大きいと想定されている。いずれにしても日頃から災害が発生した場合を想定した訓練が重要である。大分・宮崎が被災した場合には、福岡・長崎・熊本の経験豊富な先生方の支援が不可欠である。

(7) 都道府県単位でのJMAT研修会開催について (宮崎県)

<提案要旨>

日本医師会より日本医師会JMAT研修の要綱並びに細則が出された。JMAT研修プログラムの基本編及び地域医師会JMATコーディネータ編については、各都道府県医師会での研修会開催も求められている。他県においてJMAT研修の実績もしくは今後の計画があれば、内容についてご教示願いたい。

各県回答 沖縄、大分、熊本、福岡ではJMAT関連の研修会を実施しており、今後具体的な要綱が示された際には、プログラムに

合わせた研修会を実施する予定とのことであった。

石川日医常任理事 九州各県は、災害に関する研修会を積極的に行っている。日医としては、今年度もJMAT研修の基礎編、統括JMAT編を開催予定である。その他、地域コーディネータ編とロジスティックの研修会も開催を検討している。JMAT研修については、実習を大事にして行っていきたいと考えている。

出席者－池井・佐々木(幸)常任理事、
米澤理事、久永課長、田崎主事

関連行事

第3回九州ブロック災害医療研修会

講義1 災害医療総論「日本医師会の災害・救急対策について」

日本医師会 常任理事 石川 広己

講義2 災害時の情報共有と分析(演習)

①EMIS

②J-SPEEDと避難所アセスメント

鹿児島県災害医療コーディネータ・

統括DMAT社会医療法人緑泉会米盛病院

副院長

富岡 譲二

講義3 災害医療体制本部における情報管理(演習)

①クロノロから、組織図、コンタクトリストを作成

鹿児島県DMATロジスティクス部会 会長

鹿児島赤十字病院

岩切 宏之

講義4 火山災害

鹿児島大学総合科学域総合教育学系

総合教育機構共通教育センター 准教授

井村 隆介

講義5 各県医師会災害医療対策本部机上シミュレーション(演習)

テーマ「桜島大爆発による災害－受援
と支援－」

講義6 グループワーク（演習）

テーマ「各県医師会災害対応マニユア
ル改訂に向けて」

1日目は、各県ごとにグループに分かれ、災
害時のPCやアプリを使った情報共有、管理の
演習を行った。また、火山災害に関する講演が
あった。2日目は、桜島大爆発が発生した場合
を各県の立場からどのような被害が想定される
か、またどのような支援が必要かなどの机上シ

ミュレーションを行った。

出席者－佐々木(幸)常任理事，米澤理事，
久永課長，田崎主事



お知らせ

第3回 生命を見つめるフォト&エッセー コンテスト概要

第3回 生命を見つめるフォト&エッセー

応募要項

生命の大切さや
心温まるエピソードを
写真やエッセーで
伝えてみませんか

フォト部門
エッセー部門

審査員

フォト部門

エッセー部門

応募締め切り
2019年
10月3日
必着

公式ホームページ <http://inochi-photo-essay.com>

主催：日本医師会、読売新聞社 後援：厚生労働省 協賛：東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社

〈日程〉

【募集締切】

2019年10月3日(木) 必着

【入賞者発表】

2020年2月(予定)

【表彰式／記念パーティ】

2020年2月(予定)

【受賞作品新聞紙面掲載】

2020年3月(予定)

〈部門〉

フォト部門 エッセー部門

〈公式ホームページ〉

<http://inochi-photo-essay.com>

〈主催〉

日本医師会，読売新聞社

〈お問い合わせ〉

03-3216-8606（日本医師会）

九州各県医師会診療報酬担当理事連絡協議会

と き 平成31年4月7日(日)

ところ 鹿児島県医師会館（鹿児島市）



本連絡協議会は、次期（2020年）診療報酬改定に対する九医連としての要望事項を取りまとめるため、日医社会保険診療報酬検討委員会

の九州ブロック選出委員の吉賀常任理事（大分県医）からの依頼により、各県医師会長の承認を受け開催された。

開会にあたり野村副会長（鹿児島県医）の挨拶後、座長に牧角常任理事（鹿児島県医）が選出され、協議に入った。

要望項目については、九州各県から予め提出された80の要望事項について、事前に鹿児島県において重点項目や要望の多かったものとして更に項目を絞った上で協議を行い、一部修正等の上、最終的に次の10項目（重点項目1～3）を日医へ提出することとなった。

次期（2020年度）診療報酬改定に対する要望項目

| | 点数項目 | 具体的内容 | 参 考 | |
|---------|----------|---|--------------------------------------|-------------------------|
| | | | 現行点数 | 要望点数 |
| 1 重点 | A000 初診料 | ○点数の引き上げ ・初・再診料は医師の技術料の最も基本部分であると同時に、かかりつけ医機能を推進していくためには、医師の技術料の適切な評価、人件費や施設費のコストに見合った点数設定にすべきである。 ・再診料は初診後の経過を見る重要な医療を評価したものである。点数としては評価が低すぎ、併算定ができない項目もあり改善すべきである。 ・近年は加算の新設が目立つが、算定要件のハードルも高く、加算で増点するのは、もはや限界である。 ・小児科を標榜していない医療機関であっても、小児の受診が多い診療科については、通常の外来においても、医師を含め3名以上のスタッフが必要で、そのスタッフの常駐が必要。人員確保に対しても評価していただきたい。 | 【初診料】 282点 2019年10月 改定:288点 | 【初診料】 300点～ 320点 |
| | A001 再診料 | | 【再診料】 72点 2019年10月 改定:73点 | 【再診料】 80点～ 150点以上 |

| | 点数項目 | 具体的内容 | 参 考 | |
|---------|---|---|--|--|
| | | | 現行点数 | 要望点数 |
| 2 重点 | 処置料 | <p>○点数の引き上げ 外来管理加算より低い処置料（消炎鎮痛等処置，眼処置，耳処置，鼻処置等）の点数引き上げを求める。 ○外来管理加算と処置料の不合理是正 処置（消炎鎮痛等処置）35点と薬を処方した場合と薬の処方のみ行った場合，処置を行うと外来管理加算が算定できないため，合計点数が処置と処方をした方が低くなるという逆転現象が起こる。消炎鎮痛等処置には機械も使用しておりコストに見合っていない。同様に創傷処置100平方cm未満と処方をした場合は処方のみした時と点数が同じとなり創傷処置には材料や労力がかかっているが，それが評価されていないように思われる。外科的なことをした場合も外来管理加算が算定できるよう見直すべきと思われる。患者からも処方だけのほうが高くなるのはおかしいと言われることがある。</p> <p>○算定要件の見直し J119 消炎鎮痛等処置：複数箇所の処置には時間と労力を要するため2か所ないしは3か所まで認めてほしい。 J053 皮膚科軟膏処置：熱傷処置や創傷処置は，100平方cm未満が，皮膚科軟膏処置だけ再診料に含まれてしまったのが不公平。復活をお願いしたい。 J119-2 腰部または胸部固定帯固定：看護師，理学療法士が巻き直しを行った時にも算定できるようにしてほしい。連日行った場合も算定できるようにしてほしい。</p> | 消炎鎮痛等処置 35点 皮膚科軟膏処置 0点 | 消炎鎮痛等処置 35点×回数 皮膚科軟膏処置 49点 |
| 3 重点 | C001 在宅患者訪問診療料 C002 在宅時医学総合管理料 C002-2 施設入居時等医学総合管理料 | <p>○点数の引き上げ C001 在宅患者訪問診療料： ・大幅な引き上げをお願いしたい。 ・注5に規定する，1時間を超えた場合の加算点数を高く評価していただきたい。 C002 在宅時医学総合管理料，C002-2施設入居時医学総合管理料： ・月1回訪問診療の点数が，月2回以上に比べ，かなり低い。月間の管理負担は訪問回数が少なくても，それほど大きく変わらない。自宅だろうが，施設だろうが同じ。 ・1人から2人へと患者が増えると，2人の報酬合計（C001+C002）が1人の際の報酬より下がる。9人から10人に増えた場合も同様であるが，患者の負担額も変わることで混乱が生じている。特に2人から，患者の死去や転居で1人になった場合は，負担額が倍増することになり，理解を得ることが困難である。複数であっても，各々に対して同一建物居住者以外の場合と同等の診療であり，適切に評価されるべきである。</p> | 在医総管 2-ハ-(1) 2,300点 在医総管 例:ロの場合 (1)2,600点 (2)1,400点 (3)1,000点 施設総管 2-ハ-(1) 1,640点 2-ハ-(2) 920点 | 在医総管 2-ハ-(1) 2,960点 在医総管 例:ロの場合 (1)3,000点 (2)1,800点 (3)1,400点 施設総管 2-ハ-(1) 2,080点 2-ハ-(2) 1,640点 |

| | 点数項目 | 具体的内容 | 参 考 | |
|---|---------------|---|--|----------------------------|
| | | | 現行点数 | 要望点数 |
| | | (例) C002-2 1-イ-(2)月 2回の訪問診療 ①単一建物診療患者が1人の場合3,200点+833点 (C001-1-イ)×2=4,866点 ②単一建物診療患者が2人の場合1,700点+203点 (C001-1-ロ)×2=2,106点×2人 計4,212点 ○算定要件の見直し ・強化型在宅療養支援診療所の看取り要件の緩和。 ・在支診以外の診療所に継続診療加算が新設されたが、24時間体制の構築はハードルが高く、これらに在支診以外の診療所の在宅医療への算入を促す在医総管・施設総管の評価を求める。 ・在宅時医学総合管理料の算定基準が複雑なため、平成24年改定時に近い形に戻していただきたい。 ・在宅患者訪問診療料Iの2は月1回、6か月以内であり、緩和を求める。 ・在宅ターミナルケア加算に酸素療法加算が新設されたが、死亡月のみならず、死亡前月にも在宅酸素療法を行っていた場合も算定できるよう求める。 | 在宅患者 訪問診療料 203(178)点 2019年10月 改定: 213(187)点 | 在宅患者 訪問診療料 833(830)点 |
| 4 | かかりつけ医機能 | ○算定要件の更なる緩和 ・機能強化加算は、ハードルが高く、かかりつけ医療機関の多くが算定できないのが現状であり、要件の緩和を求める。 ・かかりつけ医機能の評価に日医かかりつけ医機能研修制度が加味されるべきである。 ・小児かかりつけ診療料については、かかりつけ医として小児科医療を支える多くの医療機関が算定できるよう要件の更なる緩和を求める。 | — | — |
| 5 | 妊婦加算 | ○点数の凍結見直し 2019年1月より当面の間凍結となったが、実際の診療の場においては、妊婦や授乳婦が感染症などに罹患した場合、産婦人科や一部の内科で診察を断られて受診されることがある。この場合、レントゲン検査の是非の判断や内服薬・点滴の選択など妊婦には配慮すべき点が多く、この加算が付いた過程は評価されるべきものと考え。また、妊婦の負担ではなく、自己負担分の公的補助とするなどの検討、算定可能とする診療科や診療内容などを十分に検討し、再度、加算として取り上げていただきたい。 | — | — |
| 6 | A002 外来診療料 | ○点数の引き上げ 医師の技術料の適正な評価、並びに医療提供に必要な人的、物的コストに見合った点数の見直しを求める。基本診療料において点数の引き上げの検討を求めたい。 ○不合理の是正 外来診療料73点に含まれる検査処置の中には、73点以上のものが含まれており理不尽であると以前から指摘されている。以前当該点数に含まれていて、その後算定可能となったHbA1c49点以上の点数の検査(具体的にはD001-6~18,D003-8と9,D005-10と11)も外していただくようお願いしたい。 | 73点 2019年10月 改定:74点 | — |

| | 点数項目 | 具体的内容 | 参 考 | |
|---|-------------------|---|---------------------------|---------------|
| | | | 現行点数 | 要望点数 |
| 7 | 入院中の患者の他医療機関受診 | <p>○不合理の是正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括病棟の患者が他病院受診した場合、投薬が受診日のみ費用が算定可とあるが、専門的な薬剤なので薬剤の日数を出来高病棟と一緒にしてほしい。 ・入院中の患者の他医療機関受診にペナルティを科す本取り決めは撤廃されるべきである。患者が高齢化し疾患が多様化するなかで、中小規模の入院医療機関では複数診療科の専門的な医療を完結することは困難な場合が多く、患者の納得も得られがたい。さらに、他科受診時の看護職員の帯同は必須であるにもかかわらず、このことに基づき標欠として入院医療機関がさらにペナルティを被ることは不合理であり是正されるべきである。 | — | — |
| 8 | A003 オンライン診療料 | <p>○算定要件の厳格化</p> <p>医師の偏在を解消する等の理由から、オンライン診療の要件緩和が進むことのないように注意していただきたい。現在、医師の偏在の解消に向けて検討が進められている。この偏在が十分に解決された後に、地域医療の現状を捉えていただき対面診療を原則とした上で、オンライン診療（生体情報等）が可能となるように慎重に検討していただきたい。導入にあたっての要件の厳格化は大変重要と考える。</p> <p>○適切な点数の設定</p> <p>平成30年の診療報酬改定時にICTの活用は評価されたが、メディカルネットワーク等のICT活用の更なる評価が必要と考える。また、留意事項(12)では「情報通信機器の運用の費用やサービス等について別途徴収可能」となっており各医療機関での自由な料金設定が可能である。これは、オンライン診療が自由診療へ繋がっていく可能性があり適切な点数を付けるべきである。</p> | 70点 2019年10月 改定:71点 | — |
| 9 | B000 特定疾患療養管理料 | <p>○算定要件の見直し、点数の引き上げ</p> <p>特定疾患療養管理料は、1回につき225点月2回まで算定可能とある。以前は2週間処方がほとんどであり、225点の2回算定の450点の算定が可能であった。公的病院の長期処方（多くは3か月）の煽りを受け、ほとんどの慢性疾患・生活習慣病の患者は1か月処方となっているのが現状である。</p> <p>特に、へき地・離島では月1回の受診が常態となっている。月1回の受診で450点算定が認められるようにしてほしい。450点が不可能なら特定疾患処方管理加算の増点を実現していただきたい。</p> <p>○算定要件の見直し</p> <p>アルツハイマー型認知症、慢性腎炎、高尿酸血症など、特定疾患療養管理料を算定できる対象疾患に加えて欲しい。特定疾患療養管理料は対象疾患を拡大し、時代に即した特定疾患に見直すべきである。</p> | 225点 (月2回) | 450点 (月1回) |

| | 点数項目 | 具体的内容 | 参 考 | |
|----|------|---|------|------|
| | | | 現行点数 | 要望点数 |
| 10 | 投薬 | <p>○向精神薬長期処方時減算の撤廃 向精神薬長期投与を1年以上行った場合の点数が引き下げられていることについて、医師がローテーションで派遣されたり、非常勤医師の場合、「不安または不眠に係る適切な研修」を受講したかの確認が取りづらい。また、医師が1年以上投与した場合、電子カルテでのチェック機能がなく、誤って今までの点数を算定することが考えられる。</p> <p>ベンゾジアゼピン系を長期処方すると40点に処方箋料が減算されたため、オレキシンの処方が増加している。オレキシンは効果が薄いばかりか高価であり、余計にお金がかかっている。そもそも、睡眠障害ガイドラインではベンゾジアゼピン系は正しく使われれば安全な薬であると謳われている。</p> <p>○多剤投与減算の廃止 7種類以上の内服薬を投薬した場合における処方料、処方箋料並びに薬剤料減額の廃止を求める。複合的な疾患を有する高齢患者が増加し、現場で治療にあたる主治医は多剤処方を余儀なくされている。多剤は必然性がある時代となり、また、かかりつけ薬剤師の普及も進みつつあり、薬剤の管理は改善されている。</p> <p>○点数の引き上げ 院内処方と院外処方の点数格差はあまりにも大きく、院内処方の引き上げを求める。(一包化加算新設、外来後発医薬品使用体制加算引き上げ等)</p> <p>○算定要件の見直し 現在、転院では投薬が算定できない。しかし、急遽の場合など、転院先の病院では同様な薬の提供が困難な場合がある。転院はどの医療機関(入院料算定制限なし)でも14日分に限り投薬の算定可を要望する。</p> | — | — |

出席者—濱田・山村副会長,

小牧・金丸常任理事, 川野理事

竹崎事務局次長兼課長, 湯浅課長補佐

お知らせ

クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、令和元年5月1日より同年10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

九州医師会連合会第376回常任委員会

と き 令和元年 6 月 1 日(土)

ところ 城山ホテル鹿児島 (鹿児島市)

1 開 会

2 九州医師会連合会長挨拶

鹿児島県医師会長 池田 琢哉

3 報 告

1) 九州ブロック日医代議員連絡会議 (6月1日(土)鹿児島市) について (鹿児島)

2) 平成元年春の叙勲等受賞者の慶祝について (鹿児島)

蔭本恭先生 (前長崎県医師会長) の旭日小綬章, 温泉川梅代先生 (前日本医師会常任理事) の旭日双光章受章に対し九州医師会連合会名で慶祝を行った旨の報告があった。

4 協 議

1) 第145回日本医師会定例代議員会 (6月23日(日)日医)における質問者 (ブロック代表) について (鹿児島)

ブロック代表質問に宮崎, 福岡, 長崎, 沖縄県から6題の提案があり, 協議の結果, 釣船崇仁代議員 (長崎県) の「医師会立看護師養成学校の存在意義を問う」と平田泰彦代議員 (福岡県) の「外来医師多数区域における外来医療機能の偏在対策」が選定された。

2) 令和元年度九州各県保健医療福祉主管部長及び九州各県医師会長合同会議 (7月5日(金)・佐賀市) の開催について (佐賀)

3) 九州医師会連合会第377回常任委員会 (7月13日(土)嬉野市) の開催について (佐賀)



4) 九州医師会連合会第378回常任委員会 (8月3日(土)大分市) の開催について

(佐賀)

5) 九州医師会連合会第379回常任委員会並びに第117回定例委員総会 (8月31日(土)佐賀市) の開催について (佐賀)

6) 九州医師会連合会第380回常任委員会並びに令和元年度第1回各種協議会 (10月5日(土)・佐賀市) の開催について (佐賀)

2) から6) の会議をそれぞれの日程で開催することが了承された。

7) 女性医師支援センター事業九州ブロック別会議の開催について (熊本)

令和元年10月19日(土)熊本県医師会館で開催することが了承されるとともに, 開催にあたり, 今年6月から7月にかけて九州各県医師会から地元の臨床研修病院並びに同病院の勤務医師にアンケート調査を実施することについて協力依頼がなされた。

8) 九州地方社会保険医療協議会委員の推薦について (福岡)

九州地方社会保険医療協議会の一部（長崎，熊本県）委員の任期が今年10月13日で満了となる。後任委員は，九州医師会連合会の取決めにより宮崎，沖縄県となっている。

また，九州地方社会保険医療協議会部会委員についても，同日に佐賀，熊本，宮崎，鹿児島県で任期満了となる。

各該当県において後任の人選依頼について，今後，九州厚生局の各県事務所から相談がなされるとのことで了承された。

9) その他

松田会長（福岡県医）から，次の2件の報告があった。

1) 准看護師試験については，九州各県統一で試験問題を作成してきている。そのとりまとめ県の立場で，日本准看護師推進センターへの准看護師試験の受託に向けた案内が釜薙常任理事（日医）からあったこと。

2) 日本医師・従業員国民年金基金が平成31年4月に全国国民年金基金に統合され，全国国民年金基金，日本医師・従業員支部として新たな組織としてスタートしたことから，須田支部長（前九州厚生局長）が各県へあいさつに出向くとの事前案内があったこと。

出席者－河野会長，山内事務局長

女性医師の皆様へ

～宮崎県医師会では，妊娠中の医師に
マタニティ白衣を貸し出しています～



心地よく快適に過ごせるマタニティ白衣を2枚セット（無料）で貸し出します。どうぞお気軽にご利用ください。詳しくは，宮崎県医師会ホームページ（<http://www.miyazaki.med.or.jp/>）をご覧ください。

お問い合わせ先

宮崎県医師会 担当 山本・野尻
TEL 0985-22-5118
FAX 0985-27-6550

令和元年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会

と き 令和元年 5月17日(金)

ところ 日本医師会館 3階小講堂



1. 開 会

2. 会長挨拶 日本医師会長 横倉 義武

最初の議題である「医師の働き方改革について」では、勤務医の健康の確保と質の高い医療提供体制への配慮が必要となる。2024年には時間外労働の上限が1,860時間になり、学びたい医師が働けなくなる可能性もあるが、患者さんのご迷惑にならないことを一番に考えていきたい。

もう1つの議題である「勤務医の医師会入会への動機を喚起するための方策について」特に、若手勤務医を対象に「日本医師会は研修医の会費無料化や30歳未満の医師賠償保険費の減額を行っている。会員を増やすためには、各都道府県医師会や各市郡医師会での事務局の対応や勧誘について、積極的に取り組み、本日の議論をより活発なものにしていただきたい。

3. 全国医師会勤務医部会連絡協議会について

1) 平成30年度報告

長崎県医師会常任理事 木下 郁夫

平成30年11月3日(土)に「明日の勤務医の働き方を考える～西洋医学発祥の地長崎からの提言～」をメインテーマに長崎市

で開催された。350名を超える先生方にご参加いただき、「ながさき宣言」の採択等、活発な議論が交わされたことが報告された。

2) 令和元年度担当医師会挨拶

山形県医師会常任理事 間中 英夫

令和元年10月26日(土)にホテルメトロポリタン山形(山形市)において、山形県医師会の担当で開催する。メインテーマを「待たなしの働き方改革～勤務医の立場から～」として開催の準備を進めていることが報告された。

4. 協議

1) 医師の働き方改革について

医師の働き方改革

－医師の健康確保と地域医療体制の維持－

日本医師会勤務医委員会

副委員長 望月 泉

医療の特性とは公共性、技術革新・水準向上、不確実性、高度の専門性の4つの要素であり、このバランスが重要である。そこで、時間外労働と自己研鑽の境界について今後更に協議し、また、時間外労働についてはタスクシェアリング・タスクシフティングをし、医師は医師でなければならない仕事をするのが最低限必要である。

この働き方改革を医師の意識改革の契機とし、医師の自己犠牲を前提にする医療体制はおかしいと思えるような社会を創る。また、地域偏在、診療科偏在対策を含む医師確保計画、地域医療構想(医

療機関の集約化・重点化), 医師の働き方改革は「三位一体」であり, タスクシェアリング, タスクシフティング, 国民の医療のかかり方など全て実施し, 進めていくべきである。

2) 勤務医の医師会入会への動機を喚起するための方策について—特に, 若手勤務医を対象に—

①若手医師への入会動機を喚起する方策 ～日医ジュニアドクターズネットワーク の場合～

東京大学大学院公衆衛生学・
健康医療対策学 阿部 計大

日本医師会ジュニアドクターズネットワーク設置の経緯について, 2012年10月に設置し, 日本医師会国際活動に若手医師と医学生の参加を促進, 世界医師会総会・理事会, アジア太平洋医師会連合総会に若手医師を派遣した。将来的には, 若手医師・医学生が中心になって, 日本医師会や世界医師会に対して有意義な提言などを積極的に行うことで居場所や役割, 主体性をもたせることが目的である。入会動機を喚起する方策としては, 各都道府県に若手医師が試行錯誤しながら, 情熱をもって医師会活動ができる場を構築することである。

②次世代育成にかけた北海道医師会の取組み—若手医師の活躍の場の作り方—

日本医師会勤務医委員会委員・

北海道医師会常任理事 藤井 美穂

北海道では, 札幌市と旭川市に医師が集中しており偏在が問題となっている。そこで若手医師をどのようにピックアップできるかということを考えた。まず, 2006年に女子医学生・研修医等をサポートするための会を設置した。2008年には女性医師のみならず男性医師からもキャリア継続に

関することや職場の悩み等に関する相談窓口を設け, 2012年は北海道の地域医療を考える若手医師ワーキンググループの発足, 2016年には北海道医師会若手医師専門委員会を設置した。こうして, 若手医師への情報発信の強化と活動場所の確保をし, 若手医師の役割を確立することで若手医師の参画を行っている。

③スキルアップ・レベルアップ・ネットワーク作りのため ～若手勤務医対象の10年の取組み～

日本医師会勤務医委員会委員・
京都府医師会理事 上田 朋宏

京都府医師会の理念「京都府全体で次代の良医を育てる」とし, 研修医・指導医への取組みについて紹介した。若手医師ワーキンググループの関わりとして, 新研修医総合オリエンテーション, 臨床研修屋根瓦塾KYOTO, 研修医ワークショップ in KYOTOを開催している。勉強会ごとに招集していた指導医を固定し, 研修医と指導医の信頼関係をつくり, 他の病院の同期とのつながりや普段学ぶことのない分野の学習, 他の職種の方々について考える機会を設け, 若手医師を取り込んでいる。ただ事業をするだけでなく, 学会発表や論文等のアウトカムまですることにしており, 論文の作成方法などを教育でき, 形として残すことで次代の若手医師のためになる。来年度は, 全国医師会勤務医部会連絡協議会は京都で開催される予定であるため, そこでなにか若手医師のために設けることができればと考えている。

5. 閉 会

出席者—金丸常任理事, 岩村理事, 荒川主事

宮崎県医師会医学会役員会

と き 令和元年 6 月 7 日(金)

ところ 県 医 師 会 館

小牧常任理事より開会，河野学会長の挨拶に続き，報告，協議が行われた。

1. 報告

平成30年度宮崎県医師会医学会について

平成30年 9 月 1 日(土)に「医療倫理と人工知能 (AI)」をテーマとし開催した。特別講演 2 題を，「医療倫理：専門職意識と意思決定」と題し，熊本大学大学院生命科学研究部生命倫理学分野教授の門岡康弘先生に，「人工知能の医療利活用」と題し，東京大学医科学研究所国際先端医療社会連携研究部門特任准教授の湯地晃一郎先生にご講演いただいた。出席者は117名であった。

2. 協議

令和元年度宮崎県医師会医学会の開催について

令和元年 9 月 7 日(土)に県医師会館で開催する医学会のテーマ等について検討を行った。「働き方改革について」や「舌下免疫療法について」，「悪性黒色腫について」など多数の



案が出された。第 1 候補は来年にオリンピック，パラリンピックが控えているため「スポーツ診療」とした。そのほか高額薬剤の認可が承認されていることから「医療経済」など候補を 4 つに絞り講師を選定することとなった。

出席者－河野学会長，濱田・成田副学会長，

北村・田尻・松・出水・坪井・細見・杜若幹事，小牧常任理事，岩村理事
牧野課長，荒川主事

あなたできますか？ (解答)

| | | | | | | | | | |
|---|------|---|---|------|------|---|---|------|------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| c | d, e | d | d | a, e | b, e | b | a | a, c | b, c |

日医インターネットニュースから

■治療と就労の支援で「ガイドブック」 — 国がん —

国立がん研究センターは5月30日、がん患者の治療と就労の両立支援を目的としたガイドブックを公表した。企業の経営層や人事・労務担当者に向けたもの。がん患者の治療と就労の両立には企業の配慮が欠かせないが、対応に苦慮している企業が少なくないことから、ガイドブックでは従業員ががんと診断された際の支援の進め方や必要な配慮などについて解説。企業の人事労務担当者がすぐに現場で実践できる対応のポイントを紹介している。

ガイドブックは、大企業と中小企業の人事・労務などの担当者から聞いた現場の悩みや課題について、国がんのがん対策情報センターと企業経営者や人事・労務担当者などで構成したアドバイザリーボードが議論して作成した。

企業規模により経営余力や支援制度が異なる可能性があるため、大企業編と中小企業編に分けて作成。国がんが運営する「がん情報サービス」に掲載する。(令和元年6月4日)

■介護医療院への移行、「理念共有を」 — 江澤常任理事 —

江澤和彦常任理事は6月1日、日本介護医療院協会のシンポジウムで、介護施設の新たな類型である介護医療院について、国民から信頼される施設にしていくためには「組織全体で理念を共有」して取り組むことが重要だと強調。特に、医療施設から移行する場合に生じる最大の変化が「生活施設になること」とし「1回頭をリセットし、どう生活機能を付けていくか」を考える必要があるとした。

2018年度改定検証調査の結果にも言及した。介護療養型医療施設の約4割が介護医療院への移行を「2021年度介護報酬改定の結果を見て判断するつもり」と回答していたことに対して、介護医療院は国としても失敗が許されない施策だと説明し「賽は現場に投げられている」と強調。新たな施設に「どのような色を付けていくか」は現場次第との認識を示した。

●地域医療構想とは「ウインウインの関係」

シンポジウムでは、同協会の鈴木龍太会長が講演し、これから地域医療構想が進展していく中で、療養病床から大きな改修などせず移行

できる介護医療院が病床の受け皿になると指摘。地域医療構想と介護医療院は「ウインウインの関係だ」と述べた。

また、医療療養病床では受け入れられず、在宅や介護施設では管理が難しい医療区分1程度の患者にとって適した類型との見方も示した。

18年度改定検証調査で、医療療養病床経過措置のうち27.1%が23年度末時点で転換予定がない（そのまま）と回答している点に言及し、介護療養型医療施設の廃止を複数回にわたり延長してきた「厚生労働省に対する不信の表れだろう」との見解を示した。(令和元年6月7日)

■オンライン診療、推進で意見割れる — 中医協総会 —

中医協総会（会長＝田辺国昭・東京大大学院教授）は6月12日、2020年度診療報酬改定に向け、医療におけるICTの利活用について議論を進めた。オンライン診療・オンライン服薬指導について診療側は、有効性・安全性などエビデンスに基づく議論が必要として慎重姿勢を示したのに対して、支払い側は健保連の調査結果を踏まえ次期改定での算定要件の緩和を求めるなど、依然として各側で意見が分かれた。支払い側は、医薬品医療機器法（薬機法）改正案が成立すれば、オンライン服薬指導の具体化を進めるべきだとも主張した。

厚生労働省はオンライン診療について、離島・へき地等の医療資源の少ない地域での利活用と、それ以外の利活用を分けて必要な整理を進めることなどの論点を提示。診療側・支払い側ともに賛同した。

オンライン診療について、日医の松本吉郎常任理事は「患者がきちんと対面診療を受けることができる体制づくりが大事で、利便性に着目して語ることは慎重であるべき。オンライン診療に対面診療と同等のエビデンスがあるのか、それぞれの診療科の専門家からエビデンスを提示してもらい、今後の議論を進めるべきだ」などと指摘した。

日医の今村聡副会長も「未来投資会議などからも提言されているオンライン診療の有効性・安全性のデータの集積は重要だ。症例数を多く集めてもらい、詳細なデータを示してもらいたい」と求めた。学会からのデータにおいても議論に資するものにしてほしいと要望した。

●オンライン服薬指導も隔たり

これに対して支払い側の幸野庄司委員（健保連理事）は、昨年4～9月に62企業健保の医科レセプト2131万件のうちオンライン診療料の算定件数は39件、オンライン医学管理料は21件だったとの健保連の調査結果を公表。その結果を踏まえ「オンライン診療についてはユーザー目線で、次期改定では緩和できるところは緩和していくべき。オンライン診療について適応できない要因になっているのは緊急時の30分以内のルールなどが考えられる。次期改定では疾病ごとの要件緩和などを考えていくべき。安全性に影響なければ要件緩和を進めるべきだ」と強調した。また、オンライン服薬指導についても「薬機法改正が進めば推進すべきだ」と指摘した。

他方、松本常任理事は、昨年6月14日に国家戦略特別区域諮問会議で決定された愛知県などの遠隔服薬指導の実証事業について言及しながら、薬機法改正の有無にかかわらずオンライン服薬指導に慎重姿勢を示した。

（令和元年6月14日）

■「政省令など確認し法令順守を」

一 受動喫煙対策で武井健康課長 一

昨年7月に成立した改正健康増進法で、医療機関などの受動喫煙対策を定めた規定部分が7月1日から施行される。厚生労働省健康局の武井貞治健康課長は本紙取材に、医療機関が設置可能な喫煙所のイメージや、想定される事例ごとの規定の適用範囲の考え方を解説。これまでに発出した通知や政省令などを参照し、法令を順守するよう呼び掛けた。

改正健康増進法は、望まない受動喫煙をなくすため、基本的な考えの一つに「受動喫煙による健康影響が大きい子ども、患者等に特に配慮」することを掲げた。今後、医療機関や学校、行政機関など改正法で「第一種施設」と定めた施設は敷地内禁煙としなければならず、少なくとも屋内にある喫煙所は使用できなくなる。

一方で、完全に敷地内禁煙にした場合、病院の敷地外となる路上や周辺施設で喫煙する人が出る可能性も指摘されたため、改正法では「屋外で受動喫煙を防止するために必要な措置が取られた場所に、喫煙場所（特定屋外喫煙場所）を設置することができる」という例外規定を設けた。特定屋外喫煙場所は▽喫煙場所が区画されている▽喫煙場所であることを明記した標識を掲示する▽施設の利用者が通常立ち入らない場所に設置する—ことの3要件を満たせば、施設内に整備することが可能だ。

武井課長は、特定屋外喫煙場所のイメージとして「例えば、ビルの裏側や病院建物の裏側などの空いている所を利用していただくことを想定している」と説明。区画の方法については、具体的な決まりを定めているわけではないとしながらも、一例として「パーテーションなど何らかの仕切りを使った上で、区画の入り口に喫煙場所の標識が掲示してある」などとした。ただ、必ず壁を作らなければならないということではなく、周囲の環境に配慮した上で、受動喫煙を防ぐことが可能であれば、区画を明らかにするための線を地面に引くだけでも問題はないとした。

●「自宅を兼ねた診療所」は？

このほか、想定される各事例について規定適用の考え方を解説した。まず、1階が診療所で2階が生活スペースといったような「自宅を兼ねた診療所」については、「居住スペースは喫煙ができる場所となる。なお、敷地内の屋外については第一種施設の規制が及ぶため、特定屋外喫煙場所を除いては禁煙となる」との解釈を示した。

大病院に喫茶スペースがある場合は、病院全体が敷地内禁煙になるため、院内のカフェも禁煙になる。複合ビルに入居する施設については、飲食店や医療機関などの「類型ごとにそれぞれ取り扱いを整理していくことが望ましい」との認識を示し、ビル内にある医療機関の場合、そのスペース内は敷地内禁煙になると説明した。

（令和元年6月18日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) >メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）

医師協同組合だより

《休診共済のご案内》 ～医師の休業を補償します～

入院・自宅療養を問わず
通算 **800日**迄
補償します

満 **89歳**迄
新規加入OK!

医師の **診査** 不要!

特長

- 医師が医師のために作りあげた保険ですので  保険料が割安 になっております。
- 疾病や災害による就業不能時の休業損害を通算最高 800 日まで補償します。
- お申込みにあたり、医師の診査は不要です。簡単な告知のみでご加入いただけます。
- 保険金は他の保険に加入と関係なく、支払われます。
- 満 18 歳から満 89 歳までの方が新規加入いただけます。
- 加入後は 1 年ごとの自動更新です。
※面倒な更新手続きは不要です。更新時の健康状態にかかわらず更新します。

補償内容 (こんなときに保険金をお支払いします)

| | |
|----|--|
| 病気 | 発病した疾病の治療を目的として、保険期間中に日本国内の病院、診療所に入院または自宅療養した事を直接の原因として5日以上継続して就業不能状態に陥った場合。 【疾病休業保険金】 休業 5日目 より加入口数に応じて給付。 |
| 災害 | 不慮の事故を直接の原因とする傷害の治療を目的として、保険期間中に日本国内の病院、診療所に入院または自宅療養した事を直接の原因として就業不能状態に陥った場合。 【災害休業保険】 休業 1日目 より加入口数に応じて給付。 |

- 入院、自宅療養を問わず、また病気、傷害を問わず幅広く補償します。
- 通算最高 800 日まで補償します。(一疾病、一傷害は、180 日を限度)
- 保険金の受取人は被保険者自身となります。

保険金額と加入口数

| 保険金支払開始の年齢 | 1 口 | 2 口 | 3 口 |
|------------|------------|-------------|-------------|
| 満 65 歳未満 | 日額 7,000 円 | 日額 14,000 円 | 日額 21,000 円 |
| 満 65 歳以上 | 日額 5,000 円 | 日額 10,000 円 | 日額 15,000 円 |

※保険料例(月払) …… 40歳 男性 1口 1,600円、3口 4,800円
 …… 45歳 男性 1口 1,800円、3口 5,400円
 …… 50歳 男性 1口 2,000円、3口 6,000円

年齢と加入口数限度

| 契約日または更新日の年齢 | 加入できる口数 |
|----------------|---------|
| 満 18 歳から満 24 歳 | 1 口限度 |
| 満 25 歳から満 79 歳 | 3 口限度 |
| 満 80 歳から満 84 歳 | 2 口限度 |
| 満 85 歳から満 89 歳 | 1 口限度 |

【お問い合わせ先】

宮崎県医師協同組合

TEL : 0985-23-9100

FAX : 0985-23-9179

医師国保組合だより

～保健事業のご案内～

医師国保組合では、下記の保健事業を実施しております。それぞれの実施期間及び接種期間は令和2年3月末日までです。ぜひご利用ください。

1 健康診断

| | |
|-------|--|
| 対 象 者 | 次のいずれかに該当する被保険者の方々です。 ①組合員、高齢組合員並びにその配偶者 ②ご家族のうち、本年度中に満40歳になる方～74歳の方 |
| 実施機関 | 各地域の健診機関並びに医療機関 ※自院で実施されても請求できますので「健康診断個人票」により申請してください。 ※宮崎市郡医師会成人病検診センターにて日曜日に集団健診を実施しています。但し、子宮頸がん検診は実施できません。(予約は当組合にお電話ください) ※今年度から胃部内視鏡検査を実施しています(1日5名まで)。 ①実 施 日：令和元年9月29日(胃部内視鏡検査は定員に達しました) 10月20日 令和2年1月19日, 2月2日, 2月16日, 3月1日 ②定 員：各30名 ※申込受付は先着順です。お申込みはお早目をお願いします。例年、特に年明け以降はお申込みが大変多くなっておりますので、なるべく年内の日程をおすすめします。 |

2 その他保健事業

請求方法等の詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業の案内」、または、当組合ウェブサイトをご覧ください。

| | |
|----------------|--------------|
| 胃・大腸内視鏡検査の補助 | 肺炎球菌ワクチン接種補助 |
| 低線量ヘリカルCT肺がん検診 | 歯科健康診査 |
| 脳ドック等の補助 | |

医師国保からのお知らせ

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保に既にご加入の方は、事業所が法人化する等で健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から14日以内に年金事務所へ届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問合せください。

(問合せ先) 宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL: 0985-22-6588 FAX: 0985-27-6550

※各種申請書は、当組合ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

宮崎県社会保険診療報酬支払基金審査委員名簿（医科）

（任期 令和元年6月1日～令和2年5月31日）

（○印は新任）

| 科 名 | 氏 名 | 科 名 | 氏 名 |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 内 科 | 石 川 正 | 外 科 | 岩 村 威 志 |
| ” | 大 岐 照 彦 | ” | 呉 屋 朝 和 |
| ” | 岡 留 敏 秀 | ” | ○ 迫 田 哲 平 |
| ”（放射線） | 杜 若 陽 祐 | ” | 下 藺 孝 司 |
| ”（東 洋） | 河 野 清 秀 | ” | 白 尾 一 定 |
| 内 科 | 作 直 彦 | ” | 坪 内 斉 志 |
| ” | 澤 野 文 俊 | ” | ○ 北 條 浩 |
| ” | 塩 見 一 剛 | ” | 吉 松 正 明 |
| ” | 重 平 正 文 | 整形外科 | 福 嶋 秀 一 郎 |
| ” | 中津留 邦 展 | ” | ○ 舩 元 太 郎 |
| ” | 名 越 敏 郎 | ” | 渡 邊 信 二 |
| ” | 比 嘉 利 信 | 皮 膚 科 | 天 野 正 宏 |
| ” | 南 寛 之 | ” | 田 尻 明 彦 |
| ” | 村 田 光 宏 | 泌 尿 器 科 | 福 田 聡 一 郎 |
| ” | 山 口 哲 朗 | ” | 南 口 尚 紀 |
| ” | ○ 山 口 秀 樹 | 産 婦 人 科 | 嶋 本 富 博 |
| ” | 山 下 清 | ” | 下 村 直 也 |
| ” | 山 中 篤 志 | ” | 肥 後 貴 史 |
| 精 神 科 | 鮫 島 哲 郎 | 眼 科 | 出 水 誠 二 |
| ” | 谷 口 浩 | ” | 森 山 重 人 |
| 小 児 科 | 此 元 隆 雄 | 耳 鼻 咽 喉 科 | 高 木 誠 治 |
| ” | 高 木 純 一 | ” | 外 山 勝 浩 |

五十音順



令和元年5月7日(火) 第3回常任理事協議会

医師会関係
(議決事項)

1. 後援・共催名義等使用許可について

①10/5(土)・6(日)(佐賀)第10回九州在宅医療推進フォーラム開催inSAGAのご後援のお願いについて

→九州各県持ち回りにより、今回は「在宅医療におけるACP(アドバンス・ケア・プランニング)の現状と課題～あなたの想いを伝える人生会議～」をテーマに、佐賀県で開催される研修会で、名義後援を行うことが承認された。

②7/7(日)(宮崎市保健所)第255回全国禁煙アドバイザー育成講習会in宮崎の名義後援について

→「広げよう禁煙支援の輪ーほんの少しは0じゃない」を大会テーマに、行政・医師・歯科医師・薬剤師・看護師・保健師・歯科衛生士等の禁煙支援者のネットワーク構築を目指す講習会で、名義後援を行うことが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①「学校における医療的ケア実施体制構築事業」に伴う医療的ケア運営協議会委員の推薦について

→特別支援教育の医療的ケアの充実を目的に、新たに設置される運営協議会で、高村常任理事を推薦することが承認された。

②平成31年度宮崎県保険者協議会の委員推薦について

→法改正による宮崎県保険者協議会設置運営規程の改正に伴い、新たに県医師会を代表する委員の推薦依頼があり、医療保険担当理事で調整した上で推薦することが承認された。

3. 審査委員の推薦について

選任基準に従い県医師会及び郡市医師会並びに専門分科医会から出された審査委員44名を内定し手続きを進めると共に、5月28日に開催する全理事協議会で再提出することが承認された。

4. 平成31年度学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣及び県教育長表彰被表彰候補者の推薦について

学校保健等の普及と充実に功績があった方を対象に行われる表彰で、各郡市医師会に照会の結果、文部科学大臣表彰3名と県教育庁表彰16名を推薦することが承認された。

5. 第145回日本医師会定例代議員会(6/23(日)日医)における九州ブロック代表質問について

日医代議員(河野会長、濱田・山村副会長、吉田常任理事)が出席予定で、質問事項があれば期日までに申し出る事となった。

6. 7/27(土)・28日(広島)「第50回中四九地区 医師会看護学校協議会」への担当理事の派遣について

中国・四国・九州地区の医師会立の看護学校35校が加盟し、今回は「新たな未来を拓く看護職をめざして～学生の能力を最大限に引きだす関わり～」をテーマに開催される協議会で、佐々木(幸)常任理事が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 4月末日現在の会員数について
2. 5/7(火)(県医) 治験審査委員会について
3. 4/25(木)(県医) 小児在宅医療に関する打合せ会について
4. 4/26(金)(県企業局) 県認知症疾患医療センター合同会議について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 6/9(日)(宮観ホテル) 衆議院議員 江藤拓「希望ある未来を拓く」政経セミナー及び内閣総理大臣補佐官就任祝賀会について
内閣官房長官で沖縄基地負担軽減担当・拉致問題担当大臣の菅義偉 衆議院議員を講師に招き開催される政経セミナー及び祝賀会で、協力することが承認された。

令和元年5月14日(火) 第4回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について
 - ①傷病審査委員会の専門委員の推薦等について
→休職中の県職員の職場復帰等を検討する委員会で、先方の依頼もあり、県教育委員会が設置する教職員疾病審

査委員会の委員7名に就任の意向を確認することが承認された。

2. 平成31年度「宮崎県医療功労者知事表彰」候補者の推薦について

医療及び医療の推進に精励し、格段の功績があった方に対して贈られる表彰で、改めて功績等を確認し7名を推薦することが承認された。

3. 6/13(木)・14(金)(東京)「Health Professional Meeting (H20) 2019」のご案内について

UHC(ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ)推進の取り組みの一環として、「Road to Universal Health Coverage」をテーマに開催される国際会議で、金丸常任理事が参加することが承認された。

4. 7/27(土)(宮城) 第15回男女共同参画フォーラム開催について

「男女共同参画のこれまでとこれからーさらなるステージへー」をメインテーマに開催されるフォーラムで、荒木・金丸常任理事、鳴本理事が参加することが承認された。

5. 7/25(木)(日医) マスギャザリング災害(CBRNEテロ含む) 対策セミナーの開催について

競技場等における将棋倒しやテロリズムにより発生するマスギャザリング災害の基礎知識等を学ぶセミナーで、救急災害医療担当理事で参加者を調整することが承認された。

6. 業務委託について

①訪問救急教室事業に係る業務の委託契約について

→県小児科医会の協力を得て、保育所や幼稚園に小児科医師を派遣し、保護者・職員等を対象に小児救急の基礎

知識や正しい受診のあり方を啓発する研修事業で、契約を締結することが承認された。

②緩和ケア研修事業に係る業務の委託契約について

→緩和医療に取り組む医療従事者を対象に、地域連携や在宅を含んだ緩和ケアの研修会を開催する事業で、委託契約を締結することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 5/8(水) (支払基金) 支払基金幹事会について
3. 5/13(月) (県庁) 県総合計画審議会・専門部会合同会議について
4. 5/10(金) (日医) 日医医師会共同利用施設検討委員会について
5. 5/13(月) (県医) 産業医部会理事会について
6. 5/9(木) (県医) 在宅医療研修会企画小委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 5/27(月)・6/11(火) (東京) 二十三区・三多摩地区 たけみ敬三 総決起大会のご案内について

武見参議院議員は、7月の参議院議員選挙の東京都選挙区に立候補される予定であることから、今回は祝電を送り激励することが承認された。

(報告事項)

1. 5/12(日) (MRT-micc) 参議院議員 長峯誠君を励ます会について

令和元年5月28日(火) 第2回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 会費減免申請について

高齢による会費減免1名(日医のみ)が承認された。

2. 業務委託について

①自殺対策に係る人材育成研修業務の委託契約について

→医療の現場における自殺対策の強化を図ることを目的に、医療従事者を対象に行う専門研修事業で、委託契約を締結することが承認された。

②医師養成・確保支援事業に関する業務の委託契約について

→県内の医師不足解消を目的に、県外医師との交流会、若手キャリアプラン講演会、医師確保支援研修、医療人材早期育成、臨床研修・専門研修等研修会、臨床研修指導医養成、臨床研修病院説明会等を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

③小児科専門研修医症例研究事業に関する業務の委託契約について

→県内の小児医療機関と大学が共同で症例研究会等を実施することによって、小児科専門研修医の資質向上と小児医療の充実を図る事業で、契約を締結することが承認された。

④風しん抗体検査事業の委託契約について

→県民(宮崎市民を除く)で妊娠を希望する女性とその配偶者等を対象に抗体検査を実施する事業で、契約を締結することが承認された。

⑤ロコモ予防みやぎきアクション事業の委託契約について

→「健康寿命社会」の実現のため、県民に対し日常生活習慣やロコモティブシンドロームに関する正しい知識の提供等を行う事業で契約を締結することが承認された。

3. 審査委員の推薦について

選任基準に従い県医師会及び郡市医師会並びに専門分科医会から出された44名を審査委員として回答すると共に、診療担当者代表として15名を推薦することが承認された。

4. 平成30年度宮崎県医師会事業報告について

事務局が作成した事業報告（案）を担当役員が再確認すると共に、県医師会の定款に則り、今後、監査及び理事会並びに定例代議員会に提出することが承認された。

5. 10/2(水)・3(木)（日医）社会保険指導者講習会の開催日程について

「指定難病update」をメインテーマに開催される講習会で、小牧常任理事を中心に参加者等を検討することとなった。また、本県で開催する復講については「伝達講習会」の名称を用いることが承認された。

6. 本会外の役員等の推薦について

①県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会における委員の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼で、引き続き石川常任理事、川野理事を推薦すると共に、再任の方向で現職の意向を確認することが承認された。

②県後期高齢者医療広域連合運営懇話会委員の推薦について

→後期高齢者医療制度の適性かつ円滑な運営を目的に設置される懇話会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き石川常任理事を推薦することが承認された。

③県健康づくり協会理事の推薦について

→疾病予防、健康の保持・増進に寄与することを目的に設立された協会で、山村副会長を理事候補者として推薦することが承認された。

④令和元年度全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員及び運営委員の推薦について

→医療秘書学院を設置する13の県医師会で構成される協議会で、常任委員に山村副会長、運営委員に池井常任理事を推薦することが承認された。

⑤新生児聴覚検査・療育体制連携強化事業協議会委員の推薦及び就任について

→新生児の聴覚障害の早期発見・治療等の推進を目的に設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、現職の県産婦人科医会の肥後貴史会長及び県小児科医会の河野慶一郎先生並びに県耳鼻咽喉科医会が人選する医師を推薦することが承認された。

7. 令和元年度都道府県災害医療コーディネーター研修受講者の推薦について

都道府県における災害医療コーディネーターの活動に必要な統括・調整体制の知識の獲得及び当該体制の標準化を目的とする研修で、赤須理事を推薦することが承認された。

8. 地域医療介護総合確保基金に係る令和2年度新規事業提案（介護従事者確保分）について

県の計画を策定するために、関係団体等から介護業務の人材確保に関連する事業提案を募集するもので、各郡市医師会に照会することが承認された。

9. 6・7月の行事予定について

6月の追加行事及び全理事が対象となる行事の再確認が行われ、6月及び7月の行事を承認した。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 5/21(火)(日医)都道府県医師会長協議会について
3. 5/23(木)(宮観ホテル)県建設業協会創立70周年記念祝賀懇談会について
4. 5/23(木)(県医)医家芸術展世話人会について
5. 5/28(火)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
6. 5/15(水)・5/22(水)(県医)広報委員会について
7. 5/17(金)(宮大医学部)地域医療現場における働きやすい環境を考える会について
8. 5/25(土)(県医)死体検案研修会について
9. 5/25(土)(リッチモンドホテル)ふれあいパーティーについて
10. 5/16(木)(県医)県訪問看護ステーション連絡協議会役員会について
11. 5/19(日)(京都)日本プライマリ・ケア連合学会総会・ブロック支部長会議について
12. 5/14(火)(福岡)九州ブロック医師の育成を考える会総会について
13. 5/26(日)(県医)日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会について
14. 5/18(土)(県医)産業医部会総会・研修会について
15. 5/16(木)(県医)学校医部会理事・評議員

会について

16. 5/23(木)(県医)県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について
17. 5/24(金)(県医)認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会について
18. 5/27(月)(県医)在宅医療協議会役員会について
19. 5/9(木)(宮大医学部)宮大医学部認定再生医療等委員会について
20. 4/24(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について
21. 5/23(木)(日医)日医予防接種・感染症危機管理対策委員会について
22. 5/17(金)(日医)都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会について
23. 5/22(水)(国保連合会)県保険者協議会について
24. 4/27(土)~29(月)(愛知)日本医学会総会について
25. その他

① 5/20(月)県央地区における小児救急医療確保に関する検討会について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会関係 (報告事項)

1. 5/14(火)(県医)医協理事会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 6/7(金)(宮崎市)参議院議員 長峯誠 事務所開きのご案内について

今年1月に開催した執行委員会で、既に次期参議院議員通常選挙宮崎県選挙区での推薦が決定している候補者ではあるが、平日午前中の開会であるため事務局対応とすることが承認された。

2. 6/25(火)羽生田たかし先生来宮時の対応について

国会の急な予定変更がない限り6/25(火)に来県いただけることから、午前中は県南、午後は県西を中心に医療機関を訪問した後、既に予定されている各郡市医師会長協議会に先立って、国政報告会を開催する方向で調整することが承認された。

3. 羽生田たかし先生への支援について

日本医師連盟の協力要請等もあり、なお

一層のサポーター名簿獲得に加え、不在者投票の促進や投票済証の回収等を文書で各郡市医師連盟にお願いすることが承認された。

(報告事項)

1. 5/21(火) (日医) 日医連執行委員会について
2. 5/25(土) (県医) 自見はなこ参議院議員国政報告会について

6月のベストセラー (宮崎県)

集計：2019年6月1日～6月25日

| | | | |
|----|---------------|-----------------------|----------|
| 1 | そして、バトンは渡された | 瀬 尾 まいこ | 文 藝 春 秋 |
| 2 | ノーサイド・ゲーム | 池 井 戸 潤 | ダイヤモンド社 |
| 3 | 春淡し | 佐 伯 泰 英 | 光 文 社 |
| 4 | 樹木希林120の遺言 | 樹 木 希 林 | 宝 島 社 |
| 5 | 70歳のたしなみ | 坂 東 眞 理 子 | 小 学 館 |
| 6 | 一切なりゆき | 樹 木 希 林 | 文 藝 春 秋 |
| 7 | Think clearly | ロ ル フ ・ ド ベ リ | サンマーク出版 |
| 8 | 三 鬼 | 宮 部 み ゆ き | KADOKAWA |
| 9 | 妻のトリセツ | 黒 川 伊 保 子 | 講 談 社 |
| 10 | チーズはどこへ消えた | ス ペ ン サ ー ・ ジ ョ ン ソ ン | 扶 桑 社 |

県 医 の 動 き

(6月)

| | | | |
|----|---|----------|---|
| 1 | (鹿児島) 九医連常任委員会 (会長) (日医) 日医医師会将来ビジョン委員会 (大塚理事) (鹿児島) 九州ブロック日医代議員連絡会議 (会長他) | 12 | (日医) 都道府県医師会医師偏在対策・働き方改革担当理事連絡協議会 (金丸常任理事他) 支払基金幹事会 (会長) 広報委員会 (荒木常任理事他) |
| 2 | (福岡) 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部役員会 (金丸常任理事) 総合確保基金長峯参議院議員への要望 (会長) | 13 | 県産婦人科医会常任理事会 (嶋本理事) |
| 3 | 勤務医部会理事会 (山村副会長他) 旧優生保護法に関する県との協議 (濱田副会長他) | 13 14 | (東京) Health Professional Meeting (H20) 2019 (金丸常任理事) |
| 4 | 県学校保健会理事・評議員会 (会長) 学校保健・学校安全に係る表彰審査会 (会長) 医師キャリア形成及び宮崎県地域医療の充実に向けた関係者協議 (金丸常任理事) 治験審査委員会 (荒木常任理事他) 第 1 回理事会 (会長他) 第 3 回全理事協議会 (会長他) 医協理事・運営委員合同協議会 (河野理事長他) | 15 | 医協通常総代会 (河野理事長他) 県医連執行委員会 (河野委員長他) 県医定例代議員会 (会長他) 県医総会 (会長他) |
| 5 | (東京) 全国医師国保組合連合会代表者会 (秦理事長) 日本産科婦人科学会専門医制度地方委員会 (嶋本理事) | 18 | 山下寿県議への羽生田後援会支援依頼 (会長) 県移植推進財団評議員会 (会長) 第 5 回常任理事協議会 (会長他) |
| 6 | (日医) 日医産業保健委員会 (佐々木常任理事) 宮大医学部附属病院マッチング説明会 & 県内基幹型臨床研修病院説明会 (会長他) | 20 | 園医部会理事会 (山村副会長他) 医師国保組合定例事務監査 (秦理事長他) |
| 7 | (東京) 地域医療構想アドバイザー会議 (金丸常任理事) (日医) 日医公衆衛生委員会 (吉田常任理事) 県医医学会役員会 (TV会議) (会長他) | 21 | (小林市) 西諸医師会定時総会 広報委員会 (荒木常任理事他) |
| 8 | (都城古川事務所) 総合確保基金古川衆議院議員への要望 (会長) 産業医研修会 (佐々木常任理事) (日向市) 日向市東白杵郡医師会総会 | 22 | 県小児科医会子ども健康セミナー (高村常任理事) 宮崎市郡医師会総会 (東京) 九州ブロック日医代議員連絡会議懇談会 (会長他) |
| 9 | (東京) 全国有床診療所連絡協議会常任理事会 (会長) (東京) 全国有床診療所連絡協議会役員会 (会長) | 23 | 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 (石川常任理事) (日医) 九州ブロック日医代議員連絡会議 (会長他) (日医) 日医定例代議員会 (会長他) (千葉) レジナビフェア (金丸常任理事) |
| 10 | 病院部会・医療法人部会総会 (池井常任理事他) 県アイバンク協会理事会 (会長) | 24 | 宮崎市郡医師会予防接種勉強会 (TV会議) (西都市) 西都市・西見湯医師会総会 |
| 11 | 県警察医会協議会 | 25 | 医協理事会 (山村副理事長他) 第 4 回全理事協議会 (濱田副会長他) 医協理事・運営委員合同協議会 (山村副理事長他) 羽生田たかし参議院議員国政報告会 (会長他) 各郡市医師会長協議会 (会長他) |
| 12 | 都道府県医師会医師偏在対策・働き方改革担当理事連絡協議会 (日医TV会議) (池井常任理事他) | 26 | 宮大経営協議会・学長選考会議 (会長) 労災診療指導委員会 (川野理事) |
| | | 27 | 社会保険医療担当者の新規個別指導 (荒木常任理事) (高鍋町) 児湯医師会総会 |
| | | 28 | 勤務医部会総会・前期講演会 (岩村理事) |
| | | 29 | 県専門医プログラム合同説明会 (会長他) |

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

追 悼 の こ と ば

西都市西児湯医師会
函 師 鎮 雄 先生
(大正14年10月29日生 93歳)

弔 辞

本日、ここに、今は亡き、故 函師鎮雄先生の告別式が執り行われるにあたり、西都市西児湯医師会を代表いたしまして、先先生のご霊前に謹んでお別れの言葉を申し上げます。



先生はかねてより療養中のところ令和元年5月15日午後4時24分、ご逝去されたとの突然の悲報に驚愕し、会員一同、深い悲しみに包まれているところでございます。

享年93歳にして先生は遼遠なる安息の地へと旅立ってしまわれました。

私ども医師会の重鎮として会員が等しく尊敬申し上げます先生をここに失ったことは、誠に痛恨の極みであり、長寿を全うされたとはいえ、奥様、ご子息をはじめ、ご親族の皆様のご心中如何ばかりかとお察し申し上げ、心から哀悼の意を表する次第でございます。

思い起こせば先生は、大正14年10月29日宮崎県西都の地で、この世に生を享けられ、幼少にしてその才誉れ高く、長ずるに及び医学の道に志をたてられ熊本大学医学専門部に進まれました。昭和23年3月ご卒業され、同医大附属病院に勤務されました。昭和24年5月熊本大学産婦人科教室研究員となられ、昭和28年4月には文部教官を拝命されました。昭和29年7月に文

部教官を辞されて西都市妻町に函師医院を開設され、長年にわたり地域医療に貢献された後、平成27年に自宅会員になりました。

この間、学校医として児童生徒の健康管理、保健指導にも積極的に意を注がれ、平成4年には宮崎県医療功労者知事表彰、平成16年には宮崎県公衆衛生事業功労者表彰、平成17年11月に旭日双光章を受章されるなど輝かしい功績を残されておられます。

昭和29年から平成6年の40年間で1万2,300件の分娩に携われ、先生の温厚誠実なお人柄は、地域住民にも敬愛され厚く信望を集めておられました。

ご多忙な診療の傍ら当医師会におかれましても、昭和38年から昭和63年までの26年間当医師会監事、理事並びに会長を務められ、医師会や西都市医師会立救急病院の院長として数々の業務運営に力を注がれました。また、初代西都ロータリークラブの会長としてもご活躍されたと伺っております。

函師先生、惜別の情尽くしえませんが、先生の長年のご功績、ご功労に敬意と感謝を表しつつ、心からご冥福を申し上げ、私ども会員一同微力ながら地域医療の発展に努めることをお誓いし、お別れの言葉といたします。

函師鎮雄先生、どうぞ安らかにお眠りください。

令和元年5月18日

一般社団法人 西都市西児湯医師会
会長 松本英裕

追 悼 の こ と ば

都城市北諸県郡医師会
永野由起先生
(昭和47年4月17日生 47歳)

弔 辞

本日ここに、今は亡き永野由起先生のご葬儀が執り行われるにあたり、都城市北諸県郡医師会を代表いたしまして、謹んで先生のご霊前に哀悼の意を表し、お別れの言葉を申し上げます。



先生は、一年程前にご病気が判り、治療に専念されているとお聞きいたしましたので、私ども会員一同、一日も早いご回復を念じておりました。

しかし、先生はご主人やご家族、医療スタッフの手厚い看護にもかかわらず、去る5月11日の午後4時28分に帰らぬ人となりました。突然の訃報を受け、にわかには信じられず、驚く他ありませんでした。

先生急逝の知らせは、程なく全会員に伝えられ、会員一同、深い悲しみに包まれているところでございます。

ましてや、ご主人をはじめ、ご家族、ご遺族の皆様方のお悲しみは、如何ばかりかとお察し申し上げます。会員一同、心より哀悼の意を表する次第でございます。

先生は、昭和47年4月17日、四人兄弟の末っ子として、地元都城市にてお生まれになりました。長じて医学の道を志し、平成10年に宮崎医科大学医学部をご卒業、同校医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科に入局され、実地修練を積み、医師としてのスタートをきられました。その後、宮崎大学医学部附属病院、宮崎県立日南

病院、沖縄県立八重山病院に勤務され、平成17年6月に宮崎医科大学医学部耳鼻咽喉科助手、平成20年1月には助教に命ぜられ、平成25年6月からは、現在の都城医療センターにて研鑽を積み重ねました。そして、平成26年9月には地域医療に貢献されるべく、都城市千町に「いわよし耳鼻咽喉科クリニック」を開業され、以来、医師として今日まで、地域住民の医療、保健、福祉の向上に貢献をされてこられました。その丁寧で、優しい診療態度は多くの患者さんから慕われ、我々の手本とするものでした。

先生は、多忙な診療の傍ら、複数の小学校・中学校・高等学校、そして、都城さくら聴覚支援学校で学校医を務められ、児童生徒の健康管理、保健衛生に精力的に取り組まれました。

また、看護師の養成にも積極的に取り組まれ、都城看護専門学校の講師も務めておられました。

一方、診療を離れると先生は、日本舞踊がお好きで、腕前は花柳流の名取で、いずれ師範の資格を取る夢を持っておられたとお聞きしております。

また、手先が器用で、洋裁を趣味にしておられ、お子様の洋服や甚平などをよく作っておられたとも伺っております。

先生、これからは、遥か彼方より、ご家族の安泰とご繁栄、お子様の成長、そして、医師会の発展を末永く見守りください。

最後に、先生がこれまで地域医療に捧げられましたご功績に対し、深い尊敬と感謝の念を表し、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げ、お別れの言葉といたします。

令和元年5月14日

一般社団法人 都城市北諸県郡医師会
会長 田口 利文

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和元年6月6日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 6人

1) 男性医師求職登録数 6人 (人)

| 希望診療科目 | 求職数 | 常勤 | 非常勤 |
|--------|-----|----|-----|
| 内科 | 4 | 2 | 2 |
| 麻酔科 | 1 | 0 | 1 |
| 老年健 | 1 | 1 | 0 |

2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

| 希望診療科目 | 求職数 | 常勤 | 非常勤 |
|--------|-----|----|-----|
| | 0 | 0 | 0 |

2. 斡旋成立件数 72人 (人)

| | 男性医師 | 女性医師 | 合計 |
|------------|------|------|----|
| 令和元年度 | 1 | 1 | 2 |
| 平成16年度から累計 | 51 | 21 | 72 |

3. 求人登録 97件 358人 (人)

| 募集診療科目 | 求人数 | 常勤 | 非常勤 | 募集診療科目 | 求人数 | 常勤 | 非常勤 |
|------------|-----|----|-----|----------|-----|-----|-----|
| 内科 | 104 | 81 | 23 | 消化器外科 | 4 | 2 | 2 |
| 外科 | 30 | 24 | 6 | 乳腺外科 | 3 | 3 | 0 |
| 整形外科 | 30 | 24 | 6 | 健診 | 8 | 5 | 3 |
| 精神科 | 14 | 13 | 1 | 泌尿器科 | 4 | 2 | 2 |
| 脳神経外科 | 12 | 8 | 4 | 産婦人科 | 1 | 1 | 0 |
| 循環器科 | 11 | 8 | 3 | 検診 | 3 | 1 | 2 |
| 消化器内科 | 16 | 13 | 3 | 皮膚科 | 5 | 2 | 3 |
| 麻酔科 | 16 | 12 | 4 | 婦人科 | 2 | 2 | 0 |
| 眼科 | 10 | 7 | 3 | 呼吸器外科 | 4 | 3 | 1 |
| 放射線科 | 12 | 11 | 1 | 人工透析 | 7 | 5 | 2 |
| 小児科 | 4 | 2 | 2 | リウマチ科 | 1 | 1 | 0 |
| 呼吸器科 | 3 | 3 | 0 | 臨床病理科 | 1 | 1 | 0 |
| 在宅診療 | 2 | 2 | 0 | 形成外科 | 2 | 1 | 1 |
| 総合診療科・内科 | 5 | 4 | 1 | 診療科目不問 | 3 | 3 | 0 |
| 神経内科 | 8 | 6 | 2 | 緩和ケア | 1 | 1 | 0 |
| 呼吸器内科 | 10 | 9 | 1 | 内分泌糖尿病内科 | 2 | 2 | 0 |
| リハビリテーション科 | 4 | 4 | 0 | その他 | 7 | 6 | 1 |
| 救命救急科 | 9 | 9 | 0 | 合計 | 358 | 281 | 77 |

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

| 登録番号 | 施設名 | 所在地 | 募集診療科 | 求人数 | 勤務形態 |
|--------|---------------------------|-----|------------------------------|-----|--------|
| 160011 | 赤十字センター | 宮崎市 | 検診 | 3 | 常勤・非常勤 |
| 160013 | 医)三晴会 金丸脳神経外科病院 | 宮崎市 | 脳外,整,放,麻,内 | 9 | 常勤・非常勤 |
| 160017 | 医)プレストピアプレストピア宮崎病院 | 宮崎市 | 乳外,放,麻 | 3 | 常勤 |
| 160020 | 財)弘潤会 野崎病院 | 宮崎市 | 精,内 | 2 | 常勤 |
| 160031 | 社医)同心会 古賀総合病院 | 宮崎市 | 呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内 | 9 | 常勤 |
| 160033 | 医)如月会 若草病院 | 宮崎市 | 精 | 1 | 常勤 |
| 170046 | 医)社団善仁会 市民の森病院 | 宮崎市 | 消内,内分泌内,呼内,リウ, 神内,健診 | 9 | 常勤・非常勤 |
| 170048 | 医)慶明会 けいめい記念病院 | 国富町 | 内,放 | 2 | 常勤 |
| 180082 | 国立病院機構宮崎東病院 | 宮崎市 | 内,神内,整,消内,腫内 | 5 | 常勤 |
| 190087 | 宮崎市郡医師会病院 | 宮崎市 | 消内,呼内,総診 | 6 | 常勤 |
| 190094 | 医)耕和会 迫田病院 | 宮崎市 | 内,外 | 2 | 常勤 |
| 190095 | 医)慶明会 宮崎中央眼科病院 | 宮崎市 | 眼 | 1 | 常勤 |
| 200104 | 医)社団善仁会 宮崎善仁会病院 | 宮崎市 | 内,外,救急,呼外,婦人,整,麻 | 12 | 常勤 |
| 200105 | 医)誠友会 南部病院 | 宮崎市 | 外,内,放 | 3 | 常勤 |
| 210110 | 医)幸秀会 大江整形外科病院 | 宮崎市 | 整 | 1 | 常勤 |
| 210128 | 医)真愛会 高宮病院 | 宮崎市 | 精 | 2 | 常勤 |
| 230134 | 医)慈光会 宮崎若久病院 | 宮崎市 | 精 | 2 | 常勤 |
| 230139 | 介護老人保健施設 サンフローラみやざき | 国富町 | 内,外 | 2 | 常勤 |
| 230143 | 医)社団孝尋会 上田脳神経外科 | 宮崎市 | 脳外,内 | 2 | 常勤 |
| 230144 | 宮崎生協病院 | 宮崎市 | 呼内,消内,健診,麻 | 7 | 常勤・非常勤 |
| 230146 | 財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院 | 宮崎市 | 内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和 | 13 | 常勤 |
| 230148 | 医)コムロ美容外科 | 宮崎市 | 美外,形成外,外,麻 | 8 | 常勤・非常勤 |
| 230161 | 医)健心会 滝口内科医院 | 宮崎市 | 内,皮 | 2 | 非常勤 |
| 230164 | 宮崎県保健所 | 宮崎市 | 公衆衛生 | 3 | 常勤 |
| 230175 | 社会福祉法人 キャンパスの会 | 宮崎市 | 内,小,整(いずれか) | 1 | 常勤 |
| 230177 | 医)社団尚成会 近間病院 | 宮崎市 | 内,消内,消外,放(いずれか) | 1 | 常勤 |
| 230178 | 介護老人保健施設 むつみ苑 | 宮崎市 | 内 | 1 | 常勤 |
| 230180 | 一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院 | 宮崎市 | 内,糖内,呼内,血内 | 4 | 常勤 |
| 230184 | グリーンケア学園木花台 | 宮崎市 | 内 | 1 | 非常勤 |
| 230185 | 医)朋詠会 獅子目整形外科病院 | 宮崎市 | 整,内 | 2 | 常勤 |
| 230193 | 医)共生会 杉田眼科医院 | 宮崎市 | 眼 | 1 | 非常勤 |
| 230194 | 医)財団シロアム 新城眼科医院 | 宮崎市 | 眼 | 2 | 常勤 |
| 230196 | 医)社団高信会 辰元病院 | 高岡町 | 内 | 1 | 常勤 |
| 160010 | 特医)敬和会 戸嶋病院 | 都城市 | 内,消内,整,神内 | 7 | 常勤・非常勤 |
| 160018 | 医)宏仁会 メディカルシティ東部病院 | 都城市 | 内,放,脳外,外,眼,透,皮,腎内 | 22 | 常勤・非常勤 |
| 170057 | 医)清陵会 隅病院 | 都城市 | 内,外,整 | 3 | 常勤 |
| 180064 | 国立病院機構都城医療センター | 都城市 | 呼内,総診,消内,腫内 | 4 | 常勤 |
| 180081 | 医)恵心会 永田病院 | 都城市 | 精 | 2 | 常勤・非常勤 |
| 190092 | 都城市郡医師会病院 | 都城市 | 内,呼内,消内 | 5 | 常勤 |
| 210114 | 藤元病院 | 都城市 | 精,内 | 3 | 常勤 |
| 230127 | 医)倫生会 三州病院 | 都城市 | 消内,消外,乳外 | 5 | 常勤・非常勤 |
| 230137 | 医)宏仁会 海老原内科 | 都城市 | 内 | 1 | 常勤 |
| 230142 | 医)魁成会 宮永病院 | 都城市 | 内,リハ | 2 | 常勤 |
| 230153 | 都城健康サービスセンター | 都城市 | 放,消内 | 1 | 常勤 |

| 登録番号 | 施設名 | 所在地 | 募集診療科 | 求人数 | 勤務形態 |
|--------|-----------------------|------|-----------------------|-----|--------|
| 230162 | 藤元総合病院 | 都城市 | 内,透,循内,救急,放,呼内 | 12 | 常勤 |
| 230172 | 医)静雄会 藤元上町病院 | 都城市 | 内 | 2 | 常勤 |
| 230179 | 医)与州会 柳田病院 | 都城市 | 外 | 1 | 常勤 |
| 230181 | 介護老人保健施設 はまゆう | 三股町 | 内 | 1 | 常勤 |
| 230183 | 医)恵心会 坂元医院 | 都城市 | 消内,老人内,内 | 5 | 常勤・非常勤 |
| 230191 | 医)森山内科・脳神経外科 | 都城市 | 内 | 1 | 非常勤 |
| 230192 | 医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院 | 都城市 | 内 | 1 | 常勤・非常勤 |
| 230199 | 医)社団アブラハムクラブベテスタクリニック | 都城市 | 糖尿内,心内 | 2 | 常勤 |
| 230202 | 医)啓仁会 城南病院 | 都城市 | 内 | 1 | 常勤 |
| 160012 | 医)伸和会 共立病院 | 延岡市 | 外,整,放,内 | 6 | 常勤 |
| 160021 | 医)建悠会 吉田病院 | 延岡市 | 精,内 | 3 | 常勤・非常勤 |
| 160034 | 特医)健寿会 黒木病院 | 延岡市 | 消内,消内 | 4 | 常勤・非常勤 |
| 190086 | 早田病院 | 延岡市 | 消内,循内 | 2 | 常勤 |
| 200100 | 医)育生会 井上病院 | 延岡市 | 産婦,内,小 | 3 | 常勤・非常勤 |
| 200102 | 延岡市医師会病院 | 延岡市 | 消内,消外,内 | 3 | 常勤 |
| 210109 | 延岡市夜間急病センター | 延岡市 | 内,小 | 2 | 非常勤 |
| 230156 | 医)中心会 野村病院 | 延岡市 | 内,外 | 2 | 常勤 |
| 230186 | 医)隆誠会 延岡保養園 | 延岡市 | 精 | 1 | 常勤 |
| 230189 | 特医)健腎会 おがわクリニック | 延岡市 | 泌,透 | 4 | 常勤・非常勤 |
| 160039 | 医)誠和会 和田病院 | 日向市 | 外,整 | 4 | 常勤 |
| 210111 | 宮崎県済生会 日向病院 | 門川町 | 内,麻 | 3 | 常勤 |
| 230147 | 美郷町国民健康保険西郷病院 | 美郷町 | 内,整 | 2 | 常勤 |
| 230152 | 美郷町国民健康保険南郷診療所 | 美郷町 | 内,整 | 2 | 常勤 |
| 230160 | 日向市立東郷病院 | 日向市 | 内,整 | 2 | 常勤 |
| 230200 | 医)おざきメディカルアソシエイツ尾崎眼科 | 日向市 | 眼 | 1 | 常勤・非常勤 |
| 230201 | 医)洋承会 今給黎医院 | 日向市 | 内,循内 | 2 | 常勤 |
| 160006 | 都農町国保病院 | 都農町 | 内,放,外,健診 | 5 | 常勤・非常勤 |
| 160023 | 医)宏仁会 海老原総合病院 | 高鍋町 | 内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診 | 13 | 常勤・非常勤 |
| 230187 | 国立病院機構宮崎病院 | 川南町 | 呼内,循内,糖尿内,神内,小,整 | 12 | 常勤・非常勤 |
| 160024 | 医)隆徳会 鶴田病院 | 西都市 | 内 | 1 | 常勤 |
| 150002 | 医)慶明会 おび中央病院 | 日南市 | 内 | 4 | 常勤・非常勤 |
| 150003 | 医)同仁会 谷口病院 | 日南市 | 内 | 1 | 非常勤 |
| 160022 | 医)愛鍼会 山元病院 | 日南市 | 内 | 1 | 常勤 |
| 160037 | 医)十善会 県南病院 | 串間市 | 精,内 | 2 | 常勤 |
| 170047 | 日南市立中部病院 | 日南市 | 内,外,整,在宅 | 4 | 常勤 |
| 180071 | 串間市民病院 | 串間市 | 内,外,総診,消内,腎内 | 5 | 常勤 |
| 230149 | 介護老人保健施設 おびの里 | 日南市 | 内 | 1 | 常勤 |
| 230166 | 医)秀英会 介護老人保健施設 長寿の里 | 串間市 | 内 | 1 | 常勤 |
| 230168 | 医)月陽会 きよひで内科クリニック | 日南市 | 内 | 7 | 常勤・非常勤 |
| 230188 | 医)春光会 日南春光会病院 | 日南市 | 外,内 | 4 | 常勤・非常勤 |
| 230198 | 小玉共立外科 | 日南市 | 不問 | 2 | 常勤・非常勤 |
| 160019 | 医)相愛会 桑原記念病院 | 小林市 | 内,皮 | 4 | 常勤・非常勤 |
| 170043 | 医)和芳会 小林中央眼科 | 小林市 | 眼 | 2 | 常勤・非常勤 |
| 180067 | 小林市立病院 | 小林市 | 救急,総診,放,麻 | 6 | 常勤 |
| 180076 | 医)けんゆう会 園田病院 | 小林市 | 外,循内,整,脳外 | 9 | 常勤・非常勤 |
| 190090 | 特医)浩然会 内村病院 | 小林市 | 精 | 1 | 常勤 |
| 190091 | 医)友愛会 野尻中央病院 | 小林市 | 整,内,脳外 | 6 | 常勤・非常勤 |
| 230167 | 介護老人保健施設 さわかセンター | 小林市 | 内 | 1 | 非常勤 |
| 230169 | 医)連理会 和田クリニック | 小林市 | 内 | 2 | 常勤 |
| 230197 | 医)友光会 整形外科押領司病院 | 小林市 | 整,内,麻 | 5 | 常勤・非常勤 |
| 170049 | 五ヶ瀬町国民健康保険病院 | 五ヶ瀬町 | 内,外 | 2 | 常勤 |
| 180070 | 高千穂町国保病院 | 高千穂町 | 内,透 | 3 | 常勤 |
| 190088 | 日之影町国保病院 | 日之影町 | 内,外(いずれか) | 1 | 常勤 |

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡, 賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和元年6月6日現在

| | | |
|-----------------|--|------------------------------|
| 1. 譲渡物件 | ① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ:2,022.17㎡ (612.77坪) | 所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック |
| | ② 西都市中央町2丁目6番地 土地:2,280.83㎡ (691.16坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 2階 547.79㎡ } 1,400.48㎡ (424.38坪) 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり(20台) | 所有者:西都市西児湯医師会員 図師医院跡 |
| | ③ 小林市細野59-1 土地:1,098.23㎡ (322.79坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 188.00㎡ } 2階 96.00㎡ } 284.00㎡ (86.06坪) ※駐車場あり(29台) | 所有者:西諸医師会員 (医) 桑原皮膚科医院跡 |
| 2. 譲渡又は 賃貸物件 | ① 小林市南西方49番地1 土地:1,991.34㎡ (603.43坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 2階 638.35㎡ } 1,109.76㎡ (336.29坪) ※駐車場あり(30台) | 所有者:(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック跡 |
| | ② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地:4,449㎡ (1,348.18坪) 建物:鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台) | 所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック |
| 3. 賃貸物件 | ① 延岡市無鹿町1丁目710 土地:1,654.58㎡ (501.38坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ } 2階 338.70㎡ } 829.40㎡ (251.33坪) 3階 330.69㎡ } 4階 14.25㎡ } ※駐車場あり(50台) | 所有者:(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡 |
| | ② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地:875㎡ (265.15坪) 建物:木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり(20台) | 所有者:西臼杵郡医師会員 後藤医院跡 |

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoun@mizazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会行事予定表

令和元年 6月25日

| 7 | | 月 | | | | | | | |
|-------|----|------------------------|--|---|-------------------------|---|---|---|---------------------|
| 1 | 月 | 14:00 | DV被害者保護支援ネットワーク会議 | 15 | 月 | (海の日) | | | |
| 2 | 火 | 18:30 19:00 | 第5回全理事協議会 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会 | 16 | 火 | 13:30 18:00 19:00 | 県後期高齢者医療広域連合運営懇話会 治験審査委員会 第6回常任理事協議会 | | |
| 3 | 水 | | | 17 | 水 | 16:45 | みやざき子育てサポート事業サポート会員養成講座 宮崎市郡医師会7月例会並びに特別講演会 | | |
| 4 | 木 | | | | | | | | |
| 5 | 金 | 17:15 | (佐賀)九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議 宮崎県糖尿病・慢性腎臓(CKD)対策検討会 | 18 | 木 | 13:00 | (東京)日医医師会将来ビジョン委員会AIに関する勉強会 | | |
| | | 18:30 | | | | | | | |
| 6 | 土 | 14:00 | (佐賀)九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会 (京都)臨床研修屋根瓦塾KYOTO 県外科医会理事会 県整形外科医会理事・評議員会 15:30 県整形外科医会総会 15:30 県外科医会総会 16:10 労災部会総会 17:00 県外科医会・県整形外科医会・労災部会合同学会 | 19 | 金 | | ↑ 国 保 審 査 ↓ | | |
| | | 14:00 | | 20 | 土 | 16:00 | | (福岡)九州医師協同組合連合会購買・保険部会 | |
| | | 15:00 | | 21 | 日 | 9:00 | | 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 | |
| | | 15:30 | | 22 | 月 | 15:30 19:00 19:00 | | 県精神科救急医療システム連絡調整委員会 広報委員会 医師国保組合通常組合会 | |
| | | 16:10 | | | 23 | 火 | | 18:15 19:00 | 医協理事会 第7回常任理事協議会 |
| | | 17:00 | | | 24 | 水 | | 14:00 | (日医)日医小児在宅ケア検討委員会 |
| 7 | 日 | 9:30 10:00 11:15 | (佐賀)九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会 (大阪)レジナビフェア (福岡)全国有床診療所連絡協議会九州ブロック役員会 | 25 | 木 | 13:00 15:00 | (日医)マスギャザリング災害対策セミナー (日医)日医予防接種・感染症危機管理対策委員会 | | |
| 8 | 月 | | | 26 | 金 | 13:00 13:00 | 自民党連国・県に対する要望ヒアリング (東京)九州各県アイバンク連絡協議会・全国アイバンク連絡協議会 | | |
| 9 | 火 | 15:00 19:00 | 県地域医療対策協議会 県総合政策部との意見交換会 | | | | | | |
| 10 | 水 | 12:00 | 女性医師交流会 支払基金幹事会 広報委員会 県有床診療所協議会役員会 | 27 | 土 | 12:00 | (群馬)全国有床診療所連絡協議会常任委員会 協議会役員会 13:30 (宮城)男女共同参画フォーラム 14:00 (群馬)全国有床診療所連絡協議会総会・講演会 14:10 (広島)中四九地区医師会看護学校協議会 | | |
| | | 16:30 | | | | 28 | | 日 | 9:00 9:00 |
| 19:00 | 11 | 木 | 14:00 18:30 19:30 20:30 | (日医)日医学術推進会議 社会保険医療担当者(医科)の新規集団指導 県産婦人科医会常任理事会 新規保険医療機関への説明会 | | | | | |
| 19:00 | | 12 | 金 | | 14:00 14:30 19:00 | (日医)日医勤務医委員会 (日医)日医医師会共同利用施設検討委員会 医師国保組合理事会 | | | |
| 13 | 土 | | 11:30 | 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総会・研修会 16:00 (佐賀)九医連常任委員会 16:50 (佐賀)九州医連連絡会常任執行委員会 | 29 | | 月 | | ↓ |
| | | 13:30 | 14 | | 日 | 9:00 | (佐賀)九医連常任委員会視察 | | |
| 14 | 日 | 9:00 | | (佐賀)九医連常任委員会視察 | 30 | 火 | 14:30 18:00 | 県がん診療連携協議会 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 | |
| | | 16:00 | 31 | | 水 | 15:00 | 労災診療指導委員会 | | |

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧いただけます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和元年6月25日

| | | 8 月 | | | | | | |
|----|---|--------|------------------------------------|----|---|-------|---|----------------------------|
| 1 | 木 | 15:00 | 県地方独立行政法人評価委員会 | 17 | 土 | 13:30 | 県訪問看護ステーション連 絡協議会総会・研修会 | ↑ 国 保 審 査 ↓ |
| | | 19:00 | 宮崎の医療を考える会（若手記 者と広報委員会との懇談会） | | | | | |
| 2 | 金 | 15:00 | （日医）日医公衆衛生委員会 | | | 14:30 | 学校医部会総会・医学会 （熊本）九州地区医師国保組 合連合会全体協議会 | |
| 3 | 土 | 15:00 | （大分）九州学校検診協議会専 門委員会 | 18 | 日 | | | |
| | | 16:00 | （大分）九医連常任委員会 | 19 | 月 | | | |
| | | 17:00 | （大分）九州学校検診協議会幹事会 | 20 | 火 | 19:00 | 第9回常任理事協議会（予定） | |
| | | 18:00 | （大分）九州各県学校保健担当 理事者会 | 21 | 水 | 19:00 | 広報委員会 | |
| 4 | 日 | 9:00 | （大分）九州ブロック学校保健・ 学校医大会/九州学校検診協議会 | 22 | 木 | | | |
| | | 12:30 | （大分）九医連学校医会評議員 会・総会 | 23 | 金 | 17:30 | 地域医療構想に関する研修 会～療養病床の転換の選択 肢としての介護医療院につ いて～（TV会議） | |
| 5 | 月 | 13:30 | 県総合計画審議会及び県地方創 生推進懇話会 | | | | | |
| 6 | 火 | 18:00 | 治験審査委員会 | 24 | 土 | 16:00 | （日医）日医医師会将来ビジョ ン委員会 | ↑ 社 保 審 査 ↓ |
| | | 19:00 | 第8回常任理事協議会（予定） | | | | | |
| 7 | 水 | 16:00 | 支払基金幹事会 | | | | | |
| 8 | 木 | 19:30 | 県産婦人科医会全理事会 | 25 | 日 | | | |
| 9 | 金 | 19:00 | 認知症サポート医・かかりつけ医 スキルアップ研修会（TV会議） | | | | | |
| 10 | 土 | 9:00 | 医療メディエーター研修会（基 礎編） | 26 | 月 | 18:00 | 九州地方社会保険医療協議 会宮崎部会 | |
| | | 13:00 | 県災害医療コーディネート研修会 | | | 18:00 | 医協理事会 | |
| 11 | 日 | （山の日） | | 27 | 火 | 18:30 | 第6回全理事協議会（予定） 終了後 | |
| | | 9:00 | 医療メディエーター研修会（基 礎編） | | | | | |
| | | 9:00 | 県災害医療コーディネート研修会 | 28 | 水 | 15:00 | 労災診療指導委員会 | |
| 12 | 月 | （振替休日） | | 29 | 木 | 19:00 | 損保ジャパン日本興亜との懇談会 | |
| 13 | 火 | | | 30 | 金 | | | |
| 14 | 水 | | | | | 15:00 | 在宅医療協議会総会・研修会 | |
| 15 | 木 | | | | | 16:00 | （佐賀）九医連常任委員会 | |
| 16 | 金 | | | 31 | 土 | 17:00 | （佐賀）九医連定例委員総会 | |
| | | 18:30 | 県外科医会夏期講演会 | | | | | 18:00 |

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

| 名称・日時・場所 | 演 題 | CC (単位) がん検診 | 主催・共催・後援 ※ = 連絡先 |
|---|---|--|---|
| 佐土原地区医師会 学術講演会 7月3日(水) 19:00~20:15 シーガイアコンベンションセンター | 症例検討会：糖尿病診療と脂質異常症 －特に中性脂肪管理を考える－ 宮崎大学医学部 内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野 学部講師 上野 浩晶 他 | 75 (0.5) 76 (0.5) | ◇主催 佐土原地区医師会 ◇共催 ※興和(株) ☎0985-24-8175 |
| 宮崎県医師会産業 医研修会 7月4日(木) 19:00~21:00 県医師会館 | 温熱環境等の労働衛生管理について 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位 | 1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5) | ◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会 |
| アレルギー治療研 究会 7月4日(木) 19:00~20:00 KITEN | 蕁麻疹の診断と治療 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座皮膚科学分野 助教 成田 幸代 | 24 (0.5) 26 (0.5) | ◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※大鵬薬品工業(株) ☎0985-27-4527 ◇後援 宮崎県医師会 |
| 令和元年度心臓検 診二次検討会（後 期） 7月5日(金) 19:00~21:00 日向市東臼杵郡医 師会館 | 症例検討会 なかむら内科循環器内科 院長 中村 剛之 | 11 (0.5) 33 (0.5) 43 (0.5) 44 (0.5) | ◇主催 日向市東臼杵郡医師 会心臓検診班 ◇後援 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 |

| 名称・日時・場所 | 演 題 | CC (単位) がん検診 | 主催・共催・後援 ※ = 連絡先 |
|--|--|----------------------------|--|
| 宮崎市郡内科医会 学術講演会 7月5日(金) 19:30~20:30 MRT-micc | 脳梗塞と心房細動ー見えてきたエドキサバンの実力ー 湘南慶育病院 副院長・脳神経センター長 寺山 靖夫 | 30 (0.5) 45 (0.5) | ◇主催 宮崎市郡内科医会 ◇共催 第一三共(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434 |
| 第5回宮崎がんの リハビリテーション 研修会(2日間) 7月6日(土) 9:00~18:10 県立宮崎病院 参加費:100,000円 (一施設あたり) | がんのリハビリテーションの概要 日南市立中部病院 リハビリテーション科 鈴木 幹次郎 | 9 (1.0) | ◇主催 宮崎がんのリハビリ テーション研修会実 行委員会 ◇後援 宮崎県 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県理学療法士会 宮崎県作業療法士会 宮崎県言語聴覚士会 (連絡先) 日南市立中部病院リハ ビリテーションセンター ☎0987-27-1182 |
| | 周術期リハビリテーション ー乳がん, 頭頸部がん, 開胸・開腹術, 脳腫瘍ー 宮崎市立田野病院 宮崎善仁会病院 理学療法士 藤元総合病院 理学療法士 | 24 (0.5) 45 (1.0) | 黒木 洋美 佐藤 萌都子 手島 建夫 |
| | 化学療法・放射線療法の合併症とリスク管理 血液腫瘍, 造血幹細胞移植に対するリハビリテーション 慶應義塾大学病院 | 19 (0.5) 62 (0.5) | 石川 愛子 |
| | 転移性骨腫瘍に対するリハビリテーション ADL・IADLに対するリハビリテーション 慶應義塾大学病院 医療法人社団秀博会 作業療法士 | 18 (0.5) 24 (0.5) | 石川 愛子 島崎 寛将 |
| 第4回日本臨床薬 理学会九州・沖縄 地方会 7月6日(土) 10:00~17:00 宮崎観光ホテル 参加費:3,000円 | Physical Medicineの臨床薬理学 ー新たな予防・治療アプローチー 熊本大学 生命科学遺伝子機能応用学 教授 甲斐 広文 | 76 (1.0) | ◇主催 日本臨床薬理学会 ◇後援 日本薬理学会 (連絡先) 宮崎大学医学部附属病院 ☎0985-85-1512 |

| 名称・日時・場所 | 演 題 | CC (単位) がん検診 | 主催・共催・後援 ※ = 連絡先 |
|--|---|---|--|
| 宮崎県外科医会・ 宮崎県整形外科医 会・宮崎県医師会 労災部会合同学会 7月6日(土) 17:00~18:00 県医師会館 | 医師・医療現場の働き方改革について －医師の健康管理と地域医療への影響－ 日本医師会 常任理事 松本 吉郎 | 7 (1.0) | ◇主催 ※宮崎県医師会労災部会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県外科医会 宮崎県整形外科医会 |
| 第5回宮崎がんの リハビリテーション 研修会(2日間) 7月7日(日) 9:00~16:30 県立宮崎病院 参加費:100,000円 (一施設あたり) | がん患者の摂食・嚥下障害, コミュニケーション障 害, 口腔ケア 藤元総合病院 言語聴覚士 岩村 秀世 日南市立中部病院 言語聴覚士 横山 茂幹 | 34 (0.5) 47 (0.5) | ◇主催 宮崎がんのリハビリ テーション研修会実 行委員会 ◇後援 宮崎県 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県理学療法士会 宮崎県作業療法士会 宮崎県言語聴覚士会 (連絡先) 日南市立中部病院リハ ビリテーションセンター ☎0987-27-1182 |
| | がん患者の心理的問題 宮崎県立宮崎病院 精神科 並木 薫 | 69 (0.5) | |
| | 進行がん患者に対するリハビリテーション 宮崎市郡医師会病院 緩和ケア科 医長 内藤 明美 | 81 (1.0) | |
| | がんの悪液質に対するリハビリテーション 宮崎善仁会病院 理学療法士 吉田 裕一郎 | 18 (0.5) | |
| | リハビリテーションにおける看護師の役割(症例検討 含む) 訪問看護ステーション なでしこ3号館 看護師 中村 久美 | 10 (0.5) | |
| | 2019年度宮崎市特 定健診セミナー 7月9日(火) 19:00~20:35 宮崎観光ホテル | 特定健診における心電図実施の意義 名越医院 院長 名越 敏郎 心房細動の医療連携について 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 科長 足利 敬一 | |

| 名称・日時・場所 | 演 題 | CC (単位) がん検診 | 主催・共催・後援 ※ = 連絡先 |
|---|---|--|---|
| 宮崎県医師会産業 医研修会 7月10日(水) 19:00~21:00 県医師会館 | 企業における受動喫煙防止対策 産業保健相談員 宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位 | 9 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5) 82 (0.5) | ◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会 |
| かかりつけ医と精 神科医 -Medical Collaboration Forum2019- 7月11日(木) 18:50~20:35 宮崎観光ホテル 【TV会議場：未 来創造ステーショ ン，日南市テクノ センター，エンシ ティホテル延岡】 | 脂質異常症のみかた（仮） たまきクリニック 院長 玉置 昇 ----- 認知症患者における連携について（仮） 野崎病院 認知症疾患医療センター センター長 宇田川 充隆 | 75 (0.5) 29 (0.5) | ◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 宮崎県精神科医会 ※MSD(株) ☎0985-28-9496 |
| 第23回宮崎甲状腺 疾患研究会 7月12日(金) 19:00~20:30 宮崎観光ホテル 参加費：1,000円 | バセドウ病 診断と治療のポイント&ピットフォール …自験例を基に 隈病院 学術顧問 中村 浩淑 | 9 (0.5) 15 (0.5) | ◇主催 宮崎甲状腺疾患研究会 ◇共催 ※あすか製薬(株) ☎092-781-6551 |
| 第7回宮崎PEEC コースin延岡 7月13日(土) 13:00~17:00 延岡市医師会病院 | 救急現場における精神科的問題の初期対応 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座精神医学分野 講師 三好 良英 | 13 (1.0) 68 (1.0) 69 (1.0) 70 (1.0) | ◇主催 ※延岡市医師会 ☎0982-21-1300 ◇共催 日本臨床救急医学会 ◇後援 宮崎県 宮崎大学医学部臨床 神経科学講座 宮崎大学医学部附属病 院救命救急センター |

| 名称・日時・場所 | 演 題 | CC (単位) がん検診 | 主催・共催・後援 ※ = 連絡先 |
|---|--|-------------------------------------|---|
| 消化器疾患宮崎セミナー・宮崎木曜会夏季セミナー（胃・大腸がん検診研修会） 7月13日(土) 15:00～18:00 MRT-micc 参加費： 1,000円～5,000円 （会員区分による） | 逆流性食道炎の現状と課題（仮） 九州大学医学部 消化器内科 診療講師 | 伊原 栄吉 52 (0.5) 53 (0.5) | ◇主催 宮崎木曜会 ◇共催 ※武田薬品工業(株) ☎0985-24-6763 |
| | 難治性潰瘍性大腸炎治療のup to date 兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座内科部門 准教授 | 樋田 信幸 15 (1.0) | |
| | 遺伝性胃癌・大腸癌の病理と臨床 がん研有明病院 病理部 医長 | 河内 洋 1 (1.0) (胃) (大腸) | |
| 第84回宮崎大学眼科研究会 7月13日(土) 15:30～19:00 KITEN 参加費：2,000円 | 近視進行抑制の最先端 筑波大学 医学医療系眼科 講師 | 平岡 孝浩 36 (1.0) | ◇主催 ※宮崎大学医学部眼科学教室 ☎0985-85-2806 ◇共催 千寿製薬(株) |
| | ガイドラインから考える明日からの緑内障診療 熊本大学 生命科学研究部眼科学分野 教授 | 井上 俊洋 36 (1.0) | |
| 都城市北諸県郡医師会学術講演会 7月16日(火) 19:00～20:10 都城ロイヤルホテル | 糖尿病診療における脂質管理の重要性 熊本大学 生命科学研究部代謝内科学 准教授 | 松村 剛 75 (0.5) 76 (0.5) | ◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 MSD(株) バイエル薬品(株) |
| 宮崎県医師会産業医研修会 7月17日(水) 14:00～16:00 県医師会館 | 職場で起こりやすい適応障害・うつ病 産業保健相談員 宮崎大学医学部 名誉教授 生涯研修の現地研修会：2単位 | 鶴 紀子 1 (0.5) | ◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会 |
| | | 11 (0.5) | |
| | | 69 (0.5) | |
| | | 70 (0.5) | |

| 名称・日時・場所 | 演 題 | CC (単位) がん検診 | 主催・共催・後援 ※ = 連絡先 |
|---|--|--------------------------------|--|
| 宮崎市郡医師会7 月例会並びに特別 講演会 7月17日(水) 19:00~19:45 宮崎観光ホテル | 医療機関の承継対策セミナー 日本経営ウィル税理士法人 副部長 税理士 矢野 弘樹 | 0 (0.5) | ◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434 ◇共催 (株)宮崎銀行 |
| 西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 7月18日(木) 18:50~20:10 ガーデンベルズ小林 | 心房細動患者に対する抗凝固療法 -知りたいこと, 聞きたいこと- 香川県立白鳥病院 院長 坂東 重信 | 73 (0.5) 78 (0.5) | ◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 バイエル薬品(株) |
| 南那珂医師会生涯 教育医学会 7月19日(金) 18:50~20:00 南那珂医師会館 | 便秘の診療-慢性便秘症診療ガイドラインの解説- 宮崎大学医学部 内科学講座循環体液制御学分野 講師・病院教授 稲津 東彦 | 54 (1.0) | ◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 アステラス製薬(株) |
| 第5回宮崎臨床整 形外科セミナー 7月25日(木) 19:20~20:40 ホテルJALシティ 宮崎 参加費:500円 | 痛みの病態を意識した変形性関節症に対する治療戦略 熊本機能病院 部長 骨粗しょう症センター センター長 関節外科部門 部門長 清田 克彦 | 61 (0.5) 62 (0.5) | ◇主催 宮崎県臨床整形外科医会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 ※日本イーライリリー(株) ☎092-724-0450 塩野義製薬(株) |
| 第12回脂質異常症 と動脈硬化の治療 を考える会 7月30日(火) 19:00~20:30 宮崎観光ホテル | 高齢者における脂質異常症の治療 -EWTOPIA75試験の結果を踏まえて- 虎の門病院 院長 大内 尉義 他 | 23 (0.5) 75 (0.5) | ◇主催 脂質異常症と動脈硬 化の治療を考える会 ◇共催 MSD(株) ※バイエル薬品(株) ☎0120-077-552 |

| 名称・日時・場所 | 演 題 | CC (単位) がん検診 | 主催・共催・後援 ※ = 連絡先 |
|--|--|--------------------|---|
| 高齢女性の医療を 考える会 8月1日(木) 19:00~20:30 宮崎観光ホテル | 女性の健康寿命延伸を目指して ー骨粗鬆症診療の重要性とバゼドキシフェンの有用性ー ファイザー株式会社 骨粗鬆症エリア推進チーム 担当部長 江田 誉 | 77 (0.5) | ◇主催 ※宮崎県泌尿器科医会 ☎0985-85-2968 ◇共催 宮崎県内科医会 宮崎県産婦人科医会 ファイザー(株) |
| | 女性の排尿障害とUUI (切迫性尿失禁) 潤和会記念病院 泌尿器科 医長 上別府 豊治 | 65 (0.5) | |
| | 骨盤臓器脱の診断と治療について 潤和会記念病院 泌尿器科 部長 月野 浩昌 | 66 (0.5) | |
| 宮崎県医師会産業 医研修会 8月2日(金) 19:00~21:00 県医師会館 | 事例で学ぶ職場巡視のポイント 産業保健相談員 谷山 ゆかり 生涯研修の現地研修会: 2単位 | 1 (2.0) | ◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会 |
| 第30回宮崎リウマ チ医の会 8月3日(土) 15:00~18:10 MRT-micc 参加費: 1,000円 | 関節リウマチの診療中に直面する様々な問題 広島赤十字・原爆病院 リウマチ科 部長 澤部 琢哉 | 2 (0.5) | ◇主催 宮崎リウマチ医の会 ◇共催 ※旭化成ファーマ(株) ☎0985-28-2736 |
| | リウマチ上肢の人工関節置換術ー適応と実際ー 岡山大学 医歯薬学総合研究科整形外科学 准教授 西田 圭一郎 | 4 (0.5) | |
| | 関節リウマチの最新治療戦略 松原メイフラワー病院 院長 松原 司 | 61 (0.5) | |
| | | 62 (0.5) | |
| | | 10 (0.5) | |
| | | 19 (0.5) | |

| 名称・日時・場所 | 演 題 | CC (単位) がん検診 | 主催・共催・後援 ※ = 連絡先 |
|--|---|--|--|
| 宮崎県医師会産業 医研修会 8月7日(水) 19:00~21:00 県医師会館 | 作業環境関連疾患（腰痛・VDT障害）の予防と悪化防止 産業保健相談員 宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位 | 11 (0.5) 12 (0.5) 37 (0.5) 60 (0.5) | ◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会 |
| 第6回在宅医療推 進のための連携・ スキルアップ研修会 8月8日(木) 19:00~20:00 県医師会館 | 薬局としての在り方と今後の展望 岡元薬局 管理者 岡元 俊雄 | 80 (1.0) | ◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119 |
| 宮崎県医師会産業 医研修会 8月21日(水) 19:00~21:00 県医師会館 | 今日のうつ病の理解と対応 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究 生涯研修の現地研修会：2単位 | 1 (0.5) 5 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5) | ◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会 |
| 宮崎県医師会産業 医研修会 8月22日(木) 19:00~21:00 延岡市医師会病院 | 温熱環境等の労働衛生管理について 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位 | 1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5) | ◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会 |
| 佐土原地区医師会 学術講演会 8月22日(木) 19:00~20:10 シーガイアコンベン ションセンター | 健康寿命延伸に向けた不眠症治療 メディカルシティ東部病院 副院長 小林 浩二 | 20 (1.0) | ◇主催 佐土原地区医師会 ◇共催 ※MSD(株) ☎0985-28-9496 |

| 名称・日時・場所 | 演 題 | CC (単位) がん検診 | 主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先 |
|---|--|--------------------|--|
| 地域医療構想に関する研修会－介護医療院開設・移行に向けて－(仮) 【TV会議】 8月23日(金) 18:00～20:30 県医師会館【TV会議場:都城,延岡,日向,児湯,西都,南那珂,西諸,西臼杵】予定 | 介護医療院の施設基準, 移行支援策等について 宮崎県 福祉保健部長寿介護課 宮崎市 保健部介護保険課 | 6 (1.0) | ◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県 宮崎市 |
| | 介護医療院開設・移行に向けて(仮) 日本医師会 常任理事 江澤 和彦 | 12 (1.5) | |
| 2019年度 地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会 (日医TV会議) 8月25日(日) 9:55～17:30 県医師会館 | 糖尿病 菅原医院 院長 菅原 正弘 | 76 (1.0) | ◇主催 日本医師会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 |
| | 認知症 ゆう心と体のクリニック 院長 瀬戸 裕司 | 29 (1.0) | |
| | 脂質異常症 江草玄士クリニック 院長 江草 玄士 | 75 (1.0) | |
| | 高血圧症 角谷リハビリテーション病院 院長 有田 幹雄 | 74 (1.0) | |
| | 服薬管理 東京大学医学部附属病院 老年病科教授 秋下 雅弘 | 73 (0.5) | |
| | 禁煙指導 国立がん研究センター 理事長特任補佐 正林 督章 | 11 (0.5) | |
| | 健康相談 亀田ファミリークリニック館山 院長 岡田 唯男 | 4 (0.5) | |
| | 介護保険 志村大宮病院 理事長・院長 鈴木 邦彦 | 13 (0.5) | |
| | 在宅医療 医療法人社団つくし会 理事長 新田 國夫 | 80 (0.5) | |

| 名称・日時・場所 | 演 題 | CC (単位) がん検診 | 主催・共催・後援 ※ = 連絡先 |
|--|--|--|---|
| 第2回宮崎慢性痛 治療セミナー 8月28日(水) 18:45~20:30 宮崎観光ホテル | 痛みはどこからくるのか? - 神経から脳, そして心へ - 愛知医科大学医学部 学際的痛みセンター 特任教授 西原 真理 | 5 (0.5) 69 (0.5) | ◇主催 宮崎慢性痛治療セミナー ◇共催 ※塩野義製薬(株) ☎0985-27-1041 |
| 宮崎県医師会産業 医研修会 8月29日(木) 19:00~21:00 県医師会館 | 職場における作業環境管理 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院患者支援センター センター長 鈴木 齋王 生涯研修の専門研修会: 2単位 | 1 (0.5) 5 (0.5) 7 (0.5) 10 (0.5) | ◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会 |
| 第8回宮崎PEEC コースin都城 8月31日(土) 13:00~17:00 都城市郡医師会病院 | 救急現場における精神科的問題の初期対応 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座精神医学分野 講師 三好 良英 | 13 (1.0) 68 (1.0) 69 (1.0) 70 (1.0) | ◇主催 宮崎大学 ◇共催 宮崎県 日本臨床救急医学会 (連絡先) 宮崎大学医学部臨床 神経科学講座 ☎0985-85-2969 |
| 宮崎県医師会産業 医研修会 9月4日(水) 19:00~21:00 県医師会館 | 長時間労働者の面接指導 産業保健相談員 宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治 生涯研修の現地研修会: 2単位 | 1 (0.5) 5 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5) | ◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会 |

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

私 の 本



宮崎市

おお つか のぶ あき
大 塚 伸 昭

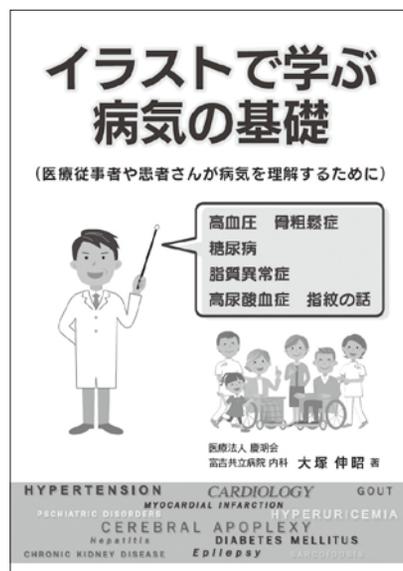
イラストで学ぶ病気の基礎

～医療従事者や患者さんが病気を理解するために～

印刷 宮崎 紙工 印刷
非 売 品

自費出版2冊目となる上記タイトルの本を60部印刷し、私の出身医局である宮崎大学第1内科の先生方を中心に贈呈しました。イラストを多用して病気の基礎的な知識をわかりやすく解説しました。前回出版の約半分の250頁程度となっています。病気の話以外にも指紋や手相の話を手の解剖学を交えながら面白く解説できたと思います。また、私自身のシミのレーザー治療体験記を通して皮膚解剖の基礎も学べるようにするなど読者が関心を持って手や皮膚の基礎解剖知識を学べるように工夫したつもりです。医師や看護師、医療事務職など医療に従事する人達に役立つ内容になっています。患者さんには少し難しい部分もありますが、高血圧、糖尿病、脂質異常、骨粗鬆症などの基礎的な知識を理解するのに役立つと考えます。宮崎県医師会、宮崎市郡医師会にも一冊贈呈しました。前回7年前に初めて出版した「わかりやすい病気の話&人体解剖・薬の基礎知識」は宮崎県医師会図書室に置いていただきました。今回も置いていただけるかと思しますので、関心のある方は是非ご一読ください。また、この本の内容は私のHP「大塚先生の診察室パート2 (<https://nobuaki.biz/>)」からも無料でダウンロードできるようにしました。PDFファイルで約130Mbありダウンロードに時間がかかるかと思えます。印刷制限もかけていませんので自由に活用ください。使用したイラストのほとんどは有料のダウンロードサイトから購入あるいは自作しています。私のHPでは講義、講演で使用したスライドも見ることができます。「心電図の基礎知識」など我ながらわかりやすく解説できていて良くできていると思えますので、こちらもご覧いただければ、と思います。トップ頁の「講義スライドなど」をクリックすれば見ることができます。

「令和元年5月1日、改元記念出版」と銘打ち、翌5月2日が私の誕生日ですので「67才の誕生をも祝して」の出版としてみました。



診療メモ



女性アスリートに対する産婦人科的支援について

宮崎市郡医師会病院 産婦人科 あけ の けい こ
明 野 慶 子

近年、オリンピック・パラリンピックや世界大会での女性アスリートの目覚ましい活躍は皆様ご存知のことだと思いますが、女性が本格的にスポーツを行うようになったのは、ここ40年程のことだと言われています。女性が参加できる種目も増えてきており、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて、日本におけるスポーツ環境は盛り上がりを見せています。

女性には、男性にはない特有の身体的問題があります。月経はその代表です。月経周期により、アスリートは身体的・精神的にコンディションが変化すると言われています。月経中は、月経痛等のいわゆる「月経困難症」により、パフォーマンスへの悪影響があります。また、月経前の時期はむくみが生じやすく、体重が増加し、精神的にも不安定になりやすいと言われています。これは「月経前症候群」の症状です。メンタル面で競技に影響し、体重が増加するため、階級制の競技では月経前に減量時期が重なると減量が困難になります。

月経が競技に影響する場合には、OC/LEP（経口避妊薬/低用量エストロゲン・プロゲス

チン製剤）、いわゆる低用量ピルの内服による月経調整を行うことが一般的になってきています。旅行や試験の日程と重ならないように月経をずらすことがあります。それをアスリートに対しても行います。ただ月経をずらすだけではなく、月経周期の中で最もコンディションが良い時期に試合日が重なるように調整します。今現在日本で購入できる低用量ピルはドーピングに違反しないため、アスリートに対しても安全に使用することができます。女性アスリートのピル使用率は、欧米では約80%と言っていますが、日本人では使用率が低く、2012年ロンドンオリンピックでは7%でした。2016年リオデジャネイロオリンピックでは啓発の効果もあり27%まで増加したと言われています。しかしながら、世界に比べるとまだ不十分な状況です。

低用量ピルは「太る薬」であるという意識が強く、内服を避けようとするアスリートや指導者も多くいます。体重増加は必ずしも起こるわけではなく、起こったとしても一時的なもので、ほとんどが3か月程度で内服前の体重に戻ると言われています。大切な試合や大会の直前に月経調整のために低用量ピルを内服すると、

内服始めに起こる副作用によりコンディションを保つのに苦労するため、できるだけオフシーズンに内服を始めることがすすめられます。低用量ピルの重大な副作用として、深部静脈血栓症が起こりやすくなることが挙げられます。一般女性と比べ、アスリートでは、発汗による脱水が起こりやすいこと、遠征などで長時間の移動が多いこと、骨折などのけがで長期安静が必要になること等から、血栓症が起こりやすい生活環境であると言われていています。低用量ピルの内服を始めたら、こまめな水分補給を行うこと、長時間の移動のときには1時間に1回程度は立ち上がって運動することなど、血栓症を予防できるように生活指導を行います。足のむくみ・腫れ、胸の痛みなど、血栓症を疑う症状があるときにはすぐに医療機関を受診することがすすめられます。

長期間にわたり高強度のトレーニングを行っている女性アスリート特有の医学的問題も知られるようになってきました。「女性アスリートの三主徴」と呼ばれるもので、エネルギー不足、無月経、骨粗鬆症が含まれます。成績を上げるため高強度のトレーニングを行い、また、特に陸上長距離競技や体操競技では「やせていること」が良い成績につながるため、食事制限をするアスリートがいます。一昔前までは、「月経が止まってこそ一人前にトレーニングしている証拠」という指導者もいたようです。トレーニングによる消費エネルギーと食事による摂取エネルギーのバランスが崩れ、相対的エネルギー不足が起こります。それが長期間続くと、

と、卵巣からのエストロゲン分泌が抑制され、月経不順、無月経が起こります。無月経の状態がさらに長期間続くと、エストロゲン低下による骨吸収が起こり、骨量低下、骨粗鬆症をきたし、骨折や疲労骨折により競技が続けられなくなる、そしてさらに成績が落ちる、という悪循環が起こります。18歳までに骨量が低下すると回復させるのはとても難しく、アスリート現役時代だけに限らず一生にわたって骨量が低い状態が続くため、老年期での骨粗鬆症も問題になると言われています。栄養士や現場のスタッフと協力して食事摂取量やトレーニング量を調整し、場合によってはホルモン補充療法を行い、月経がきちんと起こるようにして故障しないようにするのも産婦人科医の役割のひとつです。

女性アスリートに対する医学的支援の一環として、全国各地で「女性アスリート外来」が開設されています。当院でも2018年6月から「女性スポーツ外来」を開設し、年齢や競技レベルを問わず診療を行っています。受診するのは中学・高校生が多く、一番多い症状は無月経です。月経等の女性特有の問題で悩んでいる方は、ぜひお近くの産婦人科への受診をおすすめします。思春期の女性は、産婦人科を受診するのは恥ずかしい、怖い、というイメージを持つ方が多いと思います。そのイメージを払拭し、かかりつけ医として気軽に産婦人科を受診してもらえるような雰囲気づくりも大切だと思います。月経やコンディショニングのことで悩むアスリートに少しでも救いの手が差し伸べられるよう、今後も支援活動が続けていきます。

宮大医学部学生のページ



音楽祭実行委員長よりご報告

第16回宮崎大学医学部音楽祭実行委員会 ほう じょう りん こ
宮崎大学医学部 医学科4年 音楽祭実行委員長 北 條 琳 子

令和元年、6月9日(日)、清武文化会館にて行われました「第16回宮崎大学医学部音楽祭」についてご報告させていただきます。

宮崎医科大学時代より数えまして、通算38回目の開催であり、また、令和という新しい時代に入って初の音楽祭となりました。すずかけ太鼓、室内楽部、管打楽器部、合唱部をはじめとした大団体や、ヴァイオリンデュオ、ピアノソロなどの個人出演を含めた総勢12組、合計136名の出演者を迎え、テーマを「音楽の力を見に来てくださる方すべてに届ける」と決め、当日の音楽祭を成功させるべく、幹部学年により第16回宮崎大学医学部音楽祭実行委員会を

12月に立ち上げ、準備をしておりました。

音楽祭当日は、朝8時30分より会場設営を始め、本番中に滞りないように10時30分頃よりリハーサルを始めました。もちろん、音楽祭実行委員会のメンバーだけでは行き届かない部分も多く、清武文化会館の方々にも支えていただきました。毎年、ステージを華やかに彩り、整った環境で演奏できるのも清武文化会館の方々のおかげなので、本当に感謝しかありません。

本番は、各出演団体が練習した成果を発揮する場となり、どの演目も奏でられる音楽が聴きに来てくださった方々を魅了するものでした。その中でも、私が所属しているすずかけ太鼓



第16回宮崎大学医学部音楽祭実行委員会のメンバー

と、2年ぶりの出演となった合同オーケストラについて紹介します。

すずかけ太鼓による演奏は毎年オープニングを飾っており、とにかく力強く、迫力があります。今年も息の合った演奏をお届けできるよう、練習を重ねてきました。太鼓を打つというのは想像よりもとても体力のいるもので、演奏している時は緊張と相まって、疲れを感じることもあります。しかし、聴きに来てくださった方々を見ると「一所懸命に演奏しよう」という気持ちが強くなり、最後まで気を抜くことなく演奏することができます。すずかけ太鼓はきよたけ郷土祭りなどにも出演させていただいており、地域の方々とつながりがとても強く、音楽祭でも感謝の気持ちを伝えられるよう演奏しました。以下の写真はすずかけ太鼓の演奏風景の写真です。



合同オーケストラは、室内楽部と管打楽器部の有志によって結成される、音楽祭でのみ実現するものです。今年は、同じ幹事学年のメンバーでやりたいという気持ちが強く、2年ぶりに実現する企画となりました。曲は魔女の宅急便より「海に見える街」、そして「ラデツキー行

進曲」という馴染みのある曲を演奏していただきました。プログラムの最後にふさわしく、華やかに演奏していただき、大盛り上がりによって幕を閉じました。以下の写真は合同オーケストラによる演奏風景の写真です。



私たちの目標は、日々を忙しく過ごしていらっしゃる方々に私たちの演奏を聴いていただくことにより、ひと時の癒し、また、元気を共有したいというものでした。今現在、当日お配りしたアンケートの集計作業を行っておりますが、「大変良かった」や、「素敵な演奏ありがとうございました」など多くのありがたいコメントをいただきました。また、小さいお子さんからは「大きくなったら太鼓をしたい」など、出演した団体に憧れてくださるお声もいただきました。音楽祭実行委員会のメンバーとして、また出演者の一人として、そういった言葉をいただけたことが大変嬉しかったです。

以上、第16回宮崎大学医学部音楽祭のご報告とさせていただきます。これからも宮崎大学医学部音楽祭は伝統あるものとして続いていくと思うので、今後ともどうぞよろしくお願ひします。

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

| 送付日 | 文 書 名 |
|-------|---|
| 4月30日 | <ul style="list-style-type: none"> ・一般用医薬品のイコサペント酸エチル製剤の適正販売について ・患者からの医薬品副作用報告について ・「使用上の注意」の改訂について ・『「医療用医薬品添付文書新記載要領 説明資料」について』の送付について ・オシメルチニブメシル酸塩製剤の使用成績調査の結果について ・「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第19回報告書」の周知について |
| 5月7日 | <ul style="list-style-type: none"> ・「外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル」の周知について ・2019年度「看護の日」及び「看護週間」について ・令和元年度宮崎県認知症疾患医療センター指定医療機関の募集に関する御協力について |
| 5月9日 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会医療法人の認定要件及び特定医療法人の承認要件の見直し等について ・平成30年度第2次補正予算「事業承継補助金」について ・乾燥弱毒麻しん風しん混合ワクチンの流通に係る対応について ・乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）の流通に係る対応について ・麻しんに関する特定感染症予防指針の一部改正について ・麻しんに関する特定感染症予防指針に基づく依頼事項について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・労働安全衛生法施行令の一部を改正する法令及び労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行について |
| 5月14日 | <ul style="list-style-type: none"> ・外部監査の対象となる医療法人における内部統制の構築について ・医療事故の再発防止に向けた提言第8号の公表について ・医療事故調査制度における解剖等調査の適切な選択・実施について ・「非吸収性充填剤を使用した豊胸術に関する共同声明」の送付について |
| 5月15日 | <ul style="list-style-type: none"> ・「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」の改訂について ・「臨床研修病院が研修医の募集及び採用を行う際の留意事項等について」の一部改正について ・介護医療院の開設状況（平成31年3月31日時点）について ・糖尿病性腎症重症化予防に関する事業実施の手引き等の送付について ・元号を改める政令の施行に伴う通知様式の改正について ・在宅医療に関する普及・啓発リーフレットについて ・令和元年度地域支援事業実施要綱等の改正点について ・「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律」の施行について（協力依頼）及び同法に係る都道府県受付・相談窓口一覧について ・医師及びその他の医療従事者の労働時間短縮に資する機器等の特別償却制度について |
| 5月16日 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度精神保健福祉事業功労者厚生労働大臣表彰候補者の推薦について ・改元に伴う様式の改正について ・令和元年度 全国安全週間の広報掲載依頼について |
| 5月17日 | <ul style="list-style-type: none"> ・再生医療等提供計画等の記載要領等の改訂について ・療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等の一部改正等について ・元号を改める政令の施行に伴う様式変更について |
| 5月20日 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度（第53回）臨床検査精度管理調査の実施について |

| 送付日 | 文 書 名 |
|-------|---|
| 5月21日 | <ul style="list-style-type: none"> ・「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」の改定について ・生活習慣病にかかる重症化予防事業の推進について ・慢性腎臓病（CKD）特別対策事業について ・「保健師助産師看護師法第三十七条の二第二項第一号に規定する特定行為及び同項第四号に規定する特定行為研修に関する省令」の一部改正について ・日医キャラクター「日医君」イラスト素材の利用に関するホームページサイトの開設について ・「医師による異状死体の届出の徹底について」（平成31年2月8日付け医政医発0208第3号厚生労働省医政局医事課長通知）に関する質疑応答集（Q&A）について ・【重要】ベレジニオ錠50mg, 100mg, 150mgによる重篤な間質性肺疾患について ・第6回昭上和条医療賞候補者の推薦について ・公益信託 武見記念生存科学研究基金「武見記念賞」並びに「武見奨励賞」受賞候補者の募集について ・「使用上の注意」の改訂について ・「個人情報保護法 いわゆる3年ごと見直しに係る検討の中間整理」の公表及び同整理に対する意見募集について ・「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第20回報告書」の周知について |
| 5月22日 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度救急医療事業功労者の知事表彰候補者の推薦について ・令和元年度救急医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について |
| 5月23日 | <ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・小児慢性特定疾病医療支援の更新に係る留意点について ・労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行について ・「保育所での医療的ケア見受け入れに関するガイドライン」（平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業）について ・リスク評価結果等に基づく労働者の健康障害防止対策の徹底について |
| 5月24日 | <ul style="list-style-type: none"> ・産科医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について |
| 5月28日 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度医療介護提供体制改革推進交付金（地域医療介護総合確保基金）管理運営要領等について ・難病の患者に対する医療等に関する法律第6条第1項に規定する指定医について ・特定医療費（指定難病）受給者証の更新について ・NBCR対策推進機構 第5回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」の開催について ・「日本医師会会費減免申請書（研修医）」（A4版）について ・「平成30年度 医療用医薬品の広告活動監視モニター事業報告書」について ・令和元年度宮崎県保健指導実施者初任者研修会の開催について |
| 5月29日 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本医師会医師賠償責任保険制度ハンドブック送付 ・令和元年度宮崎県公衆衛生功労者表彰の被表彰候補者の推薦について |
| 5月30日 | <ul style="list-style-type: none"> ・「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律」に係る診断書記載の手引き及び周知用リーフレット（修正版）の送付について ・共済組合員証の無効通知について |
| 5月31日 | <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策サーベイランス事業（JANIS）に係る参加医療機関の追加募集について |
| 6月4日 | <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省「医療・介護分野における職業紹介事業に関するアンケート」の実施について ・予防接種後健康状況調査の実施について ・4種混合ワクチン（DPT-IPV）の一部ロット製品の接種差し控えについて ・「学校における医療的ケアの今後の対応について（通知）」の送付について |
| 6月6日 | <ul style="list-style-type: none"> ・「2019年度地域包括診療加算・地域包括診療料に係る かかりつけ医研修会」の受講申込みについて ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・第11回全国医師会事務局連絡会研修会の後援及び職員派遣等について |


 あとかき


今年のゴールデンウィークは9連休。初日の4月28日は名古屋での日本内科学会総会へ参加し、翌日29日は伊勢神宮の参拝をさせていただきました。そして広島へ帰省し、翌日の平成最後の日、幼馴染の悪友と出雲大社へ参拝しました。二人で「出雲大社は“ご縁”の神様だから、俺達にはこれから良いご縁が必ずある」と話していると、ふと友人が中学校の恩師の先生が体

調を崩されて退職されたのではないかと話してきました。実は、その恩師の先生には以前から会いたいと思っていたのですが、住所しか分からず、とにかく住所をナビに入れて2時間かけて移動した後、突撃訪問しました。そしてインターホンを押して出て来られた奥様（中学校の保健の先生）から、「主人は半年前に脳出血で倒れて、言葉も出ない状態になって、誰にも会いたくなさそうだから」と言われました。突然訪問したことをお詫びしながら帰ろうとすると、「あんた達のこと分らんかもしれんけど、わざわざ遠くから来てくれたし、会ってくれる」と言われ、お会いすることに少し不安がありましたが、実際お会いしてみるとお元気そうで、話すことはできませんが、僕達のことを見て覚えているとうなづいてくれました。帰り際、奥様から「主人は、あんた達と会って嬉しかったと思うよ。今まで隠すように暮らしてきたけど、ちょっと吹っ切れたような気がする。わざわざ来てくれてありがとう」と言っていました。おそらく連絡がついていたら会わせてもらえなかったでしょう。友人は「今日の日は一生涯忘れられん」と涙ぐんでいました。令和の時代、人と人との繋がりが“ご縁”が大切なような気がします。

(野村)

* * *

健康のため徒歩で通勤するようになって数か月。気候も良く、草木の花も気持ち良いものでした。花の名前は一つも分からないのですが、色とりどりにたくさん咲いて、香りもさまざまで、あるものが枯れても次が咲いてと、春だけでなく時期を違えて結構いろいろ咲くことにも気づきました。花を見ながら歩くことは楽しく、採血の数値も良くなったのですが、梅雨や夏の暑さの中で徒歩通勤をどう続けていくかを悩んでいます。

(西田)

* * *

梅雨本番の時期ですが、「ストロベリームーン」という満月の呼び方を聞いたことがあるでしょうか。6月の満月には、「ストロベリームーン」という可愛い名前がついているそうです。アメリカ圏では、6月がイチゴの収穫期にあたるため、このように呼ばれているそうです。今年は、6月17日(月)でした。早速、夜空を眺めましたが、空はうっすらと曇に覆われ、残念ながらストロベリーのような赤みがかった満月ではありませんでした。別名、「恋を叶えてくれる月」だそうです。目の前の請求書をみながら、しばし現実から離れることができました。

(上山)

* * *

先日、母と北海道へ旅行に行きました。嵐の札幌ドームのライブのついでだったので、あまり観光できないかと思っていましたが、スープカレーや海鮮丼、ラム肉など北海道グルメを堪能しました。一番感動したのは札幌市の中央に位置する大通公園です。オフィス街に囲まれた長さ約1.5kmの広大な公

園で、たくさんの美しい花壇や樹木があり、どこを切っても絵になるような景色にとっても癒されました。宮崎も広大な土地を活かして、市民も観光客も親しむことのできる公園があったらなあと思いました。

(土持)

* * *

6月9日に清武文化会館で開催された、宮崎大学医学部音楽祭に行ってきました。あまり音楽に興味のなかった自分も、この演奏会は毎年聴きに行っています。今年は同じ学年の友人達がそれぞれの所属する団体で、幹部学年として前列で後輩を引っ張りながら、力強い演奏をしている姿が印象的でした。遅くまで練習に励む彼らの姿を何度も見ていたので、その姿と重なってどのプログラムもとても感動しました。来年もまた聴きに行こうと思います。

(河野(太))

* * *

お正月に食べたアボカドの種を空き瓶で水に浸していました。なかなか芽も出ず、諦めかけていた4月、1本の根がまっすぐに伸びだし、続いて発芽。みるみる成長し、現在、40cmほどの高さになっています。朝晩でも分かるほどの成長の様子が面白く、4月末にも新たなアボカド水栽培を開始しました。こちら2か月が経ち、そろそろ根が出てきそうです。アボカドは本来、20~25mにもなる常緑高木なのです。毎日、キッチンでアボカドたちの成長を見るのが楽しみです。

(荒木)

今月のトピックス

日州医談 介護医療院について

新しく創設された介護医療院について立元祐保理事に解説していただきました。施設や制度の変更や延期は日常茶飯事ですが、我々医療者にも国民にも理解しやすいシンプルなものにしていただきたいと思います。 4 ページ

はまゆう随筆（その1）

今年も多く寄稿をいただき感謝いたします。GWの旅行記や新元号関連の話題も多く、楽しく読ませていただきました。産科程ではありませんが、内科の有床診療所も長期旅行とは無縁です（泣）。 6 ページ

診療メモ 女性アスリートに対する産婦人科的支援について

女性アスリートに対する産婦人科的支援について宮崎市郡医師会病院の明野慶子先生に書いていただきました。女性特有の身体的・精神的特徴に即した支援の重要性についてあらためて勉強させていただきました。 82 ページ

日 州 医 事 第839号 (令和元年7月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 西田 隆昭・副委員長 稲倉 琢也, 野村 勝政
委 員 沖田 和久, 山崎 俊輔, 上山 貴子, 植田 雄一
学 生 委 員 伊澤 和範, 土持 友香, 河野 太地, 河野 真菜
担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗, 佐々木 究
事 務 局 学術広報課 本崎 礼子, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し, 県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)